

だい き よ こ は ま し し ょ う が い し ゃ 第4期横浜市障害者プラン

れ い わ ね ん ど ふ か え 令和7年度 振り返り

※ だい き よ こ は ま し し ょ う が い し ゃ か い て い ば ん だい し ょ う ペー ジ ペー ジ も と さ く せ い
第4期横浜市障害者プラン改定版の第3章(23頁～179頁)を基に作成しています。

ひ ょ う か ら ん せ つ め い <評価欄の説明>

○ : そう て い も く ひ ょ う た っ せ い そう て い こ う か え
想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。

△ : い っ て い て い ど こ う か え
一定程度の効果は得られた。

× : そう て い も く ひ ょ う た っ せ い こ う か え
想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

目次

さまざまな生活の場面を支えるもの

- 1 普及啓発
- 2 人材確保・育成
- 3 権利擁護
- 4 相談支援

生活の場面1 住む・暮らす

- 1-1 住まい
- 1-2 暮らし
- 1-3 移動支援
- 1-4 まちづくり

生活の場面2 安全・安心

- 2-1 健康・医療
- 2-2 防災・減災

せいかつ ばめん はぐく まな
生活の場面3 育む・学ぶ

3-1 りょういく
療育

3-2 きょういく
教育

せいかつ ばめん はたら たの
生活の場面4 働く・楽しむ

4-1 しゅうろう
就労

4-2 にっちゅうかつどう
日中活動

4-3 スポーツ・ぶん かげいじゆつ
文化芸術

と り く み 取組

さまざまな生活の場面を支えるもの 1 普及啓発

(1) 互いの存在に気づき、身近に感じる仕組みづくり

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
29	ちい ききょうせい 「地域共生 しゃかい じつげん 社会」の実現に む 向けた取組等 すいしん の推進	ちい き かつ ささ 地域のあらゆる方が、「支え て」と「受け手」に分かれるの ではなく、ちい き く らし い 地域、暮らし、生き がいとともにつく たか あ 創り、高め合う ことができる「ちい ききょうせい 地域共生 しゃかい じつげん む 社会」の実現に向けた しょうがいしゃしゅうかん とりくみ 「障害者週間」などの取組を じっし すいしん 実施・推進していきます。	○	しょうがいしゃしゅうかん しんとし 障害者週間において、新都市プラザ でイベントを実施し、さまざまな機関 と連携しながら、ひろ しみん たい 広く市民に対して しょうがいり かい ふきゅう けいはつ おこな 障害理解の普及・啓発を行いまし た。	ひ つづ しょうがいしゃしゅうかん 引き続き障害者週間におけるイベ ント等を行い、きょうせいしゃかい じつげん 共生社会の実現に む 向けた取組を行います。

29	かくく ふきゅう 各区の普及・ けいはつかつどう 啓発活動の そくしん 促進	かくく じゅうみん たい しつぺい 各区の住民に対して、疾病や しょうがいとう たい り かい ふか 障害等に対する理解を深め けんしゅう けいはつかつどう のための研修や啓発活動の しえん おこな 支援を行います。	○	かくく しょうがいり かい もくてき こうほうぶつ 各区で障害理解を目的とした広報物 さくせい どう じっし しょうがい の作成やイベント等を実施し、障害 り かい ふきゅう けいはつ じっし 理解の普及・啓発を実施しました。	ひ つづ しょうがいしゃしゅうかん ちゅうしん 引き続き障害者週間を中心に、 けいはつぶつびん どうが 啓発物品やパンフレット、動画の さくせい じっしとう おこな かくく 作成、イベント実施等を行い、各区 における ふきゅう けいはつかつどう そくしん 普及・啓発活動を促進し ます。
----	---	--	---	--	--

(2) 障害に対する理解促進

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
30	とうじしゃ しょうがい 当事者や障害 ふくしかんれんしせつ 福祉関連施設、 しみんだんたいとう 市民団体等に ふきゅう けいはつ よる普及・啓発 かつどう しえん 活動への支援	セイフティーネットプロジェクト よこはま えす ねっとよこはま しょうがいふくし 横浜(S-net横浜)や障害福祉 かんれんしせつ しみんだんたいとう 関連施設、市民団体等による しょうがいり かい けんしゅう こうえん 障害理解のための研修や講演、 ちいきかつどう しえん きょうどう 地域活動を支援・協働するなど、 さまざま ふきゅう けいはつ すいしん 様々な普及・啓発を推進します。 ※セイフティーネットプロジェクト よこはま よこはまし ない しょうがい 横浜は、横浜市内の15の障害 ふくしかんけいだんたい きかん そしき 福祉関係団体と機関で組織され ています。当事者家族が主体とな って、自分たちのできることから	○	セイフティーネットプロジェクト よこはま えす ねっとよこはま とう しょうがいり かい 横浜(S-net横浜)等の障害理解 かか ふきゅう けいはつかつどう に係る普及・啓発活動(コミュニケ ーションボード等の普及啓発、 けんしゅうかい ちいきぼうさいきよてん とうじしゃ 研修会、地域防災拠点での当事者 による講演等)を通じ、障害理解 の推進に取り組みました。	セイフティーネットプロジェクト よこはま えす ねっとよこはま れんけい 横浜(S-net横浜)と連携し、 さいがいよう 災害用コミュニケーションボードを かつよう けんしゅうかい ちいきぼうさいきよてん 活用した研修会や地域防災拠点で の当事者による講演等について しゅうち はか ちいき しょうがいり かい 周知を図ります。地域に障害理解 の必要性を身近な課題として捉え てもらえるように取組を推進しま す。

		かつどう 活動していくことを大切にしながら ちいき ひとびと さまざま しょうがい ら、地域の人々へ様々な障害に りかい ふか ついでの理解を深めてもらい、 しょうがい ひと ちいき あんしん 障害のある人が地域で安心して く 暮らしていけるよう、かつどう 活動しています。			
30	しょうがいしゃほんにんおよ 障害者本人及 かぞく び家族による ふきゅう けいはつかつどう 普及・啓発活動 すいしん の推進	しゃかいさん かすいしん ちゅうしん 社会参加推進センターが中心と しょうがいしゃほんにん かぞくおよ なり、障害者本人、家族及び かくだんたい れんけい きょうどう さまざま ば 各団体と連携・協働し、様々な場 ばいたい かつよう しょうがいり かいそくしん や媒体を活用した障害理解促進 む ふきゅう けいはつかつどう すいしん に向けた普及・啓発活動を推進し ます。	○	しゃかいさん かすいしん どう きょうどう 社会参加推進センター等と協働し て、リーフレットのはいふ こうざ 配布や講座の じっし ふきゅう けいはつ とりくみ けいぞく 実施など、普及・啓発の取組を継続 して実施しました。	しゃかいさん かすいしん どう きょうどう 社会参加推進センター等と協働し て、リーフレットのはいふ こうざ 配布や講座の じっし ふきゅう けいはつ とりくみ けいぞく 実施など、普及・啓発の取組を継続 していきます。

31	しつぺい しょうがい 疾病や障害に かん じょうほう に関する情報の はっしん 発信	ホームページなどの媒体を活用し て、疾病や障害に関する情報や 支援に関わる活動を紹介し、 市民や当事者・関係者の理解促進 に努めます。	△	しょうがいふくし こうしん 「障害福祉のあんない」を更新し、 じょうほう はっしん 情報を発信しました。 また、アプリ版における施設情報 検索の充実を図り、冊子版と合わ せて情報発信を拡大しました。ア プリ版利用促進のため、新規機能 の周知・広報を引き続き行ってい きます。 さっしやくせいすう ぶ ・冊子作成数:38,000部 るいけい すう ・アプリ累計ダウンロード数: 19,491件(令和8年3月現在)	しょうがいふくし およ とう 「障害福祉のあんない」及び同アプ リ版で情報発信を引き続き行っ ていきます。 さっしやくせいすう ぶ ・冊子作成数:38,000部 るいけい すう ・アプリ累計ダウンロード数: 20,000件(令和9年3月時点 (目標))
----	---	--	---	---	---

(3)学齢期への重点的な普及・啓発

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
32	がくれいきじどうおよび保護者への しょうがいりかいけいはつ 障害理解啓発	がくれいきじどう ほごしゃ しょうがいじ 学齢期児童と保護者が、障害児・ しゃ こうりゆう しょうがい 者と交流したり、障害について りかい ふか きかい かくほ 理解を深めたりする機会の確保 つと に努めます。	○	ないかくふしゆさい こころ わ ひろ ・内閣府主催の「心の輪を広げる たいけんさくぶん しょうがいしゃしゅうかん 体験作文」障害者週間のポスタ ー」の周知を市内小中学校に行 い、入賞作品の表彰式を障害者 しょうかん じっし しょうがいりかい 週間イベントで実施し、障害理解 ひろ きかい を広げる機会としました。 くいき じりつしえんきょうぎかいとう ぶかい ・区域の自立支援協議会等の部会 がっこう れんけい がくれいき たいしょう で学校と連携し、学齢期を対象と したしょうがいりかいけいはつ おこな した障害理解啓発を行いました。	ひ つづ がくれいきじどう ほごしゃ 引き続き、学齢期児童と保護者が、 しょうがい りかい ふか きかい 障害について理解を深める機会 かくほ つと の確保に努めます。

32	ふくがくせき 副学籍による こうりゅうきょういくおよ 交流教育及び きょうどうがくしゅう 共同学習	とくべつしえんがっこう ざいせき じどう 特別支援学校に在籍する児童 せいと きょじゅうち しょう ちゅうがっこう 生徒が、居住地の小・中学校の じどう せいと いっしょ まな き かい 児童生徒と一緒に学ぶ機会の かくだい はか きょうどうがくしゅう すす 拡大を図るなど、共同学習を進 めます。	○	めい じどう せいと ふくがくせきこうりゅう 200名の児童生徒が副学籍交流 りょう きょじゅうち しょう ちゅうがっこう を利用し、居住地の小・中学校で じゅぎょう こうがいかつどう いっしょ の授業や校外活動において一緒に まな き かい もう こんご に学ぶ機会を設けました。今後も ひ つづ しょう ちゅうがっこう ほんじぎょう 引き続き、小・中学校と本事業の い ぎ じゅうようせい きょうゆう とくべつしえん 意義や重要性を共有し、特別支援 がっこう かよ じ どうせいと ちい き 学校に通う児童生徒と、地域の がっこう かよ こ こうりゅうおよ 学校に通う子どもたちとの交流及 きょうどうがくしゅう いっそうすいしん び共同学習をより一層推進しま す。	とくべつしえんがっこう かよ じ どうせいと 特別支援学校に通う児童生徒と、 ちい き がっこう かよ こ 地域の学校に通う子どもたちとの こうりゅうおよ きょうどうがくしゅう いっそう 交流及び共同学習をより一層 すいしん 推進します。
----	--	---	---	---	---

さまざまな生活の場面を支えるもの 2 人材確保・育成

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえり 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
35	しょうがいふくしじんざい 障害福祉人材 の確保(魅力 発信)	しょうがいふくし しごと みりよく はっしん 障害福祉の仕事の魅力を発信 し、求人や雇用の支援を行うこ とで障害福祉人材の確保につな げていきます。	○	しょうがいふくし ぶん や みりよくはっしん とりくみ 障害福祉分野の魅力発信の取組 として、市内専門学校との共創 事業による P R ツールの検討・ 制作や公共交通機関等を活用した P R 動画の放映を行いました。 また、学生等を対象に、障害福祉 分野の仕事内容ややりがいを知っ てもらい、将来の就職先候補と なるよう、障害者施設での職場見 学会を開催します。	ひ つづ しょうがいふくし ぶん や はたら 引き続き、障害福祉分野で働くこ との魅力発信や、事業所の求人・ 継続雇用の支援を通じて、より 効果的な障害福祉分野の人材 確保につなげます。 また、学生等に加え転職希望者も 対象にし、障害福祉分野の仕事 内容ややりがいを知ってもらい、 将来の就職先候補となるよう、 障害者施設での職場見学会を開 催します。

35	しょうがいふくしじんざい 障害福祉人材 かくほ さいよう の確保(採用 しえん 支援)	しょうがいふくし じんざいかくほ 障害福祉の人材確保のため、 しょうがいふくし じぎょうしょ 障害福祉サービス事業所とともに しょうがいふくし じんざいかくほ ぐたいさく に、障害福祉人材確保の具体策 けんとう おこな の検討を行います。また、現場の いけん さんこう ぎょうせい 意見を参考にしながら、行政、 じぎょうしょ みんかんきぎょうとうさまざま しゅたい 事業所、民間企業等様々な主体と きょうどう しょうがいふくし ぶんや じんざい も協働して障害福祉分野の人材 ぶそくかいしょう じぎょうしょ たい 不足解消のために、事業所に対 きゅうじん しえん する求人の支援をします。	○	しょうがいふくし じぎょうしょ 障害福祉サービス事業所とともに しょうがいふくし じんざいかくほ ぐたいさく に、障害福祉人材確保の具体策の けんとう おこな 検討を行いました。 ちやくせつしゅうしよく むす とりくみ また、直接就職に結びつく取組 しごと じっし として、お仕事フェアを実施しまし た。	ひ つづ しょうがいふくし 引き続き、障害福祉サービス じぎょうしょ しょうがいふくし じんざい 事業所とともに、障害福祉人材 かくほ ぐたいさく けんとう おこな 確保の具体策の検討を行います。 ちやくせつしゅうしよく むす とりくみ また、直接就職に結びつく取組 しごと じっし として、お仕事フェアを実施しま す。
36	しょうがいふくし じんざい 障害福祉人材 かくほ しょくいん の確保(職員の ていちゃく 定着)	しょうがいふくし じぎょうしょとう たい 障害福祉サービス事業所等に対 けんしゅう おこな じんざいていちゃく し、研修を行うなど、人材定着 む しえん じっし に向けた支援を実施します。	○	しょうがいふくし じぎょうしょとう 障害福祉サービス事業所等を たいしょう さいよう じんざいいくせい ていちゃく 対象に採用・人材育成・定着をテ およ こべつ ーマにしたセミナー及び個別 そうだんかい かいさい 相談会を開催しました。	ひ つづ しょうがいふくし 引き続き、障害福祉サービス じぎょうしょとう たいしょう じんざいかくほ ていちゃく 事業所等を対象に人材確保・定着 む じっし に向けたセミナーを実施してい ます。

36	しょうがいとくせい おう 障害特性に応 しえん じた支援のため けんしゅう の研修	はったつしょうがい こうどうしょうがい ゆう 発達障害や行動障害を有する かた いりょうてき ひつよう かたとう たい 方、医療的ケアが必要な方等に対 せんもんてき しえん おこな し、専門的な支援を行うことの じんざい いくせい できる人材を育成するための けんしゅう じっし 研修を実施します。	○	はったつしょうがいしゃ そうだんえんじょぎじゅつ 発達障害者への相談援助技術 こうじょう けんしゅう こうどうしょうがい 向上のための研修や、行動障害 かか しえん りよくこうじょう はか に係る支援力向上を図るための けんしゅうとう じっし 研修等を実施しました。	はったつしょうがいしゃ そうだんえんじょぎじゅつ 発達障害者への相談援助技術 こうじょう けんしゅう こうどうしょうがい 向上のための研修や、行動障害 かか しえん りよくこうじょう はか に係る支援力向上を図るための けんしゅうとう じっし 研修等を実施します。
36	そうだんしえん 相談支援 じゅうじしゃ じんざい 従事者の人材 いくせい 育成	しいき くいき じんざいいくせい かん 市域と区域での人材育成に関す とりくみ せいり そうご れんどう る取組を整理し、相互に連動させ こうかてき こうりつてき じんざいいくせいたいけい た効果的・効率的な人材育成体系 せいび を整備します。	○	かいてい じんざいいくせい 改定した人材育成ビジョンについ しゅうち おこな での周知を行いました。 し じりつしえんきょうぎかい また、市自立支援協議会にて、 い し けつていしえん かくく とりくみじょうきょう 意思決定支援の各区の取組状況 かくにん かいてい じんざいいくせい の確認や改定した人材育成ビジョ かつよう けんとう ンの活用について検討しました。	い し けつていしえん じんざいいくせい 意思決定支援や人材育成ビジョン かつよう そうだんしえんじゅうじしゃ じんざい を活用した相談支援従事者の人材 いくせい じんざい ていちゃく し 育成、人材の定着について、市 じりつしえんきょうぎかい きょうぎ けんとう 自立支援協議会にて協議・検討し ないよう ぐたいてき てんかい た内容をより具体的に展開できる くいき しいき れんどう とりくみ よう区域と市域で連動した取組を すす 進めていきます。

37	しょうがいふくししせつ 障害福祉施設 しょうがいふくししせつ 職員等への しえん 支援	しょうがいしゃ きゅうおーえる こうじょう め ぞ 障害者のＱＯＬの向上を目指 しょうがいとくせい して、障害特性やライフステージ おう しょうがい じゅうどか かんわ に応じた障害の重度化の緩和、 せいかつしゅうかんびょう よ ほうとう ふきゅう 生活習慣病の予防等の普及 けいはつ はか しょうがいふくししせつ 啓発を図るため、障害福祉施設 えいせい かんり えいよう かんり かん における衛生管理、栄養管理に関 けんしゅう れんらくかいとう じっし する研修、連絡会等を実施しま す。	○	しょうがいふくししせつ しょういん たいしょう 障害福祉施設の職員を対象とし しょうひんえいせいこうしゅうかい どう が せつしよく た食品衛生講習会(動画)や摂食 えん げけんしゅう えいよう 嚥下研修、栄養ケアマネジメント けんしゅう じっし しょうがい 研修を実施しました。また障害 ふくししせつ かんりえいようし えいようし 福祉施設の管理栄養士・栄養士を たいしょう えいよう かんり かん れんらくかい 対象に栄養管理に関する連絡会を かいさい 開催しました。	しょうがいしゃ きゅうおーえる こうじょう め ぞ 障害者のＱＯＬの向上を目指し しょうがいとくせい て、障害特性やライフステージに おう しょうがい じゅうどか かんわ せいかつ 応じた障害の重度化の緩和、生活 しゅうかんびょう よ ほうとう ふきゅうけいはつ はか 習慣病の予防等の普及啓発を図 しょうがいふくししせつ るため、障害福祉施設における えいせい かんり えいよう かんり かん 衛生管理、栄養管理に関する けんしゅう れんらくかいとう じっし 研修、連絡会等を実施します。
37	しょうがいふくししせつ 障害福祉施設 とう はたら 等で働く かんごし しえん 看護師の支援・ かくほ 確保	しょうがいふくししせつとう はたら かんごし 障害福祉施設等で働く看護師 ていちやく む しえん おこな の定着に向けた支援を行うとと じんざいかくほ ほうさく もに、人材確保の方策について けんとう 検討します。	○	しょうがいふくししせつ はたら かんごしとう 障害福祉施設で働く看護師等の しょういん む こうくうきのう かんり た しょう 職員向けに、口腔機能管理や多職 しゅれんけい けんしゅう じっし 種連携をテーマとした研修を実施 し か い し かくしせつ しました。また、歯科医師が各施設 ほうもん ぎじゅつてき じよげん しどう を訪問し、技術的な助言・指導をし あわ きゅうしよくちゅう かんごし ました。併せて、求職中の看護師	ひ つづ しょうがいふくししせつ はたら 引き続き障害福祉施設で働く かんごしとう む けんしゅう じゅんかい 看護師等向けに、研修や巡回 ほうもん じよげん しどう けいぞく 訪問による助言・指導を継続しま しせつ けんがくかい じっし かく す。また、施設見学会を実施し、各 しせつ こよう 施設での雇用につながるよう支援 します。

				たいしょう しょうがいふくしせつ けんがく を対象に、障害福祉施設の見学 かい じっし しせつ はたら 会を実施し、施設で働くことの みりよく つた 魅力を伝えました。	
37	しゅうろうしえん 就労支援セン しよくいん ター職員の じんざいいくせい 人材育成	た よ う しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応できる しゅうろうしえん こうじょう よう、就労支援スキルを向上さ けんしゅう じっし じんざい せるため、研修の実施など、人材 いくせい すす 育成を進めます。	○	しょうがいしゃ しゅうろうしゃすう ぞう か ともな 障害者の就労者数の増加に伴い もと 求められる「定着支援の質の こうじょう かくしえん きかん れんけい 向上」や「各支援機関との連携」を テーマに集合研修を実施しまし た。 また、じんじこうりゅう か 人事交流を兼ねたグループ わーくけいしき じれい いけんとうかい じっし ワーク形式の事例検討会を実施 せいかつしえん ひつよう こんなん し、生活支援も必要とする困難ケ ースの支援について学び合うこと で、ちしき ぎじゆつ こうじょう はか 知識と技術の向上を図りました。	た よ う しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応できるよ しゅうろうしえん こうじょう う、就労支援スキルを向上させる けんしゅう じっし じんざいいくせい ため、研修の実施など、人材育成 すす を進めます。

38	就労促進を 目的とした 事業所職員向 け研修	障害者雇用を行っている企業で の「就業体験」の研修を通じて、 事業所職員の就労支援スキルの 向上、就労に向けた意識付けに つなげます。	○	普及啓発イベントを開催し、企業等 で働く障害者本人と上司による 体験談の発表を行いました。 これにより、支援者の就労支援ス キルの向上や利用者の就労に向 けた意識づけにつながりました。	多様な就労ニーズに対応できるよ う、開催形態含めてより効果的な 研修を検討し、提供していきま す。
38	医療従事者 研修事業	病気や障害のある小児及び 重症心身障害児・者の支援に 必要な知識・技術の向上を図り、 障害特性を理解した医療従事者 を育成するための研修を実施し ます。	○	医療機関や福祉施設等に勤務する 看護師を対象にした「小児訪問 看護・重症心身障害児者看護 研修会」の実施をしました。	研修体系の見直しを図り、更なる 研修の充実を図ります。
39	ガイドヘルパー 等研修受講料 助成	ガイドヘルパー等の資格取得のた めの研修受講料の一部を助成し	○	助成人数:92人 総助成額:1,910,500円	喀痰吸引等研修を助成対象に 追加

		ます。また、助成制度の積極的な 周知にも取り組み、人材確保を図ります。			
39	ガイドヘルパー スキルアップ 研修	より質の高いサービスが提供できるよう、 移動支援事業の従業者を対象に研修を実施します。	○	移動支援事業所の従業者、サ責 を対象にガイドヘルパーの基礎知識・技術や事業所運営について研修を行いました。ベーシック編「知的・身体・精神」、アドバンス編「前期・後期」とテーマごとに障害特性に応じた支援方法を身に付けられるよう研修を行いました。	ガイドヘルパー及びサービス提供責任者の質を更に高めるため、アンケートを踏まえた研修内容を検討し、受講者の増加を目指します。
39	社会参加推進 センターによる 団体活動支援 機能の充実	障害者本人の活動を支える人材の育成を進めるとともに、同じ障害がある人たちの交流やコミ	○	障害者の自立や社会参加等を促進するための日常生活を送る上での必要な生活訓練(社会参加	引き続き、障害者の自立や社会参加等を促進するための当事者による事業を実施していきます。

		ユニケーションの ^{きかい} 機会を ^{かくじゅう} 拡充し、 ^{かくだんたいかつどう} 各団体活動を ^{そくしん} 促進する ^{とりくみ} 取組を ^{すいしん} 推進します。		^{くんれん} 訓練や ^{あいていーこうしゅう} I T 講習)など ^{どうじしゃ} 当事者によ ^{じぎょう} る事業を ^{じっし} 実施しました。	
--	--	--	--	---	--

^{さっし} 冊子 ^{すう} ページ数	^{しひょうめい} 指標名	^{れいわ} 令和3年度 ^{ねんど}	^{れいわ} 令和4年度 ^{ねんど}	^{れいわ} 令和5年度 ^{ねんど}	^{れいわ} 令和6年度 ^{ねんど}	^{れいわ} 令和7年度 ^{ねんど}	^{れいわ} 令和8年度 ^{ねんど}
40	^{しょうがいふくし} 障害福祉サービス等に ^{かか} 係る ^{しきゅうけつていぎょうむけんしゅう} 支給決定業務研修 ^{さんか} の ^{にんずう} 参加人数	- (^{じっせき} 実績-)	- (^{じっせき} 実績-)	- (^{じっせき} 実績-)	³⁰⁰ 人 ^{にん} (^{じっせき} 実績189人)	³⁰⁰ 人 ^{にん} (^{じっせき} 実績237人)	³⁰⁰ 人 ^{にん}
40	^{けいかくてき} 計画的な ^{じんざいようせい} 人材養成の ^{すいしん} 推進(相談支援従事者 ^{けんしゅう} 研修の ^{しゅうりょうしや} 修了者)	- (^{じっせき} 実績-)	- (^{じっせき} 実績-)	- (^{じっせき} 実績-)	²⁸⁰ 人 ^{にん} (^{じっせき} 実績305人)	²⁸⁰ 人 ^{にん} (^{じっせき} 実績255人)	²⁸⁰ 人 ^{にん}
40	^{しょうがいしゃ} 障害者自立支援審査 ^{しはらいとう} 支払等システムによる ^{しんさ} 審査結果の ^{きょうゆう} 共有	- (^{じっせき} 実績-)	- (^{じっせき} 実績-)	- (^{じっせき} 実績-)	^{ねん} 年1回 ^{かい} (^{じっせき} 実績ねん かい (実績年1回))	^{ねん} 年1回 ^{かい} (^{じっせき} 実績ねん かい (実績年1回))	^{ねん} 年1回 ^{かい}

(2) 業務効率化に向けたロボット・A I・I C T等の導入の検討

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
42	ぎょうむこうりつか 業務効率化に む 向けたロボッ ト・A I・ えーあい I C T等の あいしーていーとう 導入の検討 どうにゅう けんとう	はんざつ し む さぎょう 煩雑な事務作業などの業務 こうりつか かいごぎょうむ ふたん 効率化や介護業務の負担 けいげん すす 軽減などを進めるため、ロボ ット・A I・I C Tなどの どうにゅう けんとう すす 導入の検討を進めます。	○	し ない にゅうしょ つうしょけいじぎょうしょ 市内の入所・通所系事業所において、 けい じぎょうしょ たい かいご 計32事業所に対し、介護ロボットや あいしーていー き き どうにゅう ひよう I C T機器導入にかかる費用の じよせい おこな 助成を行いました。また、4事業所に たい どうにゅう ばんそうし えん おこな 対し導入にかかる伴走支援を行い ました。	し ない ほうもんけい およ そうだんけい 市内の訪問系サービス及び相談系 じぎょうしょ あら ほじょたいしやう ひ 事業所を新たに補助対象とし、引 きつづ き き どう こうにゅうひよう じよせい き続き、機器等の購入費用を助成 します。併せて、機器導入に向け ばんそうし えん どう おこな た伴走支援等を行います。

さまざまな生活の場面を支えるもの 3 権利擁護

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえり 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
44	しょうがいしゃぎゃくたい 障害者虐待 ぼうしじぎょう 防止事業 (ふきゅう けいはつ 普及・啓発)	しみん む 市民向けのリーフレット作成 とう 等により広報を行います。また、 しょうがいふくし 障害福祉サービスの事業者 とう たいしやう 等を対象とした研修について ては、しょうがいしゃぎゃくたい ちやうさ では、障害者虐待の調査や とうけいとう こんきよ ふ みなお 統計等の根拠を踏まえ、見直しを はか じっし しを図りながら実施します。	○	しみん む 市民向けには、ホームページ等での こうほう おこな 広報を行いました。 しょうがいふくししせつ 障害福祉施設サービスの管理者および サービス管理責任者を対象とした けんしやう ねん かいじっし 研修を、年2回実施しました。【研修 さん かしゃごうけい めい 参加者合計144名、アーカイブ研修 226名】	しみん む 市民向けには、ホームページ等での こうほう おこな の広報を行うとともに、くやく の広報を行うとともに、区や区 じりつしえんきやうぎかいしゆさい しょうがいしゃ 自立支援協議会主催の障害者 ぎゃくたい 虐待 ぼうしけんしやう つう しせつじやうじしゃ 防止研修を通じて、施設従事者 とう けいはつ おこな しせつ かんり 等、啓発を行います。施設の管理 しゃ 者やサービス管理責任者向けの けんしやう おこな くいき ちいき 研修を行います。区域で、地域の じぎょうしゃ む けんしやう と く 事業者向け研修に取り組みます。

44	せいしん か びょういん 精神科病院に おける ぎゃくたい 虐待 ぼうし む 防止に向けた そ ち 措置	せいしん か びょういんない ぎゃくたい はっけん 精神科病院内で虐待を発見 ば あい つうほうじゅり たいせい した場合の通報受理体制を ととの つうほうないよう じじ つかくにん 整 え、通報内容の事実確認 どう じっし 等を実施します。	○	せいしん か びょういん ぎゃくたいたいおう 精神科病院における虐待対応につ いて、ひ つづ つうほう じゅり つうほう じ いて、引き続き、通報の受理、通報時 ひょうか じっし ほうこくちょうしゅう じっし 評価の実施、報告徴 収の実施など、 くに じ む とりあつかいようりよう もと じっし 国の事務取 扱 要領に基づき実施す ることができた。	ひ つづ くに じ む とりあつかいようりよう もと 引き続き国の事務取 扱 要領に基 づき、けいぞく てきせつ たいおう づき、継続して適切に対応してま いります。
----	---	--	---	---	---

(2) せいねんこうけんせいど りようそくしん
成年後見制度の利用促進

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
46	よこはまししみん 横浜市市民 こうけんになんようせい 後見人養成・ かつどうしえんじぎょう 活動支援事業	ちいき けんりようご 地域における権利擁護を しみんさんかく すす 市民参画で進めるため、よこ せいねんこうけんすいしん はま成年後見推進センターが しみんこうけんになん ようせい じっし 市民後見人の養成を実施し、 く やくしょ し くしゃかい かくしきょうぎ 区役所、市・区社会福祉協議 かい せんもんしよくだんたいどう れんけい 会、専門職団体等が連携した	○	ほうかいせいとう み す こんご しみん 法改正等も見据え、今後の市民 こうけんになん かつどう けんとう ひつようせい 後見人の活動について検討の必要性 きょうゆう だい き しみんこうけんになんようせい を共有し、第8期市民後見人養成 こうざ をこれまでどおり じっし 講座をこれまでどおり実施することと しました。また、く サポートネットに	だい き しみんこうけんになんようせいこうざ じっし 第8期市民後見人養成講座を実施 し、ちいき す みじか さんざい し、地域に住む身近な存在として、 ちいき れんけい ほんになん みまも 地域と連携してご本人を見守り、 ささ やくわり しみんこうけんになん ふ 支える役割となる市民後見人を増 やします。また、ひ つづ ほうかいせい やします。また、引き続き、法改正 どう み す しみんこうけんになん 等を見据えながら市民後見人の

		かつどうしえん たいせい こうちく 活動支援の体制を構築しま す。		しみんこうけんにん さんか ちいき かか 市民後見人が参加し、地域との関わり や連携を強化しました。	かつどう かたとう けんとう 活動のあり方等について検討して いきます。
46	ほうじんこうけんし えん 法人後見支援 じぎょう 事業	よこはませいねんこうけんすいしん よこはま成年後見推進センタ ーが、これまでのほうじんこうけん 受任実績を踏まえて、市内の しゃかいふくしほうじんと ほうじん 社会福祉法人等への法人 こうけんじっし む しえん おこな 後見実施に向けた支援を行 います。	○	れいわ ねんど かい ほうじんこうけんれんらくかい 令和7年度は2回の法人後見連絡会 を開催し、かいさい じょうほうきょうゆう いけんこうかん を主催し、情報共有や意見交換を おこな 行いました。ひき つづ ほうじんこうけん 引き続き、法人後見 だんたい ふく じゆにんちょうせい おこな 団体も含めて受任調整を行ってお り、受任促進を図っていきます。	ひ つづ ほうじんこうけんれんらくかい かいさい 引き続き法人後見連絡会を開催 し、ほうじんこうけんだんたい じょうほうきょうゆう し、法人後見団体の情報共有や いけんこうかん おこな 意見交換を行うとともに、あら 法人後見設立を目指している団体 どう む じょうほう きょうゆう おこな 等に向けても情報の共有を行っ ていきます。
46	せいねんこうけんせいど 成年後見制度 の普及啓発	せいねんこうけんせいど りよう 成年後見制度がより利用しや すいものとなるよう、かんけい 機関と調整して当事者及び かぞく しえんだんたいとう せつめいかい 家族、支援団体等への説明会 などを実施します。	○	かくくいき せいねんこうけんせいど がくしゅう 各区域における成年後見制度の学習 かいおよ おや じゆんび かんが 会及び親あるうちの準備を考 える れんぞくこうざ かいさい 連続講座の開催をしました。また、市 いきおよ かくくいき かいさい 域及び各区域で開催されるサポート ネットにおいて、しえんしゃかん れんけい 支援者間の連携を きょうか 強化しました。	せいねんこうけんせいど りよう 成年後見制度がより利用しやすい ものとなるよう、かんけいき かん ちょうせい 関係機関と調整 して当事者及び家族、支援団体等 へのせつめいかい じっし 説明会などを実施します。

47	けんりようごじぎょう 権利擁護事業	けんり まも そうだん 権利を守るための相談や けいやく もと きんせんかんり 契約に基づく金銭管理サービ スなどの日常生活の支援 を、区あんしんセンターが、 けいやく もと じっし 契約に基づいて実施します。	○	たんしんしょうがいしゃとう そうか きんせんかんり 単身障害者等の増加により金銭管理 サービスなど日常生活の支援への じゅうよう たか そうだんけんすう 需要が高まっています。相談件数や けいやくしゃすう そうげん く かえ 契約者数は増減を繰り返しながらほ よこ そうだんないよう ふくざつ ぼ横ばいです。相談内容が複雑かつ たよう か た き わた たいおう もと 多様化しており、多岐に渡る対応が求 められています。 そうだんけんすう けん 【相談件数】 91,572件 のべけいやくしゃすう にん れいわ ねんど 【延契約者数】 1,386人(令和7年度 がつまつげんざい 3月末現在)	しみん しえんしゃ せいどしゅうちおよ 市民や支援者への制度周知及び けいはつ おこな 啓発を行っています。また、 たよう そうだんないよう おう ていねい 多様な相談内容に応じて、丁寧な たいおう おこな とも ひつよう 対応を行っていくと共に、必要な かた せいねんこうけんせい どりよう いこう 方へ成年後見制度利用へ移行がで きるよう支援を行っています。 また、法改正に伴う今後の事業の あり方について検討していきます。
----	------------------------------	--	---	---	--

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
47	せいねんこうけんせいど く ちょうもうした 成年後見制度区 長 申立て けんすう 件数	30 けん (実績29 けん 件)	30 けん (実績18 けん 件)	30 けん (実績30 けん 件)	30 けん (実績25 けん 件)	30 けん (実績22 けん 件)	30 けん
47	せいねんこうけんにんとうほうしゅうじょせいけんすう 成年後見人等報酬助成件数	210 けん (実績237 けん 件)	240 けん (実績284 けん 件)	270 けん (実績285 けん 件)	300 けん (実績391 けん 件)	330 けん (実績462 けん 件)	360 けん

(3) 障害者差別解消法に基づく取組

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かせ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
49	しみんとう 市民等への ふきゅう けいはつ 普及・啓発	しょうがい りゆう さべつ 障害を理由とする差別の かいしょう あ しみんとう 解消に当たっては、市民等の かたがた かんしん りかい ふか 方々に関心と理解を深めて いただくことが何よりも大切 であることから、市民等に向 けた広報及び啓発活動を こうかてき じっし 効果的に実施します。 また、じぎょうしょとう さべつてき 事業所等への差別的 とりあつか кинし ごうりてきはいりよ 取扱いの禁止や合理的配慮 の提供についても、周知・ けいはつ とく 啓発に取り組めます。	○	へいせい ねん ぼしゅう しょうがいしゃさべつ 平成28年に募集した障害者差別に かん じれい だれ かんたん しら 関する事例を誰でも簡単に調べるこ とができる検索サイトをホームページ で運用しています。 また、さべつかいしょう けいはつどうが 差別解消のための啓発動画を しえい ちかてつしゃない えき 市営バス・地下鉄車内や駅のデジタル サイネージ、本市ウェブサイトに掲出 し、しょうがいしゃさべつ かん けいはつかつどう 障害者差別に関する啓発活動を じっし 実施しました。	ひ つづ さべつかいしょう けいはつ 引き続き、差別解消のための啓発 どうが しえい ちかてつしゃない えき 動画を市営バス・地下鉄車内や駅 のデジタルサイネージ、本市ウェブ サイトに掲出し、しょうがいしゃさべつ かん 障害者差別に関する啓発活動を実施します。

49	そうだんたいせいとう 相談体制等の しゅうち 周知	しょうがいしゃさべつ かん そうだん 障害者差別に関する相談、 ふんそう ぼうしとう たいせい 紛争の防止等のための体制 しゅうち そうだんおよ を周知します。また、相談及 ふんそう ぼうしとう ちいき び紛争の防止等を地域にお すいしん ちいき いて推進するための地域 きょうぎかい かいさい 協議会を開催します。	○	とうじしゃ じぎょう よこはましんたい 当事者サポート事業を横浜市身体 しょうがいしゃだんたいれんごうかい いたく 障害者団体連合会に委託して、ピア そうだん じっし しょうがいしゃさべつ かいしょうほう 相談を実施し、障害者差別解消法に かん はいふ ほか 関するパンフレットを配布した他、 こうつうじぎょうしゃとう む しょうがいとうじしゃ 交通事業者等向けに障害当事者との いけんこうかん ば ふく しょうがいしゃさべつ 意見交換の場を含めた障害者差別 かいしょうほう かん でまえこうざ じっし 解消法に関する出前講座を実施しま した。また、しょうがいしゃさべつ かいしょうしえん 障害者差別解消支援 ちいききょうぎかい そうだんじれい きょうゆう はか 地域協議会にて相談事例の共有を図 るとともに、そうだんたいおう けんとうとう 相談対応に関する検討等 おこな を行いました。	そうだん なか さべつ そうだん ピア相談の中で差別の相談があつ ばあい とうじしゃ きも よそ た場合、当事者の気持ちに寄り添 たいおうまどぐち ちょうせいいいん かいとう い、対応窓口や調整委員会等 しょうかい しゅうち けいはつとう おこな とうじしゃ 紹介、周知・啓発等を行う当事者 サポート事業を横浜市身体障害者 だんたいれんごうかい いたく じっし 団体連合会に委託して実施しま す。また、しょうがいしゃさべつ かいしょうしえん 障害者差別解消支援 ちいききょうぎかい かくぶんや いいん つう 地域協議会の各分野の委員を通じ て、しょうがいとうじしゃ そうだんたいせいとう しゅうち 障害当事者相談体制等の周知 はか を図ります。
50	し しょうくいんたいおう 市職員対応 ようりょう しゅうち 要領の周知	ほん し しょうくいん てきせつ たいおう おこな 本市職員が適切な対応を行 っていくためのししん 指針として さくてい し しょうくいんたいおうようりょう 策定した市職員対応要領を	○	ぜんしよくいん たいしやう しりようはいふ 全職員を対象に、資料配付による けんしやう じっし よこはまし 研修を実施しました。さらに、横浜市 しんたいしょうがいしゃだんたいれんごうかい れんけい 身体障害者団体連合会と連携し、	ひ つづ ぜんしよくいん たいしやう 引き続き、全職員を対象とした けんしやう かくくきよく じんけんけいはつけんしやう 研修や各区局の人権啓発研修、 かいそうべつけんしやう いどうとう ともな けんしやう 階層別研修、異動等に伴う研修

		しゅうち さべつてきとりあつか 周知し、差別的取扱いとなり う じれい ごうりてき はいりよ 得る事例や、合理的な配慮の こうじれいとう しんとう はか 好事例等の浸透を図ります。		かくくきょく じんけんけいはつけんしゅう でまゑこうざ 各区局の人権啓発研修にて出前講座 おこな ぜんくきょく だいひょう あつ を行いました。全区局の代表が集ま かいぎ とりくみじょうきょうとう しゅうち る会議にて、取組状況等を周知する かだい けんとう とともに課題を検討しました。	とう でまゑこうざ じっし 等における出前講座を実施するほ ぜんくきょく だいひょう あつ かいぎ か、全区局の代表が集まる会議 にて ほんし とりくみじょうきょうとう しゅうち 本市の取組状況等を周知します。
--	--	---	--	--	---

(4) 情報保障の取組

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かせ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
51	じょうほうはっしん じ 情報発信時の ごうりてきはいりょ 合理的配慮の ていきょう 提供	ぎょうせいじょうほうはっしん じ し かく 行政情報発信時の視覚 しょうがいしゃ ちょうかくしょうがいしゃおよ 障害者、聴覚障害者及び ちてき 知的 しょうがいしゃどう たい ひとり 障害者等に対して、一人ひと りの障害特性に応じた ごうりてきはいりょ おこな 合理的配慮を行います。	○	し かくしょうがい ひと じょうほうほしょう 視覚障害のある人への情報保障の とりくみ きぼう ひと たい ほん し 取組として、希望する人に対して本市 からはっしゅつ つうち てんじか 発信する通知を、点字化して はっそう し く うんよう 発送する仕組みを運用しています （登録112名）。 ちょうかくしょうがい ひとどう じょうほうほしょう 聴覚障害のある人等への情報保障 の取組として、タブレット たんまつ かつよう 端末を活用 したしゅわつうやく じょうほうていきょう 手話通訳サービスの情報提供を 運用しています。さらに、ほん し かいさい 本市が開催 するイベントや講演会等において じょうほうほしょう おこな ほん し かくか 情報保障を行うため、本市各課に とうさい 搭載	し かくしょうがい かた きぼう かた 視覚障害のある方で希望する方に たい ほん し はっこう つうち 対して、本市から発行する通知の つうちめいとう てんじか つうち はっそう 通知名等を点字化した通知を発送 する仕組みの運用を継続します。 また、ちょうかくしょうがい かたどう 聴覚障害のある方等への じょうほうほしょう とりくみ 情報保障の取組として、タブレット たんまつ かつよう しゅわつうやく 端末を活用した手話通訳サービス のじょうほうていきょう おこな ほん し 情報提供を行います。本市が かいさい こうえんかい かい ぎ どう 開催するイベント・講演会・会議等 のほん し かくか おんせいにんしききのう 本市各課への音声認識機能を

				おんせいにんしききのう どうさい 音声認識機能を搭載したタブレット たんまつかしだし うんよう かいし 端末貸出の運用を開始しました。 ぎょうせい はっこう こうほうぶつ 行政が発行する広報物について、 ちてきしょうがい ひととう 知的障害のある人等にもわかりやす はん さくせい けん し い版を作成しました(7件)。また、市 しよくいん む ちてきしょうがいしゃとう わ 職員向けの知的障害者等にも分かり しりょうさくせいけんしゅうどうが しよくいんよう やすい資料作成研修動画を職員用 う え ぶ こうかい WEBページにて公開しています。	したタブレットたんまつかしだし うんよう したタブレット端末貸出の運用を けいぞく 継続します。 ぎょうせい はっこう こうほうぶつ 行政が発行する広報物について、 ちてきしょうがい ひと 知的障害のある人にもわかりやす はん さくせい と く い版の作成に取り組めます。
51	だいひつ だいどく 代筆・代読サー ビス	しかくとう しょうがい ひと 視覚等に障害のある人が にちじょうせいかつ なか だいひつ 日常生活の中で代筆または だいどく ひつよう しえんしゃ 代読が必要なときに支援者 によるサービス提供を行います。	○	だいひつ だいどく か じ えんじょ しきゅう 代筆・代読のみの家事援助の支給 けつていじょうきょう はあく 決定状況を把握するなど、サービス うんよう てきせつ おこな 運用が適切に行われているか確認 しゅうだんしどう せいど しゅうち し、集団指導で制度について周知を おこな 行いました。	だいひつ だいどく か じ えんじょ 代筆・代読の家事援助でのサービ うんよう てきせつ おこな ス運用が適切に行われるよう、 じぎょううんえいとう ひ つづ おこな 事業運営等を引き続き行ってい きます。

51	しょうがい ひと 障害のある人 たい じょうほう に対する情報 ほしょう 保障のための ガイドライン	しょうがいしゃじょうほう 障害者情報アクセシビリティ し さく ィ・コミュニケーション施策 すいしんほう り ね んおよ しょうがい 推進法の理念及び障害 とうじしゃ いけん ふ じょうほう 当事者の意見を踏まえ、情報 ほしょう かんが かた しゅほうとう 保障の考え方や手法等をま とめたガイドラインを活用し たコミュニケーション環境の こうじょうおよ しょうがいり か い ふきゅう 向上及び障害理解の普及 けいはつ と く 啓発に取り組みます。	○	ぎょうせい き かんじょうほうほしょう とりくみ し え ん 行政機関情報保障の取組を支援す るため、情報保障ガイドラインを作成 し、市ホームページへの掲載を継続し ました。	ひ つづ じょうほうほしょう 引き続き、情報保障ガイドラインを ひろ かつよう しゅうち 広く活用できるよう、さらに周知 し、本市各課で活用を図ります。
----	--	--	---	---	---

さっし 冊子 すう ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
52	しゅわつうやくしゃ はけん はけん 手話通訳者の派遣(派遣 にんずう 人数)	11,000人 (実績9,630 人)	11,000人 (実績 10,376人)	11,000人 (実績10,517人)	11,000人 (実績10,011 人)	11,000人 (実績9,674人)	11,000人
52	ようやくひつきしゃ はけん はけん 要約筆記者の派遣(派遣 にんずう 人数)	1,900人 (実績934人)	1,900人 (実績 1,024人)	1,900人 (実績1,143人)	1,200人 (実績1,173人)	1,350人 (実績996人)	1,500人
52	しゅわ ほうしいうようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業 (養成人数)	172人 (実績102人)	172人 (実績138 人)	172人 (実績156人)	172人 (実績174人)	172人 (実績147人)	172人
52	しゅわつうやくしゃ ひつきしゃようせい 手話通訳者・筆記者養成 けんしゅうじぎょう ようせいにんずう 研修事業(養成人数)	90人 (実績46人)	90人 (実績60人)	90人 (実績47人)	90人 (実績56人)	90人 (実績43人)	90人
52	もう しゃむ つうやく かいじょいん 盲ろう者向け通訳・介助員 ようせいけんしゅうじぎょう ようせいにんずう 養成研修事業(養成人数)	30人 (実績17人)	30人 (実績20人)	30人 (実績26人)	37人 (実績26人)	37人 (実績28人)	37人

さまざまな生活の場面を支えるもの 4 相談支援

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
55	しょうがいしゃそだん 障害者相談 しえんじぎょう 支援事業の しゅうちおよ ふきゅう 周知及び普及 けいはつ 啓発	く ふくしほけん きかん 区福祉保健センター、基幹 そだんしえん せいしんしょうがい 相談支援センター、精神障 害 しゃせいかつしえん きかん 者生活支援センターの3機関 ちゅうしん ちい きせいかつしえんきよてん を中心に地域生活支援拠点 きのう じゅうそく の機能を充足させながら、 そだんしえんじぎょう しゅうち けいはつ 相談支援事業の周知、啓発を はか 図ります。	○	そだんしえんじぎょう しゅうち けいはつ はか 相談支援事業の周知・啓発を図るた め、「そだんしえんじぎょうしょうかいせつせつめいかい 相談支援事業所開設説明会」 じぎょうべつしゅうだんしどう じっし 「事業別集団指導」を実施しました。 また、3機関が連携し、計画相談支援 の推進に向けた後方支援を 行 うな ど、地域の相談支援体制の強化に取 り組みました。	そだんしえんじぎょう しゅうち けいはつ はか 相談支援事業の周知・啓発を図る ため、「そだんしえんじぎょうしょうかいせつせつめい 相談支援事業所開設説明 かい じぎょうべつしゅうだんしどう じっし 会」「事業別集団指導」を実施しま す。また、3機関が連携し、計画 相談支援の推進に向けた後方支援 を 行 うなど、地域の相談支援体制 の強化に取り組みます。
56	そだんしえん 相談支援 じゅうじしゃ じんざい 従事者の人材 いくせい 育成 さいけい 【再掲】	し いき くい き じんざいいくせい 市域と区域での人材育成に かん とりくみ せいり そうご 関する取組を整理し、相互に れんどう こうかてき こうりつてき 連動させた効果的・効率的な じんざいいくせいたいけい せいび 人材育成体系を整備します。	○	かいてい じんざいいくせい 改定した人材育成ビジョンについて の周知を 行 いました。 また、市自立支援協議会にて、意思 決定支援の各区の取組 状 況 の確認	い し けっていしえん じんざいいくせい 意思決定支援や人材育成ビジョン を活用した相談支援従事者の人材 育成、人材の定着について、市 自立支援協議会にて協議・検討し

				^{かいてい} や改定した ^{じんざいいくせい} 人材育成ビジョンの ^{かつよう} 活用 ^{けんとう} について検討しました。	^{ないよう} た内容をより ^{ぐたいてき} 具体的に ^{てんかい} 展開できる ^{くいき} よう区域と ^{しいき} 市域で ^{れんどう} 連動した ^{とりくみ} 取組を ^{すす} 進めていきます。
56	^{しじりつしえん} 市自立支援 ^{きょうぎかい} 協議会と区 ^{しじりつしえんきょうぎ} 自立支援協議 ^{かい} 会の ^{れんけい} 連携・ ^{れんどう} 連動	^{しじりつしえんきょうぎかい} 市自立支援協議会、ブロック ^{れんらくかい} 連絡会、 ^{くじりつしえんきょうぎかい} 区自立支援協議会を ^{れんけい} 連携・ ^{れんどう} 連動させ、 ^{ちいき} 地域づくりに ^{こうかてき} 効果的に ^{とく} 取り組める ^{たいせい} 体制を ^{せいび} 整備します。	○	^{かくく} 各区より ^あ 挙げられた ^{かだい} 課題や ^{とりくみ} 取組につ ^{しおよ} いて、市及び区協議会で ^{きょうゆう} 共有しまし ^{いしけつていしえん} た。意思決定支援のさらなる ^{すいしん} 推進を ^{めざ} 目指し、 ^{とりくみきょうゆうとう} 取組共有等を ^{おこな} 行いました。	^{いしけつていしえん} 意思決定支援を ^{じゅうてんてき} 重点的な ^{とりくみ} 取組テ ^い ーマとして ^{いちつ} 位置付け、 ^し 市と ^く 区が ^{そうご} 相互に ^{れんけい} 連携・ ^{れんどう} 連動しながら、 ^{よこはまし} 横浜市 ^{ぜんたい} 全体として ^{いったいてき} 一体的に ^{ちいき} 地域づくりに ^{とく} 取り組める ^{たいせいせいび} 体制整備を ^{はか} 図ります。
56	^{とうじしゃ} 当事者による ^{そうだん} 相談の ^{じゅうじつ} 充実	^{しゃかいさんかすいしん} 社会参加推進センターに ^{せっち} 設置 ^{そうだん} するピア相談センターでの ^{とうじしゃ} 当事者 ^{そうだん} 相談の ^{しゅうち} 周知を ^{はか} 図り、 ^{とうじしゃ} 当事者による ^{そうだんしえん} 相談支援を ^{すいしん} 推進します。	○	^{けいさいとう} ウェブサイトへの ^{けいさいとう} 掲載等により、 ^{ピア} ピア ^{そうだん} 相談センターでの ^{とりくみ} 取組を ^{しゅうち} 周知し、 ^{とうじしゃ} 当事者 ^{そうだん} 相談の ^{かつよう} 活用につなげました。ま ^{そうだんいん} た、ピア相談員の ^{はか} スキルアップを ^{はか} 図る ^{そうだんいんけんしゅう} ため、ピア相談員研修を実施しまし ^た た。	^ひ 引き続き、 ^{つづ} ピア ^{そうだん} 相談センターの ^{とりくみ} 取組 ^{しゅうち} の ^{きょうか} 周知を ^{とうじしゃ} 当事者 ^{そうだん} 相談の ^{かつよう} 活用につなげていきます。また、 ^{ピア} ピア ^{そうだんいんけんしゅう} 相談員 ^{じっし} 研修を実施し、 ^{そうだん} ピア相談 ^{いん} 員の ^{はか} スキルアップを ^{はか} 図ります。

56	既存の相談 窓口(地域ケア プラザ等)によ る連携	身近な相談者として、日頃の 関わりの中で、何気ない会話 に含まれている相談に気付 き、必要に応じて適した相談 支援機関につなげます。	○	地域ケアプラザ等における相談対応 をきっかけとした事案を、必要に応じ て相談支援機関につなぎました。	引き続き、身近な相談者として、 日頃の関わりの中で、何気ない会 話に含まれている相談に気づき、 必要に応じて適した相談支援機関 につなげます。
57	難病患者等へ の必要な情報 提供	難病患者等に対して必要な 情報提供を行うこと等によ り、難病患者等の障害福祉 サービス等の活用が促され るよう検討します。	○	講演会・交流会を、引き続き実施し、 一部の講演会は動画配信としました。 講演会・交流会は最新情報が得られ るよう案内チラシに本市Webサイト の二次元バーコードを掲載しました。	講演会・交流会を引き続き実施す るとともに、横浜市のホームページ やメールマガジン等を活用して、 最新情報を提供できるよう努め ていきます。
57	発達障害者 支援センター 運営事業	発達障害者支援センターと、 地域の支援機関との連携の 仕組みを整理し、相談支援 体制の強化を図ります。	○	発達障害者支援センターの職員が 各区に出向き、地域の相談支援機関 との連携の取組を18区で実施する とともに、市内の障害福祉サービス	引き続き関係機関への技術支援や 研修実施による支援者の援助力 向上を図りながら、各区自立支援 協議会への参画や、個別ケースへ

				じぎょうしょとう ほうもん ぎじゅつてきしえん おこな 事業所等を訪問し技術的支援を 行い ました。 そうだんし えん き かん えんじよりよくこうじょう また、相談支援機関の援助力向上の ための研修を実施しました。	のコンサルテーションや支援を 実施し、連携体制を構築していき ます。
57	こうじのうきのう 高次脳機能 しょうがい かが 障害に関わる かんけいき かん 関係機関の れんけいそくしん 連携促進	こうじのうきのうしょうがいしえん 高次脳機能障害支援センタ ーと地域の関係機関との れんけい そくしん みちか ちいき 連携を促進し、身近な地域に おける高次脳機能障害に対 する支援体制を強化します。	○	よこはましこうじのうきのうしょうがいしえん 横浜市高次脳機能障害支援センター において、中途障害者地域活動セン ターでの専門相談や支援者向け研修 会の実施、高次脳機能障害者が多く 利用する地域活動支援センターとの 連絡会(年2回)を継続し、市内の高次 脳機能障害者支援における連携を図 りました。新たに、高次脳機能障害 支援養成研修の講師派遣や地域活動	こうじのうきのうしょうがいしえんほう しこう 高次脳機能障害者支援法の施行 も踏まえ、横浜市高次脳機能障害 支援センターと連携し、専門相談、 支援者向け研修会、関係機関との 連絡会の実施、高次脳機能障害 支援養成研修を行います。 また、新たに学校等の教育機関と の連携強化を検討するほか、高次 脳機能障害者地域連携協議会の

				支援センター職員向けの勉強会を実施しました。	実施、医療機関との連携体制の構築について検討をすすめます。
57	医療的ケア児・者等の相談体制の充実	医療的ケア児・者等とその家族が、身近な地域で相談できる場所の充実を図ります。	○	神奈川県第8次医療計画により、在宅医療連携拠点が「在宅医療に必要な連携を担う拠点」に位置づけられ、全区の在宅医療連携拠点と障害相談支援機関の双方方向での会議参加など連携が推進されました。	引き続き在宅医療連携拠点と障害相談支援機関の連携強化を推進していきます。
58	ヤングケアラーの支援に向けた取組	本来大人が担うと想定されている家事や、幼いきょうだいや高齢の祖父母、障害のある家族の世話などを日常的に行っている子ども、いわゆる「ヤングケアラー」について	○	地域全体でこどもたちを見守り、支える環境づくりのため、支援団体への補助(5団体)、SNS相談(相談件数30件)、広報啓発(映画上映イベント63名)、市民向け研修動画視聴(全6回1,039回)等の取組を実施しまし	ヤングケアラーを早期に把握し支援につなげるとともに、支援施策の充実を図るため、アンケートによる実態調査を実施します。あわせて、ヤングケアラーの負担軽減を図るため、ピアサポートやオ

		て、地域^{ちいきぜんたい}全体^こで子どもたちを 見^み守^{まも}り、支^さえる環^{かん}境^{きよう}づくりを 進^{すす}めます。		た。 また、市内市立学校^{しな い し りつがっこう}の小学^{しょうがく}4年生^{ねんせい}・ 中学^{ちゅうがく}1年生^{ねんせい}・高校^{こうこう}1年生^{ねんせい}を対象^{たいしょう}にアン ケートによる実態^{じったいちようさ}調査^{じっし}を実施^{じっし}しまし た。(回答^{かいとうりつ}率^{ばーせん}73.1 %)	ンラインサロン^{じっし}を実施^{だんたい}する団体^{だんたい}へ の補助^{ほじょ}を行^{おこな}うとともに、SNS^{えすえぬえす}を 活用^{かつよう}したよこはま子ども^こ・若者^{わかもの}相談^{そうだん} 室^{しつ}の相談^{そうだん}メニューとして実施^{じっし}しま す。 また、ヤングケアラー^{みまも}を見守^{ささ}り、支^{ささ} える環^{かん}境^{きよう}づくりを進^{すす}めるため、 市民^{しみん}に向けた^む広報^{こうほう}・啓発^{けいはつ}を実施^{じっし}し ます。
--	--	---	--	---	--

さつし 冊子 すう ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
59	きかんそうだんしえん 基幹相談支援センターの設置 せっち	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	せっち ず 設置済み	せっち ず 設置済み	せっち ず 設置済み
59	ちいき そうだんしえんたいせい きょうか 地域の相談支援体制の強化 せんもんてき しどう じょげん ・専門的な指導・助言	けん 400件	けん 440件	けん 480件	けん 840件	けん 840件	けん 840件
59	ちいき そうだんしえんじぎょうしゃ ・地域の相談支援事業者の じんざいいくせい じっし 人材育成の実施	かい 72回	かい 72回	かい 72回	かい 72回	かい 72回	かい 72回
59	ちいき そうだんきかん れんけい ・地域の相談機関との連携 きょうか とりくみ 強化の取組	かい 36回	かい 36回	かい 36回	かい 130回	かい 130回	かい 130回
59	こべつじれい けんとう つう 個別事例の検討を通じた ちいき きばん かいほう 地域サービス基盤の開発・	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	せっち ず 設置済み	せっち ず 設置済み	せっち ず 設置済み

	かいぜんとう おこな とりくみ おこな 改善等を行う取組を行うた めに必要な協議会(自立支援 協議会)の設置						
59	しょうがい しゅべつ かくしゅ 障害の種別や各種のニーズ たいおう そうごうてき せんもんてき に対応できる総合的・専門的 そうだんしえん な相談支援	48,000件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 59,109 件 ^{けん})	49,000件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 55,022件 ^{けん})	50,000件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 52,234 件 ^{けん})	55,000件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 54,905 件 ^{けん})	55,000件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 57,638 件 ^{けん})	55,000件 ^{けん}
59	けいかくそうだんしえんりようしやう 計画相談支援利用者数 (ねんかん) (年間)	16,322人 ^{にん} (実績 ^{じっせき} 14,235 人 ^{にん})	18,805人 ^{にん} (実績 ^{じっせき} 15,086人 ^{にん})	21,453人 ^{にん} (実績 ^{じっせき} 15,624人 ^{にん})	19,860人 ^{にん} (実績 ^{じっせき} 16,228 人 ^{にん})	22,485人 ^{にん} (実績 ^{じっせき} 16,964人 ^{にん})	25,279人 ^{にん}
60	はったつしょうがいしやしえんちいききょうぎかい 発達障害者支援地域協議会 かいさいけんすう の開催件数	3件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 1件 ^{けん})	3件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 2件 ^{けん})	3件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 2件 ^{けん})	3件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 2件 ^{けん})	3件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 2件 ^{けん})	3件 ^{けん}
60	はったつしょうがいしやしえん 発達障害者支援センターに そうだんけんすう がくれいこう きしょうがい よる相談件数(学齢後期障害 じしえんじぎょうぶん のぞ 児支援事業分を除く)	3,500件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 1,528 件 ^{けん})	3,500件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 1,688件 ^{けん})	3,500件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 1,893件 ^{けん})	3,500件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 2,291件 ^{けん})	3,500件 ^{けん} (実績 ^{じっせき} 2,735件 ^{けん})	3,500件 ^{けん}

60	はったつしょうがいしゃしえん およ 発達障害者支援センター及 はったつしょうがいしゃちいきしえん び発達障害者地域支援マネ がいぶきかん ちいき ジャーの外部機関や地域 じゅうみん けんしゅう けいはつ がくれい 住民への研修、啓発(学齢 こうきしょうがいじしえんじぎょうぶんのぞ 後期障害児支援事業分を除 <)	55^{けん}件 じっせき^{けん} (実績41件)	55^{けん}件 じっせき^{けん} (実績43件)	55^{けん}件 じっせき^{けん} (実績40件)	55^{けん}件 じっせき^{けん} (実績26件)	55^{けん}件 じっせき^{けん} (実績38件)	55^{けん}件
60	いりょうてき じ しゃとう たい 医療的ケア児・者等に対する かんれんぶんや しえん ちょうせい 関連分野の支援を調整する コーディネーターの^{はいち}配置	6^{にん}人 じっせき^{にん} (実績6人)	6^{にん}人 じっせき^{にん} (実績6人)	6^{にん}人 じっせき^{にん} (実績10人)	10^{にん}人 じっせき^{にん} (実績8人)	12^{にん}人 じっせき^{にん} (実績10人)	12^{にん}人

38

68	サポートホーム 事業	はったつしょうがい にゆうきょしゃ たい 発達障害のある入居者に対し、 ちいきせいかつ む じゅんぴ 地域生活に向けた準備のため、 せいかつめん しえん 生活面のアセスメントと支援を じっし こうか 実施する「サポートホーム」の効果 けんしょう しえんほうほう を検証するとともに、支援方法 ちいき じぎょうしょとう かくだい を地域の事業所等へ拡大させて いきます。	○	アセスメントツールの運用を継続し、 はったつしょうがい かた せいかつし えんおよ 発達障害のある方の生活支援及び ちいきこう む しえん おこな 地域移行に向けた支援を 行いまし た。 また、支援方法を地域の事業所等へ かくだい しないしえんしゃむ 拡大させるため、市内支援者向けに けんしゅう おこな しゅうごうけんしゅう へん 研修を行いました(集合研修に変 更:参加者37名)。	ひ つづ つか 引き続き、これまでに 培った しえんしゅほう ちいき じぎょうしょとう 支援手法が地域の事業所等に かくだい とりくみ すいしん 拡大されるよう、取組を推進し ていきます。
69	障害児施設の 再整備	ろうきゅうか すす しょうがい じ にゅうしょ 老朽化が進んでいる障害児入所 しせつ さいせいび すす 施設の再整備を進めます。	○	さいせいび ほうしん かだい せいり おこな 再整備の方針や課題の整理を 行うた めの調整を行いました。	ひ つづ うんえいほうじん れんけい と 引き続き運営法人と連携を取り さいせいび すす ながら再整備を進めます。

69	まつかがくえん 松風学園 さいせいびじぎょう 再整備事業	にゅうきょしゃ きょじゅうかんきょうかいぜん 入居者の居住環境改善のため、 こしつ かとう すす どうえん 個室化等を進めます。また、同園 しきち いちぶ かつよう みんせつしん 敷地の一部を活用して民設新 にゅうしょせつ せいび 入所施設を整備します。 ちゅうかんき こしつ かとう きょじゅうかんきょう ・中間期:個室化等の居住環境 せつび かいぜんおよ みんせつしんにゅうしょ や設備の改善及び民設新入所 しせつ こうじじっし 施設の工事実施 けいかくき かんちゅう こしつ かとう きょじゅう ・計画期間中:個室化等の居住 かんきょう せつび かいぜんおよ みんせつ 環境や設備の改善及び民設 しんにゅうしょせつ こうじじっしかんりょう 新入所施設の工事実施完了	○	えーとうかいしゅうこうじ かんりょう A棟改修工事を完了しました。	ふくし どうかいたいこうじ かんりょう 福祉ホーム棟解体工事を完了 します。また、かんりとうかいしゅうこうじ 管理棟改修工事 ちやくしゅ に着手します。
69	しょうがいふくししせつ 障害福祉施設 とう はたら かんご 等で働く看護 し しえん かくほ 師の支援・確保 さいけい 【再掲】	しょうがいふくししせつとう 障害福祉施設等で はたら かんごし ていちゃく む 働く看護師の定着に向けた しえん おこな じんざいかくほ 支援を行うとともに、人材確保 ほうさく けんとう の方策について検討します。	○	しょうがいふくししせつ はたら かんごしとう しょく 障害福祉施設で働く看護師等の職 いん む こうくうきのうかんり たしよくしゅ 員向けに、口腔機能管理や多職種 れんけい けんしゅう じっし 連携をテーマとした研修を実施しま した。また、しかいし かくしせつ ほうもん した。また、歯科医師が各施設を訪問	ひ つづ しょうがいふくししせつ はたら 引き続き障害福祉施設で働く かんごしとう む けんしゅう じゅんかい 看護師等向けに、研修や巡回 ほうもん じょげん しどう けいぞく 訪問による助言・指導を継続し ます。また、しせつけんがくかい じっし 施設見学会を実施

				ぎじゆつてき じよげん しどう し、技術的な助言・指導をしました。 あわ 併 きゆうしよくちゆう かん ごし たいしやう せて、求職中の看護師を対象に、 しょうがいふくし しせつ けんがくかい じっし 障害福祉施設の見学会を実施し、 しせつ はたら みりよく つた 施設で働くことの魅力を伝えました。	かくしせつ こやう し、各施設での雇用につながる しえん よう支援します。
--	--	--	--	---	--

さっし 冊子 すう ページ数	しひやうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
70	きやうどうせいかつえんじよ 共同生活援助(グループホーム) りやうしゃすう しんせつていいんすう ねん 利用者数(新設定員数/年)	200人 じっせき (実績221人)	200人 じっせき (実績263人)	200人 じっせき (実績264人)	200人 じっせき (実績238人)	200人 じっせき (実績255人)	200人
70	きやうどうせいかつえんじよ 共同生活援助(グループホーム) りやうしゃすう りやうにんずう ねん 利用者数(利用人数/年)	5,000人 じっせき (実績5,164人)	5,200人 じっせき (実績5,452人)	5,400人 じっせき (実績5,652人)	5,800人 じっせき (実績5,997人)	6,000人 じっせき (実績6,295人)	6,200人

70	きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助(グループホーム) りようしゃすう りようにんずう ねん 利用者数(利用人数/年) じゅうどうしょうがいしゃ うち、重度障害者	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	1,288人 (実績1,386人)	1,407人 (実績1,502人)	1,538人
70	しせつにゅうしょえん 施設入所支援 りようにんずう つき (利用人数/月)	1,426人 (実績1,385人)	1,420人 (実績1,364人)	1,414人 (実績1,380人)	1,330人 (実績1,356人)	1,313人 (実績1,324人)	1,295人
70	ふくしがたしょうがいじにゅうしょえん 福祉型障害児入所支援 りようじどうすう つき (利用児童数/月)	190人 (実績160人)	190人 (実績158人)	190人 (実績152人)	190人 (実績147人)	190人 (実績144人)	190人
71	いりょうがたしょうがいじにゅうしょえん 医療型障害児入所支援 りようじどうすう つき (利用児童数/月)	90人 (実績77人)	90人 (実績83人)	90人 (実績77人)	98人 (実績68人)	98人 (実績67人)	98人
71	しょうがいじにゅうしょしせつ 障害児入所施設における 18 さいいじょう にゅうしょしゃすう 歳以上の入所者数	0人 (実績13人)	0人 (実績7人)	0人 (実績0人)	0人 (実績0人)	0人 (実績0人)	0人

71	しゅくはくがたじりつくんれんりょうにんずう 宿泊型自立訓練(利用人数/ つき月)	87人分 じっせき (実績65人分)	87人分 じっせき (実績62人分)	87人分 じっせき (実績70人分)	87人分 じっせき (実績67人分)	87人分 じっせき (実績67人分)	87人分
		2,364人日 じっせき (実績1,709人 日)	2,364人日 じっせき (実績1,647人 日)	2,364人日 じっせき (実績1,916人 日)	2,364人日 じっせき (実績1,788人日)	2,364人日 じっせき (実績1,733人 日)	2,364人日
71	りょうようかいごりょうにんずうつき 療養介護(利用人数/月)	279人 じっせき (実績283人)	279人 じっせき (実績308人)	284人 じっせき (実績308人)	308人 じっせき (実績309人)	308人 じっせき (実績313人)	308人

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
74	しんたいしょうがいしゃ 身体障害者・ こうれいしゃ じゅうたく 高齢者の住宅 かいぞうおよ もよう 改造及び模様 が 替え	し えいじゅうたく にゅうきょ 市営住宅に入居している障害 しゃとう ようぼう たい 者等の要望に対し、トイレや浴室 て とりつ じゅうたく への手すりの取付けなどの住宅 かいぞう じっし 改造を実施します。	○	れいわ ねんどじっせき 令和7年度実績 じゅうたくかいぞう けん しょうがいしゃたいおう けん 住宅改造20件(障害者対応10件・ こうれいしゃたいおう けん 高齢者対応10件) もようがえしょうにん けん しょうがいしゃたいおう 模様替承認63件(うち障害者対応2 けん 件)	げんこう し く たいおう い じ 現行の仕組みでの対応を維持し ていきます。

74	こうれいか じゅうどか 高齡化・重度化 たいおう 対応のグループホームの けんとう かくじゅう 検討・拡充	げんざい じっし こうれいか 現在、実施している高齡化・ じゅうどかたいおう じぎょう 重度化対応グループホーム事業 を ふ じぞくてき じつげんかのう せいど 踏まえ、持続的に実現可能な制度 けんとう おこな こうご の検討を 行 っていきます。今後 すす も進んでいくことが見込まれる しょうがいしゃ こうれいか じゅうどか たいおう 障害者の高齡化・重度化に対応 していくため、こうれいか じゅうどか 高齡化・重度化 たいおう 対応グループホームを かくじゅう 拡充して いきます。 また、きょうどうどうしょうがいおよ いりようてき 強度行動障害及び医療的 ケアを 必要とする方等にも たいおう 対応し たグループホームについて、 じゅうじつ 充実 む けんとう すす に向けた検討を進めていきます。	○	じゅうどか こうれいかとう こべつ ふ 重度化・高齡化等の個別ニーズを踏ま えたグループホームの せっち 設置について じぎょうしゃ かんけいだんたい きょうぎ かせ 事業者や関係団体と協議を重ねまし た。	こべつ たいおう 個別ニーズに対応したグループ ホームの せっち ちやくしゅ 設置に着手します。
----	--	---	---	---	--

75	こうれいか じゅうどか 高齢化・重度化 たいおう 対応バリアフリ かいしゅうじぎょう 一改修事業	グループホームを利用する障害 者が高齢になり、それに伴う 身体機能の低下等により、従来 のホームの設備で生活すること が困難となる場合でも、居住して いるホームで安心して生活し続け ることができるよう、バリアフリ 一等改修に係る経費を補助しま す。	△	2ホームにスロープの設置や浴室の 改修を行いました。	引き続き、バリアフリー等改修 に係る経費の補助を行い、制度 の利用周知を進めていきます。
----	---	---	---	---------------------------------------	---

せいかつ ばめん す 生活の場面1 住む・暮らす 1-2 暮らし

(1)ちいき せいかつ し く じゅうじつ 地域での生活を支える仕組みの充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
77	しょうがいしゃちいき 障害者地域 かつどう 活動ホーム事業	ざいたく しょうがい じ しゃ かぞく 在宅の障害児・者とその家族の ちいきせいかつ しえん きよてんしせつ 地域生活を支援する拠点施設と して、よこはまし 独自に せっち して、横浜市が独自に設置してい るものです。主なサービスとし て、せいかつかいご ちいきかつどうしえん 生活介護や地域活動支援セン ター事業デイサービス型等の にっちゅうかつどう 日中活動のほか、ショートステイ やいちじ とう せいかつしえんじぎょう や一時ケア等の生活支援事業を じっし 実施しています。施設規模等によ り、しゃかいふくしほうじんかたちかつ 社会福祉法人型地活ホームと きのうきょう か がた ち かつ 機能強化型地活ホームの2種類 ぶんるい に分類されています。	○	かつどう れんらくかいとう ば 活動ホーム連絡会等の場において、 どくじ とりくみ げんば かだい きょうゆう 独自の取組や現場の課題を共有し、 ちいきせいかつしえんきよてん なか やくわり 地域生活支援拠点の中での役割の めいかくか しせつうんえい かた 明確化や、施設運営のあり方について いけんこうかん おこな しせつかん れんけい 意見交換を行うなど、施設間の連携 きょうか を強化しました。 あわ しょうがいしゃ い し けっていしえん 併せて、障害者の意思決定支援につ いて、ぐたいてき とりくみ きょうゆう いけん 具体的取組の共有や意見 こうかん おこな しえん しつ こうじょう はか 交換を行い、支援の質の向上を図り ました。	ひ つづ かつどう れんらくかいとう 引き続き活動ホーム連絡会等の ば において、げんば かだい きょうゆう 場において、現場の課題を共有 し、しせつ うんえい し、施設としての運営のあり方 についていけんこうかん おこな しえん 意見交換を行い、支援 しつこうじょう しせつかん れんけい の質向上や施設間の連携を きょうか 強化していきます。 あわ 併せて、ショートステイや一時ケ ア等の生活支援事業の充実を はか 図ってまいります。

78	せいしんしょうがいしゃ 精神障害者 せいかつしえん 生活支援センタ じぎょう 一事業	とうごうしつちようしやう 統合失調症をはじめとした精神 しょうがいしゃ しゃかいふっき じりつおよ 障害者の社会復帰、自立及び しゃかいさんか しえん 社会参加を支援するため各区に1 か所設置している精神障害者の ちいきせいかつしえん 地域生活支援における本市の きよてんしせつ 拠点施設です。 せいしんほけんふくしし はいち にちじよう 精神保健福祉士を配置し、日常 せいかつ かん そうだん じよげん じようほう 生活に関する相談や助言、情報 ていきよう 提供のほか、専門医による相談 や生活維持のためのサービス しょくじ にゅうよく せんたくとう とう ていきよう (食事、入浴、洗濯等)等を提供 しています。区や基幹相談支援セ ンターとともに、本市の「地域 せいかつしえん きよてん せいしんしょうがい 生活支援拠点」や「精神障害にも	○	せいかつしえん じぎょう 生活支援センター事業のさらなる じゅうじつ もくてき せいかつしえん 充実を目的として、生活支援センター しせつ ちょうかいとう じぎょううんえいじよう 施設長会等において事業運営上の かだい ちゅうしゅつ 課題を抽出しました。また、時代に即 した見直しを行うため検討会の実施 に向けた意見交換も行いました。	せいかつしえん じぎょう じゅうじつ 生活支援センター事業の充実 めざ かく かだい を目指して、各センターと課題 かいけつ む けんとうかい すす 解決に向けた検討会を進めてい きます。
----	---	---	---	---	--

		たいおう ちいきほうかつ 対応した地域包括ケアシステム」 ちゅうかく い ち づ の中核に位置付けられています。			
79	た き の う が た き よ て ん 多機能型拠点 せいび うんえい の整備・運営	つね いりようてき 常に医療的ケアを ひつよう じゅうしょうしんしんしょうがい じ しゃ 必要とする重症心身障害児・者 とう かぞく ちいせいかつ しえん 等とその家族の地域生活を支援 するため、そうだんしえん たんきにゆうしょ、 相談支援、短期入所、 せいかつかいご しんりょう ほうもんかんご きょたく 生活介護、診療、訪問看護や居宅 かいご いったいてき ていきょう 介護などを一体的に提供する た き の う が た き よ て ん せいび しない 多機能型拠点の整備を市内6 ほうめん すす 方面に進めます。	○	しない かんめ ちゅうおうがほうめん 市内5館目となる中央部方面 た き の う が た き よ て ん かしょう 多機能型拠点(仮称)については、 れいわ ねん がつ がつ せいびうんえいほうじん 令和7年7月～9月に整備運営法人 こうぼ じっし がつ ほうじんしせつしんさ 公募を実施し、12月の法人施設審査 かい せいびうんえいほうじん けつてい 会において整備運営法人が決定しました。	しない かんめ ちゅうおうがほうめん 市内5館目となる中央部方面 た き の う が た き よ て ん かしょう 多機能型拠点(仮称)について れいわ ねんど かいしよ め ざ は、令和10年度の開所を目指 し、きほん じっしせつけい おこな し、基本・実施設計を行います。 のこ かん せいび ひ 残り1館の整備についても、引 つづ せいびようち かくほ そうき き続き、整備用地の確保・早期 せいび すす しない かん せいび の整備を進め、市内6館の整備 かんりよう め ざ あわ 完了を目指していきます。併せ うんえい かか かだいはいけつ む て、運営に係る課題解決に向け とりくみ すす た取組を進めます。

79	こうどうしょうがい 行動障害のあ かた ちいき る方の地域 いこう ちいき 移行や地域 せいかつ ささ 生活を支える しく 仕組みづくり	こうどうしょうがい かた ひつよう 行動障害のある方に必要とされ しえんたいせい とく ちいき る支援体制について、特に地域 いこう ちいきせいかつ ささ きのう 移行や地域生活を支える機能の けんとう すす 検討を進めます。	○	きょうどこうどうしょうがい ゆう もの 強度行動障害を有する者への しゅうちゅうてきしえん じっし む 集中的支援について実施に向けた けんとう すす かいし む じゅんび ととの 検討を進め、開始に向け準備を整え ました。	きょうどこうどうしょうがい ゆう もの 強度行動障害を有する者への しゅうちゅうてきしえん じっし じょうきよう 集中的支援を実施し、状況を みす こんご しえんたいせい 見据えながら、今後の支援体制 こうちく む と く すす 構築に向けて取り組みを進めて いきます。
79	ちいきしえん 地域支援マネジ ャーによる しょうがいふくし 障害福祉サー ビス事業所等 への支援	はったつしょうがいしゃしえん ちいき 発達障害者支援センターに「地域 しえん はいち しょうがい 支援マネジャー」を配置し、障害 ふくし じぎょうしょう たい 福祉サービス事業所等に対し、 こうどうしょうがい はったつしょうがい かが 行動障害・発達障害に係るコン サルテーションを実施します。	○	ちいきしえん しょうがい 「地域支援マネジャー」による、障害 ふくし じぎょうしょう たい こうどう 福祉サービス事業所等に対する、行動 しょうがい はったつしょうがい かが 障害・発達障害に係るコンサルテ ションを実施しました。	ちいきしえん 「地域支援マネジャー」による、 しょうがいふくし じぎょうしょう 障害福祉サービス事業所等に たい こうどうしょうがい はったつしょうがい 対する、行動障害・発達障害に かが 係るコンサルテーションを実施 します。

80	ちい きせい かつし えん 地域生活支援 きよてん きのう 拠点機能の じゅうじつ 充実	しょうがい かた こうれい か じゅうどか 障害のある方の高齢化・重度化、 おや あと そな ちい き 親なき後に備えるとともに、地域 い こう すす き かんそうだんし えん 移行を進めるため、基幹相談支援 センター・生活支援センター・区 ふくし ほけん き かんいつたい 福祉保健センターの3機関一体の うんえい ちい き しゃかい 運営により、地域のあらゆる社会 しげん ゆうきてき 資源を有機的につなぐネットワー かた きよてん きのう せいび ちい き ク型の拠点機能を整備し、地域で きよじゅうし えん きのう じゅうじつ はか の居住支援機能の充実を図りま す。	○	く い き き かんそうだんし えん 区域では、基幹相談支援センターを ちゅうしん じぎょうしょほうもん おこな ちい きせい かつ 中心に事業所訪問を 行い、地域生活 し えん きよてん かん しゅうち おこな 支援拠点に関する周知を 行いまし た。また、ちい き かい ぎ さんか 地域ケア会議などへ参加し、 しょうがい かた こうれい か ともな かだい 障害のある方の高齢化に伴う課題 きょうゆう おこな し い き の共有などを行いました。市域で き かん ぎょうどうれんらくかい ちい きせい かつ は、「3機関合同連絡会」や「地域生活 し えん きよてん けんとう ぶ かい かいさい きよてん 支援拠点検討部会」を開催し、拠点 き のう じゅうじつ ぐたい てきとりくみ 機能充実のための具体的取組の きょうゆう おこな 共有を行いました。	き かんそうだんし えん せい かつ 基幹相談支援センター・生活 し えん く ふくし ほけん 支援センター・区福祉保健センタ ーの3機関を中心に、ちい きせい かつ 地域生活 し えん きよてん かん しゅうち おこな 支援拠点に関する周知を 行い ます。また、ちい き 地域ケアプラザとの れんけい きょうか そうだん 連携を強化し、相談しやすい ちい き とどの 地域のネットワークを整え、 きよてん きのう さら じゅうじつ はか 拠点機能の更なる充実を図り ます。
----	---	---	---	---	---

81	精神障害にも 対応した地域 包括ケアシステ ムの構築	精神障害のある方の生活のしづ らさを 地域で支えていくため、医療・ 保健・福祉の連携の下、各区福祉 保健センター、生活支援センタ ー、基幹相談支援センターを核と した「協議の場」において関係者・ 関係機関が共通の認識の中で 課題解決に向けた取組の検討と 実施をしていきます。また、地域 ごとの課題に対して特性を踏ま えた対応ができるよう、これまで の社会資源を十分に活用しなが ら、ネットワーク機能の見直しや	○	引き続き、各区福祉保健センター、 生活支援センター及び基幹相談支援 センターを核とした「協議の場」におい て、区ごとの地域課題を整理し、課題 に対する取組計画を設定し、普及啓発 や支援者向け研修などを行いました。 また、精神保健福祉法改正に伴い、 精神科病院に入院する患者の権利 擁護、意思表示支援などを目的とす る入院者訪問支援事業を方面別4 病院でモデル実施するなど「精神 障害者ピアスタッフ推進・入院者訪問 支援事業」として一体的に事業を実施	これまでの区域、市域の取組に ついて、効果検証を行いなが ら取組を進めていきます。 また、精神保健福祉法改正に伴 う精神科病院に入院する患者 の権利擁護、意思表示支援など を目的とする入院者訪問支援 事業を市内の全精神科病院 (28病院)で実施します。実施 にあたっては、「精神障害者ピ アサポート推進・入院者訪問 支援事業」として一体的に事業 を実施することで、ピアサポート の概念等を広め、ピアスタッフら
----	---	---	---	---	---

		あら 新たなつながりを構築していきま す。 ※この取組のため、精神障 害者 の障害福祉サービスの利用 状 況を把握し、基盤整備の 過不足等について把握するため、 以下の事項について、活動指標と して設定します。		することでピアスタッフらの活躍の場 の拡大、入院患者の孤独感の低減な どに繋がるよう取り組みました。	の活躍の場の拡大、入院患者 の孤独感の低減などに繋がるよ う取り組みます。
--	--	---	--	---	--

●精神障 害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
82	きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助の りようしゃすう せいしんしょうがい 利用者数(精神障 害)	959人 (実績1,018人)	997人 (実績1,061人)	1,035人 (実績1,100人)	1,129人 (実績1,257人)	1,168人 (実績1,354人)	1,207人

82	ちいきいこうしえん 地域移行支援の りようしゃすう せいしんしょうがい 利用者数(精神障害)	108人／年 (実績63人／年)	120人／年 (実績89人／年)	132人／年 (実績95人／年)	132人／年 (実績90人／年)	132人／年 (実績104人／年)	132人／年
82	ちいきていちゃくしえん 地域定着支援 りようしゃすう せいしんしょうがい 利用者数(精神障害)	480人／年 (実績405人／年)	576人／年 (実績394人／年)	672人／年 (実績456人／年)	672人／年 (実績422人／年)	672人／年 (実績342人／年)	672人／年
82	じりつせいかつえんじりようしゃすう せいしんしょうがい 自立生活援助利用者数(精神障害)	60人／年 (実績51人／年)	75人／年 (実績46人／年)	90人／年 (実績39人／年)	90人／年 (実績35人／年)	90人／年 (実績38人／年)	90人／年
82	じりつくんれん せいかつくんれん りようしゃすう 自立訓練(生活訓練)利用者数 (せいしんしょうがい (精神障害))	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	232人 (実績338人)	243人 (実績385人)	253人
82	じりつせいかつ りようしゃすう 自立生活アシスタント利用者数 (せいしんしょうがい (精神障害))	323人／年 (実績376人／年)	323人／年 (実績355人／年)	323人／年 (実績355人／年)	370人／年 (実績380人／年)	385人／年 (実績344人／年)	400人／年

82	せいしんしょうがいしゃたいいん 精神障害者退院サポート事業 りようしゃ 利用者	180人／年 (実績180人／ 年)	180人／年 (実績189人 ／年)	180人／年 (実績190人／ 年)	190人／年 (実績213／年)	200人／年 (実績239人／ 年)	210人／年
----	--	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------	--------------------------	--------

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かい 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
83	せいしんしょうがいしゃ 精神障害者の かぞくしえんじぎょう 家族支援事業	せいしんしょうがいしゃ かぞく てきせつ 精神障害者とその家族が適切な かんけい たも きんきゅうたいざいばしょ 関係を保つため、緊急滞在場所 じゅんぴ かぞく せいしん を準備するとともに、家族が精神 しっかん りかい ふか きかい 疾患について理解を深める機会 ていきょう を提供します。	○	せいしんしょうがいしゃ かぞく てきせつ かんけい 精神障害者とその家族が適切な関係 たも きんきゅうたいざいばしょ じゅんぴ を保てるよう緊急滞在場所を準備し ました。また学習会を実施し、家族が せいしんしっかん りかい ふか 精神疾患についての理解を深める きかい ていきょう 機会を提供しました。	ひ つづ せいしんしょうがいしゃ 引き続き、精神障害者とその かぞく 家族 てきせつ かんけい たも きんきゅう が適切な関係を保つため、緊急 たいざいばしょ じゅんぴ 滞在場所を準備するとともに、 かぞく せいしんしっかん りかい 家族が精神疾患について理解を ふか きかい ていきょう 深める機会を提供します。

83	いりようてき 医療的ケア児・ しゃとう しえん 者等の支援の ための関係 き かん きようぎ 機関の協議の ば かいさい 場の開催	いりようてき じ しゃとう ちいき 医療的ケア児・者等への地域にお ける さら しえん じゅうじつ む 更なる支援の充実に向け て、ほ けん いりよう しょうがいふくし ほいく 保健・医療・障害福祉・保育・ きょういくとう かんけいき かん れんけい はか 教育等の関係機関が連携を図る ため、よこはましりようてき じ しゃとう 横浜市医療的ケア児・者等 しえんけんとういんかい かだい 支援検討委員会において、課題 きょうゆう いけんこうかん たいおうさくとう けんとう 共有、意見交換、対応策等の検討 おこな を行います。	○	よこはましりようてき じ しゃとうしえんけんとう 横浜市医療的ケア児・者等支援検討 いいんかい がつおよ れいわ ねん がつ かい 委員会を8月及び令和8年2月の2回 かいさい じょうほうきょうゆう いけんこうかん おこな 開催し、情報共有や意見交換を 行い ました。 かいさいよてい 開催予定です。	よこはましりようてき じ しゃとうしえん 横浜市医療的ケア児・者等支援 けんとういんかい だい かい 検討委員会について、第1回を8 がつごろ だい かい れいわ ねん がつごろ 月頃、第2回を令和9年2月頃に かいさいよてい 開催予定です。
83	いりようてき 医療的ケア児・ しゃとうしえんしゃ 者等支援者 ようせい 養成	うけいれたいせい じゅうじつ はか 受入体制の充実に図るため、 しょぞく しせつ じぎょうしょとう 所属する施設・事業所等におい て、いりようてき じ しゃとう うけい 医療的ケア児・者等の受入れ せっきよくてき おこな しえん を積極的に 行えるよう、支援に ひつよう ちしき ぎじゆつ ふきゅうけいはつ 必要な知識・技術の普及啓発を おこな しえんしゃ ようせい 行う支援者を養成します。	○	くに 国のカリキュラム改訂を踏まえ、災害 たいさく あら こうざ ついか 対策などの新たな講座を追加しまし た。 がつ がつ いりようてき じ 5月から 12月まで医療的ケア児・ しゃとうしえんしゃようせいけんしゅう じっし 者等支援者養成研修を実施し、44人 よこはまがたいりようてき じ しゃとうしえんしゃ の横浜型医療的ケア児・者等支援者を ようせい 養成しました。	がつ がつ いりようてき 5月から 12月まで医療的ケア じ しゃとうしえんしゃようせいけんしゅう じっし 児・者等支援者養成研修を実施 し、 にんていど ようせいよてい 50人程度を養成予定です。

83	メディカルショートステイ事業	医療的ケアが必要な重症心身障害児・者等を、在宅で介護する家族の負担軽減と在宅生活の安定を目的として、一時的に在宅生活が困難となった場合などに、病院での受け入れを実施します。	○	令和7年度は151件の利用がありました。協力医療機関の医療スタッフ向けの研修を7月から2月にかけて4回実施しました。また、医師、看護師及び医療ソーシャルワーカーとの合同会議を7月に実施、看護師及び医療ソーシャルワーカーとの実務者会議を令和8年1月に実施し、利用者の受入に関する情報共有や意見交換を行いました。	引き続き事業を実施していくとともに、協力医療機関との円滑な事業運営を図ります。また、人工呼吸器装着患者受入加算を新設し、受入れを推進します。
----	-----------------------	---	---	---	---

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
84	ちい きせい かつし えん きよてん せいび 地域生活支援拠点の整備	ぜんく じっし 全区実施 じっせき ぜんく じっし (実績全区実施)	ぜんく じっし 全区実施 じっせき ぜんく (実績全区 じっし 実施)	ぜんく じっし 全区実施 じっせき ぜんく じっし (実績全区実施)	ぜんく じっし 全区実施 じっせき ぜんく じっし (実績全区実施)	ぜんく じっし 全区実施 じっせき ぜんく (実績全区 じっし 実施)	ぜんく じっし 全区実施
84	ちい きせい かつし えん きよてん とう きのう 地域生活支援拠点等の機能の じゅうじつ 充実のためのコーディネータ はいちにんずう 一の配置人数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	18人 じっせき 18人 (実績18人)	18人 じっせき 18人 (実績18人)	18人
84	しえん とう 支援ネットワーク等による こうかてき しえん たいせい こうちく 効果的な支援体制の構築の う む 有無	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	こうちく ず 構築済み じっせき こうちく ず (実績 構築済み)	こうちく ず 構築済み じっせき こうちく ず (実績 構築済 み)	こうちく ず 構築済み
84	きんきゅうとき たいせい こうちく 緊急時の連絡体制の構築の う む 有無	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	こうちく ず 構築済み じっせき こうちく ず (実績 構築済み)	こうちく ず 構築済み じっせき こうちく ず (実績 構築済 み)	こうちく ず 構築済み

84	ち い き せ い か つ し え ん き よ て ん ゆう 地域生活支援拠点が有する き の う じゅうじつ む けんしやうおよ 機能の充実に向けた検証及 けんとう じっし かいすう び検討の実施回数	かい 1回 (実績2回)	かい 1回 (実績2回)	かい 1回 (実績1回)	かい 1回 (実績2回)	かい 1回 (実績1回)	かい 1回
85	せいしんしやうがい たいおう ち い き 精神障害にも対応した地域 ほうかつ 包括ケアシステム ほ けん いりやうおよ ふくしかんけいしゃ ・保健、医療及び福祉関係者に きやうぎ ば かいさいかいすう よる協議の場の開催回数	かい し い き 3回(市域) て い き く い き 定期(区域) じっせき かい (実績2回 し い き (市域) て い き く い き 定期(区域))	かい し い き 3回(市域) て い き く い き 定期(区域) じっせき かい し (実績3回(市 い き 域) て い き く い き 定期(区域))	かい し い き 3回(市域) て い き く い き 定期(区域) じっせき かい し (実績2回(市 い き 域) て い き く い き 定期(区域))	かい し い き 2回(市域) て い き く い き 定期(区域) じっせき かい し い き (実績2回(市域) て い き く い き 定期(区域))	かい し い き 2回(市域) て い き く い き 定期(区域) じっせき かい し (実績2回(市 い き 域) て い き く い き 定期(区域))	かい し い き 2回(市域) て い き く い き 定期(区域)
85	ほ けん いりやうおよ ふくしかんけいしゃ ・保健、医療及び福祉関係者に もくひやうせっていおよ ひやうか じっし よる目標設定及び評価の実施 かいすう 回数	かい 1回 (実績1回)	かい 1回 (実績1回)	かい 1回 (実績1回)	かい 1回 (実績1回)	かい 1回 (実績1回)	かい 1回
85	ほ けん いりやうおよ ふくしかんけいしゃ ・保健、医療及び福祉関係者に きやうぎ ば さんかしゃすう よる協議の場への参加者数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	700人 (実績849人)	700人 (実績583人)	700人

85	せいしんしょうがいしゃ せいしんびょうしょう ・精神障害者の精神病床か たいいん ご ねんい ない ちいき ら退院後1年以内の地域にお へいきんせいかつにつう ける平均生活日数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	ちようきか 長期化 (実績 長期化)	ちようきか 長期化 (実績 長期化)	331.5 ^{にち} 日
86	せいしんびょうしょう ねんいじょう ・精神病床における1年以上 にゅういんかんじゃ わりあい 入院患者の割合	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	53.6 ^{ばーせんと} % (実績51.6 ^{ばーせんと} %)	53.1 ^{ばーせんと} % (実績50.5 ^{ばーせんと} %)	53.1 ^{ばーせんと} %
86	せいしんびょうしょう そうき ・精神病床における早期 たいいんりつ 退院率	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	83.1 ^{ばーせんと} % (実績81.6 ^{ばーせんと} %)	84.5 ^{ばーせんと} % (実績86.2 ^{ばーせんと} %)	84.5 ^{ばーせんと} %
86	はったつしょうがいしゃし えん およ 発達障害者支援センター及び はったつしょうがいしゃちいきし えん 発達障害者地域支援マネジャ かんけいき かん じょげんけんすう 一の関係機関への助言件数 がくれいこうきしょうがい じ し えん じぎょうぶん (学齢後期障害児支援事業分 のぞ を除く)	1,000 ^{けん} 件 (実績945 ^{けん} 件)	1,000 ^{けん} 件 (実績1,149 ^{けん} 件)	1,000 ^{けん} 件 (実績1,129 ^{けん} 件)	1,100 ^{けん} 件 (実績1,217 ^{けん} 件)	1,100 ^{けん} 件 (実績1,196 ^{けん} 件)	1,100 ^{けん} 件

86	きょたくかいご ねん 居宅介護(/年)	127,601時間分 じかんばん 時間分 じっせき (実績135,648 じかんばん 時間分)	129,642 じかんばん 時間分 じっせき (実績136,113 じかんばん 時間分)	131,716時間 じかん ぶん じっせき (実績138,954時間 じかん ぶん)	141,612時間分 じかんばん 時間分 じっせき (実績138,969 じかんばん 時間分)	144,444時間 じかん ぶん じっせき (実績138,801時間 じかん ぶん)	147,333 じかんばん 時間分
		8,070人 じっせき (実績7,781人)	8,417人 じっせき (実績8,048人)	8,778人 じっせき (実績8,226人)	8,521人 じっせき (実績8,446人)	8,768人 じっせき (実績8,561人)	9,023人
87	じゅうどほうもんかいご ねん 重度訪問介護(/年)	89,044時間分 じかんばん 時間分 じっせき (実績110,593 じかんばん 時間分)	99,640 じかんばん 時間分 じっせき (実績121,680 じかんばん 時間分)	111,497時間 じかん ぶん じっせき (実績138,348時間 じかん ぶん)	160,642時間分 じかんばん 時間分 じっせき (実績164,262 じかんばん 時間分)	184,577時間 じかん ぶん じっせき (実績201,831時間 じかん ぶん)	212,079 じかんばん 時間分

		544人 (実績578人)	613人 (実績665人)	691人 (実績730人)	858人 (実績827人)	974人 (実績937件)	1,107人
87	どうこうえんご 同行援護(/年)	16,360時間分 (実績14,030時間分)	17,112時間 ぶん (実績15,020時間分)	17,899時間分 (実績15,609時間分)	15,626時間分 (実績15,434時間分)	15,939時間 ぶん (実績16,355時間分)	16,258時間 ぶん
		856人 (実績745人)	894人 (実績793人)	934人 (実績816人)	851人 (実績834人)	881人 (実績861件)	913人
88	こうどうえんご 行動援護 (/年)	13,544時間分 (実績10,932時間分)	15,792時間 ぶん (実績)	18,413時間分 (実績15,352時間分)	18,447時間分 (実績18,016時間分)	21,767時間 ぶん	25,686時間 ぶん

			13,249 じかんばん 時間分)			じっせき (実績21,840 じかんばん 時間分)	
		855人 じっせき (実績586人)	1,072人 じっせき (実績681 人)	1,344人 じっせき (実績782人)	976人 じっせき (実績901人)	1,170人 じっせき (実績1,049 人)	1,401人
88	短期入所(福祉型)(/月) ※「重度障害者」とは、強度 行動障害や高次脳機能障害 を有する障害者、医療的ケア を必要とする者等を表してい ます。	1,100人分 じっせき (実績705人分)	1,120人分 じっせき (実績764 人分)	1,140人分 じっせき (実績941 人分)	1,160人分 じゅうどうしょうがいしゃ (うち重度障害者 348人分) じっせき (実績984人分)	1,180人分 じゅうどうしょうがい (うち重度障害者354人分) じっせき (実績1,070 人分)	1,200人分 じゅうど (うち重度 障害者360 人分)
		5,500人日 じっせき (実績4,404人 日)	5,600人日 じっせき (実績 4,788人 日)	5,700人日 じっせき (実績5,641人 日)	5,800人日 じっせき (実績6,033人日)	5,900人日 じっせき (実績6,285人 日)	6,000人日

88	たんきにゆうしょ いりようがた つき 短期入所(医療型)(/月)	400人分 じっせき (実績341人分)	410人分 じっせき (実績358人分)	420人分 じっせき (実績342人分)	430人分 じっせき (実績351人分)	440人分 じっせき (実績317人分)	450人分
		2,000人日 じっせき (実績1,658人日)	2,050人日 じっせき (実績1,570人日)	2,100人日 じっせき (実績1,504人日)	2,150人日 じっせき (実績1,552人日)	2,200人日 じっせき (実績1,454人日)	2,250人日
89	にっちゅうい ちじしえん つき 日中一時支援(/月)	240人分 じっせき (実績292人分)	240人分 じっせき (実績316人分)	240人分 じっせき (実績188人分)	470人分 じっせき (実績200人分)	470人分 じっせき (実績263人分)	470人分
		800回 じっせき (実績600回)	800回 じっせき (実績567回)	800回 じっせき (実績566回)	800回 じっせき (実績723回)	800回 じっせき (実績1,084回)	800回

89	日常生活用具給付・貸与(/年) にちじょうせいかつようぐきゅうふたいよねん	86,000件 ^{けん} (実績93,905件 ^{けん}) じっせき	86,000件 ^{けん} (実績90,520件 ^{けん}) じっせき	86,000件 ^{けん} (実績100,130件 ^{けん}) じっせき	90,000件 ^{けん} (実績102,487件 ^{けん}) じっせき	90,000件 ^{けん} (実績102,361件 ^{けん}) じっせき	90,000件 ^{けん}
89	地域移行支援(/年) ちいきいこうしえんねん	120人分 ^{にんぶん} (実績69人分 ^{にんぶん}) じっせき	132人分 ^{にんぶん} (実績89人分 ^{にんぶん}) じっせき	144人分 ^{にんぶん} (実績107人分 ^{にんぶん}) じっせき	144人分 ^{にんぶん} (実績115人分 ^{にんぶん}) じっせき	144人分 ^{にんぶん} (実績133人分 ^{にんぶん}) じっせき	144人分 ^{にんぶん}
89	地域定着支援(/年) ちいきていちゃくしえんねん	600人分 ^{にんぶん} (実績459人分 ^{にんぶん}) じっせき	720人分 ^{にんぶん} (実績461人分 ^{にんぶん}) じっせき	840人分 ^{にんぶん} (実績582人分 ^{にんぶん}) じっせき	840人分 ^{にんぶん} (実績555人分 ^{にんぶん}) じっせき	840人分 ^{にんぶん} (実績488人分 ^{にんぶん}) じっせき	840人分 ^{にんぶん}
89	精神障害者退院サポート事業 (/年) せいしんしょうがいしゃたいいんじぎょうねん	180人 ^{にん} (実績180人 ^{にん}) じっせき	180人 ^{にん} (実績189人 ^{にん}) じっせき	180人 ^{にん} (実績190人 ^{にん}) じっせき	190人 ^{にん} (実績213人 ^{にん}) じっせき	200人 ^{にん} (実績239人 ^{にん}) じっせき	210人 ^{にん}

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
91	しょうがいしゃじりつ 障害者自立 せいかつ 生活アシスタン ト	ちい き たんしんとう せいかつ しょうがいしゃ 地域で単身等で生活する障害者 たい じりつせいかつ に対して、自立生活アシスタント が、そのしょうがいとくせい ふ 障害特性を踏まえて、 くたいてき せいかつばめん しゃかい 具体的な生活場面での社会 てきおうりよく たか じよげん ちゅうしん 適応力を高める助言を中心とし しえん おこな くに じっし た支援を行います。国の実施 じぎょう かんけい せいり 事業との関係を整理しながら すいしん 推進していきます。	○	じりつせいかつ しょうえんりよくこうじょう 自立生活アシスタントの支援力向上 もくてき けんしゅう じっし を目的とした研修を実施するととも に、さくねんど た あ に、昨年度立ち上げたパンフレット かいてい 改訂のためのプロジェクトにて、 かいていばん さくせい 改訂版のパンフレットを作成しまし た。 また、せいかつしえん か せいかつこんきゅうしゃしえん また、生活支援課生活困窮者支援 たんとう きょうどう しょうえん 担当と協働し、アウトリーチ支援にも と くりぐみ 取り組みました。	れんらくかい けんしゅう とお じりつ 連絡会や研修を通して、自立 せいかつ しょうえんりよくこうじょう 生活アシスタントの支援力向上 はか を図ります。 ひ つづ かんけいき かん れんけい はか 引き続き関係機関と連携を図り ながら、ほうていじぎょう たいおう ながら、法定事業では対応でき ない制度の隙間を埋める支援を おこな 行います。
91	こうけんてきしえん 後見的支援 せいど 制度	しょうがいしゃほんにん かぞく よ そ 障害者本人や家族に寄り添い、 ばくぜん しょうらい ふあん なや 漠然とした将来の不安や悩みを	○	せいどしゅし しゅうち もくてき こうほうし ねん 制度趣旨の周知を目的に広報誌を年 かいじょうはっこう 1回以上発行しました。	しょうがいしゃほんにん かぞく よ そ 障害者本人や家族に寄り添い、 ばくぜん しょうらい ふあん なや 漠然とした将来の不安や悩み

		いっしょ かんが おや あんしん 一緒に考え、親なきあとも安心 く して暮らすことができる地域での み まも たいせい こうちく 見守り体制を構築します。		あんしんキーパーの開拓を目的に、 せいどとうろく ほんにん ちいきじゅうみん あつ 制度登録した本人や地域住民らが集 ば まる場としての「つどう会」を開催しま した。	いっしょ かんが おや と一緒に考え、親なきあとも あんしん 安心して暮らすことができる ちいき み まも たいせい こうちく 地域での見守り体制を構築しま す。
91	しょうひしゃきょういく 消費者教育 じぎょう 事業	しょうがいしゃ かぞくおよ しえんしゃ 障害者、家族及び支援者が、 しょうひん りようおよ けいやく 商品・サービスの利用及び契約 かか とう まな に関わるトラブル等を学ぶことに あんしん にちじょうせいかつ おく より、安心した日常生活を送れる いしきけいはつ はか よう、意識啓発を図ります。	○	しょうがいふくし じぎょうしょうたう たい 障害福祉サービス事業所等に対し、 しょうひしゃきょういくけいはつ かん でまゑ こうざ 消費者教育啓発に関する出前講座や しせつ かつよう きょうざいいちらんとう しゅうち 施設で活用できる教材一覧等の周知 おこな を行いました。	ひ つづ しょうがいしゃ かぞくおよ 引き続き、障害者、家族及び しえんしゃとう あんしん にちじょうせいかつ 支援者等が、安心した日常生活 おく けいはつ おこな を送れるよう、啓発を行いま す。

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
92	じりつせいかつえんじょ 自立生活援助	にんぶん 80人分 じっせき (実績70人分)	にんぶん 100人分 じっせき (実績82 にんぶん 人分)	にんぶん 120人分 じっせき (実績65人分)	にんぶん 120人分 じっせき (実績60人分)	にんぶん 120人分 じっせき (実績60人分)	にんぶん 120人分
92	じりつせいかつ 自立生活アシスタント	にんぶん 690人分 じっせき (実績766人分)	にんぶん 690人分 じっせき (実績774 にんぶん 人分)	にんぶん 690人分 じっせき (実績780 にんぶん 人分)	にんぶん 800人分 じっせき (実績798人分)	にんぶん 820人分 じっせき (実績762 にんぶん 人分)	にんぶん 840人分

せいかつ ばめん す 生活の場面1 住む・暮らす 1-3 いどうしえん 移動支援

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
99	いどうじょうほう 移動情報セン ター運営等事業 の推進	いどうしえん かん じょうほう しゅうやく 移動支援に関する情報を集約 ひとり し、一人ひとりにあった適切な じょうほう ていきょう 情報を提供することや、移動 しえん ささ じんざい はつくつ いくせい 支援を支える人材の発掘・育成を おこな いどうじょうほう ぜん く 行う移動情報センターを全区に せっち しない ちいき いどう 設置し、市内のどの地域でも移動 しえん し く こうかてき りよう 支援の仕組みを効果的に利用で きるようにします。 すいしん しょうがいしゅべつ 推進にあたっては、障害種別に かか りよう しやすい し く 関わらず利用しやすい仕組みと なるよう、移動に関連する社会 しげん れんけい さら すす 資源との連携を更に進めていき ます。	△	いどうじょうほう しよくいん そうだんたいおう 移動情報センター職員の相談対応 ちから のうりよく こうじょう はか 力・コーディネート能力の向上を図 るために新任职員向け研修や担当者 かいぎ じっし 会議を実施しました。 また、かくく すいしんかいぎ そうだんないよう また、各区の推進会議で相談内容の じれいきょうゆう くいき いどう かんれん 事例共有や区域の移動に関連する しゃかいしげん れんけい ふか 社会資源との連携を深めました。 ひ つづ いどうじょうほう しゅうち 引き続き、移動情報センターの周知 はか そうだんけんすう ぞうか はか を図り、相談件数の増加を図ります。 【そうだんけんすう 相談件数】 れいわ ねんど けん 令和7年度:2,536件	そうだんけんすう けん 相談件数3,600件

100	ガイドヘルパー とうけんしゅうじゅこうりょう 等研修受講料 じょせい 助成 さいけい 【再掲】	ガイドヘルパー等の資格取得のため の研修受講料の一部を助成し ます。また、助成制度の積極的な しゅうちとくじんざいかくほはか 周知にも取り組み、人材確保を図 ります。	○	じょせいにんずうにん 助成人数:92人 そうじょせいがくえん 総助成額:1,910,500円	かくたんきゅういんとうけんしゅうじょせいたいしゅう 喀痰吸引等研修を助成対象に つか 追加
100	ガイドヘルパー スキルアップ けんしゅう 研修 さいけい 【再掲】	より質の高いサービスが提供で きるよう、移動支援事業の じゅうぎょうしゃたいしゅうけんしゅうじっし 従業者を対象に研修を実施し ます。	○	いどうしえんじぎょうしよじゅうぎょうしゃせき 移動支援事業所の従業者、サ責を たいしゅう 対象にガイドヘルパーの基礎知識・ ぎじゅつじぎょうしょうんえいけんしゅう 技術や事業所運営について研修を おこな 行いました。ベーシック編「知的・ しんたいせいしんへんぜんき 身体・精神」、アドバンス編「前期・ こうき 後期」とテーマごとに障害特性に応じ た支援方法を身に付けられるよう けんしゅうおこな 研修を行いました。	ガイドヘルパー及びサービス ていきょうせきにしやしつさらたか 提供責任者の質を更に高める ため、アンケートを踏まえた けんしゅうないようけんとうじゅこうしゃ 研修内容を検討し、受講者の そうかめざ 増加を目指します。

101	なんびょうかんじゃがいしゅつ 難病患者外出 しえん 支援サービス じぎょう 事業	いっばん こうつうき かん りょう がいしゅつ 一般の交通機関を利用した外出 こんなん ともな くるま どう りょう に困難を伴う、車いす等を利用 なんびょうかんじゃ ふくしやりょう する難病患者に福祉車両による そうげい ていきょう 送迎サービスを提供します。	—	かいご ふきゅうどう なんびょうかんじゃ (介護タクシーの普及等、難病患者の いどう じゅうじつ 移動サービスが充実してきたことな ふ れいわ ねんど じぎょう どを踏まえ、令和5年度で事業を しゅうりょう 終了しました。)	—
101	ざいたくじゅうしょうかんじゃ 在宅重症患者 がいしゅつしえんじぎょう 外出支援事業	くるま いどう こんなん 車いすによる移動が困難でスト たいおうしゃ しょう レッチャー対応車を使用せざるを え なんびょうかんじゃ つういんどう さい 得ない難病患者が、通院等の際、 しよてい かんじゃとうはんそうじどうしゃ 所定の患者等搬送用自動車を りょう ばあい いそうひ 利用した場合に、その移送費の いちぶ じよせい 一部を助成します。	○	じゅきゅうしゃしょう そうふ じ じぎょうあんない 受給者証の送付時に事業案内のリー どうふう どう じぎょうしゅうち おこな フレットを同封する等、事業周知を行 いました。 【の りょうにんすう かいすう 延べ利用人数(回数)】 224人(463回)	なんびょうかんじゃ がいしゅつ じ けいざいてき 難病患者の外出時の経済的 かたん けいげん ひ つづ 負担を軽減するため、引き続き じぎょう しゅうち と く 事業の周知に取り組みます。
101	ふくしゅうしょういどう 福祉有償移動 サービス事業	いどう かいじょ ひつよう しんたいしょうがいしゃ 移動に介助が必要な身体障害者 どう たいしょう どうろく えぬびーおー 等を対象に、登録されたNPO ほうじんとう じ かようじどうしゃ 法人等による、自家用自動車を	○	ふくしゅうしょううんそう おこな えぬびーおーほうじんとう 福祉有償運送を行うNPO法人等 どうろく ふくしゅうしょううんそう てきせい じっし の登録や福祉有償運送の適正な実施 とう きょうぎ うんえいきょうぎかい ねん 等について協議する運営協議会を年 かいかいさい じっしだんたい 3回開催しました。また実施団体を	ふくしゅうしょううんそう おこな えぬびーおー 福祉有償運送を行うNPO ほうじんとう どうろく ふくしゅうしょううんそう 法人等の登録や福祉有償運送 てきせい じっしとう きょうぎ の適正な実施等について協議す うんえいきょうぎかい ねん かいかいさい る運営協議会を年2回開催しま

		利用した移動サービスを促進します。		定期訪問し、安全確保の確認を行いました。	す。また、安全確保の確認のため、実施団体を定期訪問します。 (21団体)
102	重度障害者等への移動支援事業の拡充	公共交通機関での外出が困難な重度障害者等に対して、移動支援事業の拡充を図ります。 ※「重度障害者等」とは、障害者自動車燃料券と重度障害者福祉タクシー券での対象者要件を表しています。 ・下肢・体幹・視覚・内部障害のいずれかを含む1・2級の身体障害者手帳を持っている方 ・愛の手帳(療育手帳)A1、A2を	○	令和3年10月に対象者を拡大した重度障害者タクシー料金助成事業及び、新設した障害者自動車燃料費助成事業を推進しました。 【令和7年度交付冊数】 障害者自動車燃料券:12,288冊 重度障害者福祉タクシー利用券:29,028冊	令和8年10月から、1乗車あたり7枚の利用枚数制限を撤廃

		も^も持っている^{かたまた}方又は、障 害 者 更 生^{しょうがいしゃこうせい} 相談所・児童^{そうだんじょ}相談所^{じどうそうだんじょ}で知能指数^{ちのうしすう}35 以下^{い か}と判定^{はんてい}された方^{かた} ・下肢^{か し}・体幹^{たいかん}・視覚^{しかく}・内部障 害^{ないぶしょうがい}のい ずれか^{ふく}を含む^{きゅう}3級^{しんたいしょうがいしゃ}の身体障 害 者 手帳^{てちょう}を^も持っている^{かた}方のうち、愛^{あい}の 手帳^{てちょう}(療 育^{りょういく}手帳^{てちょう})B1を^も持っている 方又は、障 害 者 更 生^{しょうがいしゃこうせい}相談所^{そうだんじょ}・児童^{じどう} 相談所^{そうだんじょ}で知能指数^{ちのうしすう}50以下^{い か}と判定^{はんてい} された方^{かた} ・精神障 害 者^{せいしんしょうがいしゃ}保健福祉^{ほけんふく}手帳^{てちょう}1級^{きゅう}を も^も持っている^{かた}方		
--	--	--	--	--

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
102	いどうしえんじぎょう いどうかいご つうがく 移動支援事業(移動介護・通学 つうしょしえん 通所支援)	781,554時間分 (実績580,689 時間分)	797,185 時間分 (実績 620,937 時間分)	813,128時間 分 (実績 691,606時間 分)	663,719時間分 (実績718,755 時間分)	685,622 時間分 (実績 732,485 時間分)	708,248 時間分
		6,479人分 (実績5,187 人分)	6,673人分 (実績 5,583 人分)	6,873人分 (実績6,062 人分)	5,963人分 (実績6,358人分)	6,213人分 (実績6,340 人分)	

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
106	ふくし 福祉のまちづく すいしんじぎょう り推進事業	よこはま かか ぜん ひと たが 「横浜に関わる全ての人がお互い を尊重し、助け合う、人の優しさ にあふれたまちづくり」を実現す るため、ハードとソフト(環境 整備や福祉教育など)を一体的 に取り組み、福祉のまちづくりを 推進します。	○	よこはましふくし すいしんししん 横浜市福祉のまちづくり推進指針 (令和8年度～12年度)を策定しまし た。 しよくいんとう たいしやう けんしやう かいさい 職員等を対象とした研修の開催や、 ふくし じやうれい もと じぜん 福祉のまちづくり条例に基づく事前 きやうぎ せつけいそうだんとう つう ぶくし 協議や設計相談等を通じて福祉のま ちづくりを推進しました。 しょうがいしゃとうようちゆうしゃ く かく てきせいりやう 障害者等用駐車区画の適正利用 すいしん ゆうせんちゆうしゃ く かく せいび 推進のため、優先駐車区画の整備を おこな 行いました。	ひ つづ しよくいんとう たいしやう 引き続き職員等を対象とした けんしやう かいさい ぶくし 研修の開催や、福祉のまちづく り条例に基づく事前協議や せつけいそうだんとう つう ぶくし 設計相談等を通じて福祉のまち づくりを推進します。 デジタルサイネージ等を活用し て市民・事業者への横浜市福祉 のまちづくり推進指針の周知・ けいはつ おこな 啓発を行います。

106	こうきょうこうつうきかん 公共交通機関 のバリアフリー 化	だれ いどう かんきょうせいび 誰もが移動しやすい環境整備の いっかん てつどうえきしゃ 一環として、鉄道駅舎へのエレベ とう せっち およ ーター等の設置及びノンステップ どうにゅうそくしん はか バスの導入促進を図ります。	○	けいきゅうか な が わしんまちえき 京急神奈川新町駅のエレベーター せっち き よこはましてつどう 設置(2基)について、「横浜市鉄道 えきしゃ た もくてき およ 駅舎多目的トイレ及びエレベーター せっち ほじょようこう もと ほじょ おこな 設置補助要綱」に基づき、補助を行 いました。 また、くに きょうちよう ほじょ 国との協調補助であるノンス テップバス どうにゅうそくしん ほじょ 導入促進補助について、 くに どうにゅうりつ もくひようち ぱーせんと 国の導入率の目標値(80 %)を したまわ じぎようしゃ たい 下回っているバス事業者に対して、 ほじょ じっし れいわ ねんど 補助を実施しました。令和7年度のノ ンステップバス どうにゅうりつ ぱーせんと の導入率は87 % (みこ)となっており、か ねんどじっせき (見込み)となっており、過年度実績か ら ねんど もくひようたっせい か の う すい ら8年度の目標達成が可能な推移と なっています。	ノンステップバス どうにゅうそくしん ほじょ 導入促進補助 については、くに どうにゅうりつ 国は導入率の もくひようち ぱーせんと したまわ 目標値(80 %)を下回ってい るバス事業者 じぎようしゃ たい に対して、ひ つづ き、補助を実施します。
-----	--	---	---	--	---

107	バリアフリーの 推進 ・バリアフリー 基本構想の 検討・作成	バリアフリー法に基づき、駅周辺 の重点的かつ一体的なバリアフ リー整備を推進するため、区ごと にバリアフリー基本構想を作成し ます。 ・策定済み地区の見直しや、 未策定地区の新規作成等	○	バリアフリー基本構想の広報資料の 配布を行い、バリアフリー基本構想の 広報活動を進めました。	引き続き、バリアフリー基本 構想の広報活動を続けると共 に、新規バリアフリー基本構想 作成地区の検討を行います。
107	・バリアフリー 歩行空間の 整備	駅周辺のバリアフリー化を推進 するため、バリアフリー基本構想 に基づき、道路のバリアフリー化 を、引き続き、進めます。	○	バリアフリー基本構想に基づき、十日 市場駅周辺地区においては歩道 改修を実施し、三ツ境駅周辺地区に おいてはE Vの整備を行い、バリア フリー化を推進しました。	バリアフリー基本構想で定めた 重点整備地区において、歩道の 改修など、道路のバリアフリー 化について、引き続き、進めま す。

107	横浜市公共サインガイドラインの運用推進	公的機関により設置される歩行者用案内・誘導サインの規格や表示内容等の統一を図るためのガイドラインの運用を推進します。 また、公共サインの掲載基準等について必要に応じて見直しを検討し、より歩行者に分かりやすいサイン整備を進めていきます。	△	公共サインの掲載基準等について、見直しの必要性がありませんでした。 引き続き、ガイドラインの運用を推進するとともに、より歩行者にわかりやすいサイン整備を誘導していきます。	※令和8年度より、多文化共生に該当しないこととなりました。
107	エレベーター設置事業	エレベーターの整備など、学校施設のバリアフリー化を進め、障害児が学びやすい環境を整備します。	△	エレベーター設置予定35校のうち、23校への設置が完了しましたが、入札不調等により、12校への設置工事は令和8年度に繰越しとなりました。	引き続き、エレベーターが必要な未設置校に整備していきます。 繰越しとなった中学校12校の工事完成により、全中学校にエレベーターが設置される見込みです。

(1) しょうがいしゃ けんこう すいしん 障害者の健康づくりの推進

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かせ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
110	しょうがいしゃ 障害者へのス ポーツを通じた けんこう たいりよくつく 健康・体力作り しえん 支援	しょうがいとくせい り かい しょうがいしゃ 障害特性を理解した障害者スポ ーツ文化センターのスタッフ等 が、しょうがいしゃ たいりよく が、障害者が体力づくりや余暇 かつどう みちか ばしよ おこな 活動を身近な場所で行えるよ う、地域の人材育成も含めた かんきょうせいび すす 環境整備を進めます。	○	ちい き さまざま だんたいとう しょうがいり かい 地域の様々な団体等へ障害理解や しょうがいしゃ ふきゅうけいはつ 障害者スポーツの普及啓発のための けんしゅう じっし しょうがい ひと みちか 研修を実施し、障害のある人が身近 な場所ですポーツに取り組める環境 づくりをおこな 作りを行いました。	ちい き さまざま だんたいとう しょうがい 地域の様々な団体等へ障害 り かい しょうがいしゃ ふきゅう 理解や障害者スポーツの普及 けいはつ けんしゅう じっし 啓発のための研修を実施し、 しょうがい ひと みちか ばしよ 障害のある人が身近な場所 スポーツに取り組める環境作り すす を進めます。
110	しょうがいふくししせつ 障害福祉施設 しよくいんとう 職員等への しえん 支援 さいけい 【再掲】	しょうがいしゃ きゅうおーえる こうじょう め ざ 障害者のQ O Lの向上を目指 して、しょうがいとくせい して、障害特性やライフステージ おう しょうがい じゅうどか かんわ に応じた障害の重度化の緩和、 せいかつしゅうかんびょう よぼうとう ふきゅう 生活習慣病の予防等の普及	○	しょうがいふくししせつ しょういん たいしゅう 障害福祉施設の職員を対象とした しよくひんえいせいこうしゅうかい どう が せつしよくえん げ 食品衛生講習会(動画)や摂食嚥下 けんしゅう えいよう けんしゅう 研修、栄養ケアマネジメント研修を じっし しょうがいふくししせつ 実施しました。また障害福祉施設の	しょうがいしゃ きゅうおーえる こうじょう め ざ 障害者のQ O Lの向上を目指 して、しょうがいとくせい して、障害特性やライフステー おう しょうがい じゅうどか ジに応じた障害の重度化の かんわ せいかつしゅうかんびょう よぼうとう 緩和、生活習慣病の予防等の

		けいはつ はか しょうがいふくしせつ 啓発を図るため、障害福祉施設 えいせい かんり えいよう かんり かん における衛生管理、栄養管理に関 けんしゅう れんらくかいとう じっし する研修、連絡会等を実施しま す。		かんり えいよう し えいよう し たいしよう えいよう 管理栄養士・栄養士を対象に栄養 かんり かん れんらくかい かいさい 管理に関する連絡会を開催しました。	ふきゅうけいはつ はか しょうがいふくし 普及啓発を図るため、障害福祉 しせつ えいせい かんり えいよう 施設における衛生管理、栄養 かんり かん けんしゅう れんらくかいとう 管理に関する研修、連絡会等を じっし 実施します。
--	--	---	--	---	---

(2)医療環境の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かん 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
112	なんびょうかんじゃ いちじ 難病患者一時 にゅういんじぎょう 入院事業	いりよう いぞんど たか なんびょうかんじゃ 医療依存度の高い難病患者が かいじょしゃ じじょう ざいたく かいじょ 介助者の事情により、在宅で介助 う こんなん を受けることが困難になった ばあい いちじてき にゅういん 場合、一時的に入院できるよう にします。	○	なんびょうかんじゃ うけいれ えんかつ すす 難病患者の受入を円滑に進めるとと にゅういんちゅう りょうようせいかつ あんていてき もに、入院中の療養生活を安定的 おく うけいれいりようき かん に送れるよう、受入医療機関との れんらくかい じっし 連絡会を実施しました。 の りょうにつすう にち 【延べ利用日数】385日 の りょうにんすう にん 【延べ利用人数】51人	うけいれいりようき かん れんらくかい けいぞく 受入医療機関との連絡会を継続 でき じっし ひつようじ りょう 的に実施し、必要時に利用がで きるよう かんじゃ かぞく しえんしゃ きるよう患者・家族・支援者への しゅうち つと 周知に努めます。

113	歯科保健医療 推進事業(心身 障害児・者歯科 診療)	通常^{つうじょう}の^{し か しんりょう}歯科診療^{たいおう}では^{こんなん}対応が困難 な^{しんしんしょうがい}心身障害児・者^{しや}に対する^{し か}歯科 治療^{ちりょう}の^{かくほ}確保^ひを引き続き^{つづ}図ります。	○	歯科保健医療センターにおける^{しんしん}心身 障害児・者^{しょうがい}歯科診療^{しや し か しんりょう}件数^{けんすう}(件) 令和7年度^{れいわ}:7,862^{ねんど}件^{けん} (全身^{ぜんしん}麻酔^{ますい}の実施^{じっし}回数^{かいすう}:274^{かい}回) (昨年^{さくねん}比^ひ181^{ばん} %) 心身^{しんしん}障害児者^{しょうがい}歯科診療^{しや し か しんりょう}協力^{きょうり}医療^{いりよう} 機関^{きかん}認定^{にんてい}研修^{けんしゅう}受講^{おこな}者数^{しやう}(人) 令和7年度^{れいわ}:6^{ねんど}人^{にん}	引き続き^{ひ つづ}歯科保健医療センター で^{しんしんしょうがい}心身障害児・者^{しや し か しんりょう}歯科診療^{たいおう} 行^{おこな}うとともに、^{ちいき}地域の^{し か いりよう}歯科医療^{いりよう} 機関^{きかん}でも^{しょうがい}障害児・者^{しや}が^{あんしん}安心して 受診^{じゅしん}できるよう、^{し か いりよう}歯科医療^{きかん}機関 向^むけの^{けんしゅう}研修^{おこな}を行います。
113	メディカルショ ートステイ事業 【再掲】	医療^{いりよう}的^{てき}ケア^{けあ}が必要な^{ひつよう}重^{じゅう}症^{しょう}心身 障害児・者^{しょうがい}等を、^{しやとう}在宅^{ざいたく}で^{かいご}介護^{かいご}する 家族^{かぞく}の^{ふたんけいげん}負担^{ざいたく}軽減^{けいげん}と在宅^{ざいたく}生活^{せいかつ}の 安定^{あんてい}を^{もくてき}目的^{もくてき}として、^{いちじてき}一時的^{ざいたく}に在宅^{ざいたく} 生活^{せいかつ}が^{こんなん}困難^{ばあい}となった^{ばあい}場合^{ばあい}などに、	○	令和7年度^{れいわ}は151^{ねんど}件^{けん}の^{りよう}利用^{りよう}がありま した。 協力^{きょうり}医療^{いりよう}機関^{きかん}の^{いりよう}医療^{いりよう}スタッフ^む向けの 研修^{けんしゅう}を^{がつ}7月^{がつ}から^{がつ}2月^{がつ}にかけて^{かい}4回 実施^{じっし}しました。 また、^{い し}医師^{かん}、^{ごし}看護師^{およ}及び^{いりよう}医療^{いりよう}ソーシャ	引き続き^{ひ つづ}事業^{じぎょう}を実施^{じっし}していくと ともに、^{きょうりよくいりよう}協力^{きかん}医療^{えん}機関^{えん}との円 滑^{かつ}な^{じぎょう}事業^{うんえい}運営^{はか}を図ります。 また、^{じんこう}人工^{きゅうき}呼吸^{そうちやく}器^{かん}装着^{じやうけい}患者^{すいしん}受入^{えん} 加算^{かさん}を^{しんせつ}新設^{うけい}し、^{すいしん}受入^{えん}れを^{すいしん}推進^{えん}し ます。

		びょういん 病院での受け入れを実施しま す。		ルワーカーとの合同会議を7月に 実施、看護師及び医療ソーシャルワ ーカーとの実務者会議を令和8年1月に 実施し、利用者の受入に関する情報 共有や意見交換を行いました。	
114	なんびょうかんじゃざいたく 難病患者在宅 療養計画策定・ 評価事業	ざいたくなんびょうかんじゃ たい ほけん 在宅難病患者に対し、保健・ 医療・福祉の各サービスを適切に 提供するために、関係者が合同 でサービス内容を検討します。	○	ざいたくりょうようせいかつ ささ 在宅療養生活を支えるケアマネジャ ーの人材育成を目的に、神経難病 患者の在宅療養計画の策定・評価の 事例検討を実施しました。	ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい りょうよう 在宅難病患者が安定した療養 生活を送れるよう、引き続き 在宅生活を支える専門職の 育成に取り組みます。
114	いりょうきかんれんけい 医療機関連携 事業	しょうがい じ しゃ みちか ちいき てきせつ 障害児・者が身近な地域で適切 な医療が受けられる環境づくり を推進するため、障害特性等を 理解し適切な医療を提供できる 医療機関を増やします。	○	ちてきしょうがいしゃせんもんがいらいせっちいりょうきかん 知的障害者専門外来設置医療機関を 5病院で実施しました。	ひ つづ ちてきしょうがいしゃせんもんがいらい 引き続き、知的障害者専門外来 設置医療機関を5病院で実施し ます。 また、6病院目の設置を目指し て病院へ専門外来の設置を働 きかけます。

115	じゅうどしんけいなんびょう 重度神経難病 かんじゃざいたくしえん 患者在宅支援 システムの構築	はつびょう すうねん きゅうそく しんこう 発病から数年で急速に進行する しんけいなんびょうかんじゃ たい ざいたくしえん 神経難病患者に対する在宅支援 システムを、せんもんいりょうき かん ざいたく システムを、専門医療機関・在宅 リハビリテーション等の保健・ いりょうかんけいしゃ しょうがい ふくし 医療関係者と障害福祉サービス じぎょうとう れんけい こうちく 事業等との連携により、構築しま す。 えーえるえすかんじゃ くわ きん ・ALS患者に加え、筋ジストロフ イー症患者のライフステージに合 わせた生活障害支援を目的に、 ざいたく かつよう 在宅リハビリテーションを活用す なが こうちく る流れを構築します。	○	ふくし き きしえん てんじきのう 福祉機器支援センターの展示機能を かつよう ほうもん 活用し、ケアマネジャーや訪問リハス タッフなどの地域支援者に対し、在宅 リハビリテーション事業の紹介やコミ ュニケーション機器等、福祉機器の たいけんかい じっし の じぎょうしょ 体験会を実施し、延べ41事業所、75 めい さんが 名の参加がありました。 【令和7年度実績】 きんいしゆくせいそくさくこうかしょうかんじゃ の 筋萎縮性側索硬化症患者述べ154 けん しんこうせいきん しょうかんじゃ 件、進行性筋ジストロフィー症患者 66件	しない しょ ふくし き きしえん 市内3か所の福祉機器支援セン ターの展示機能を活用し、エリア の特性に応じて、多様な地域 支援者に向けた研修を開催し、 ざいたく じぎょう 在宅リハビリテーション事業の しょうかい き き 紹介やコミュニケーション機器 等、福祉機器の活用促進を図り ます。また、区の看護職や市の き かんびょういん ちいき いりょうしょく 基幹病院など、地域の医療職 との連携促進を目的に在宅リハ ビリテーション事業の広報を行 います。
-----	--	---	---	---	--

115	ざいたくりょうようじ 在宅療養児の ちいきせいかつ ささ 地域生活を支 えるネットワー ク連絡会	しょうがい じ しゃ いりょう にゅういん ざいたく 障害児・者の医療(入院・在宅) かか いりょうかんけいしゃ ちゅうしん に関わる医療関係者を中心に、 ふくし きょういくかんけいしゃ たいしょう 福祉・教育関係者を対象として、 ざいたくしえん ひつよう じょうほうこうかん 在宅支援に必要な情報交換や じんてきこうりゅう つう しょうがいり かい 人的交流を通じて、障害理解を そくしん 促進します。	△	いりょうてき じ しゃとうしえんしゃようせいけんしゅう 医療的ケア児・者等支援者養成研修 しゅうりょうしゃ たい 修了者に対するアンケートを実施し、 ちいき ざいたくりょうようじ うけいれ 地域における在宅療養児の受入 じょうきよう かくにん 状況を確認しました	よこはまがたいりょうてき じ しゃとうしえん 横浜型医療的ケア児・者等支援 しゃのネットワーク構築に向けた とりぐみ すす よてい 取組を進めていく予定です。
115	じゅうしょうしんしん 重症心身 しょうがい じ しゃ 障害児・者の ざいたくせいかつ ささ 在宅生活を支 えるための支援 たいせい じゅうじつ 体制の充実	じゅうしょうしんしんしょうがい じ しゃ ざいたくせいかつ 重症心身障害児・者の在宅生活 ささ いりょうたいせい を支えるための医療体制をはじ めとするけんとう おこな しえんたいせい めとする検討を行い、支援体制 じゅうじつ はか の充実を図ります。	○	かながわけん かわさき し きょうどうかいさい 神奈川県・川崎市との共同開催で しょう に ほうもんかんご じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ 「小児訪問看護・重症心身障害児者 かんごけんしゅうかい じっし 看護研修会」を実施しました。	ひ つづ じぎょう じっし しょうがい 引き続き事業を実施し、障害 じ しゃ ざいたくしえん ひつよう じょうほう 児・者の在宅支援に必要な情報 こうかんとう とお しえんたいせい 交換等を通して、支援体制の じゅうじつ はか 充実を図ります。
116	じゅうどしょうがいしゃとう 重度障害者等 にゅういんとき 入院時コミュ	にゅういんさきいりょうき かん い し かんごし 入院先医療機関の医師・看護師 とう い し そつう じゅうばん はか 等との意思疎通が十分に図れな しょうがい じ しゃ たいしょう にゅういんさき い障害児・者を対象に、入院先	△	にゅういんさきいりょうき かん い し かんごしとう 入院先医療機関の医師・看護師等と い し そつう はか の意思疎通が図れるよう、コミュニケ ーション支援員を派遣しました。	にゅういんさきいりょうき かん い し かんごし 入院先医療機関の医師・看護師 とう い し そつう はか 等との意思疎通が図れるよう、

	ニケーション しえんじぎょう 支援事業	にコミュニケーション支援員を はけん 派遣します。		いっぽう しんがた かんせんしょう 一方で、新型コロナウイルス感染症 いこう けんすう げんしょう じょうきょう 以降、件数が減少している状況が さくねんどうようつづ 昨年同様続いています。 はけんけんすう 【派遣件数】 れいわ ねんど けん 令和5年度:10件 れいわ ねんど けん 令和6年度:3件 れいわ ねんど けん 令和7年度:2件 そうはけんじかん 【総派遣時間】 れいわ ねんど じかん 令和5年度:364.5時間 れいわ ねんど じかん 令和6年度:31.5時間 れいわ ねんど じかん 令和7年度:34.5時間	ひ つづ 引き続きコミュニケーション しえんいん はけん 支援員を派遣します。
116	けんこう 健康ノート	しょうがい じ しゃ じぶん す ちいき 障害児・者が自分の住む地域の いりようき かん じゅしん さい かつよう 医療機関で受診する際に活用で	○	まどぐち はいか ほんし 窓口での配架や本市ウェブサイトへの けいさい しゅうち 掲載をし、周知しました。	まどぐち はいか ほんし 窓口での配架や本市ウェブサイ トへの掲載をし、周知します。ま

		ける「健康ノート」について、入手 しやすくなるよう検討し、より 活用できるようにします。			た、活用状況を確認しながら、 普及につながる方法を引き続き 検討します。
117	医療従事者 研修事業 【再掲】	病気や障害のある小児及び 重症心身障害児・者の支援に 必要な知識・技術の向上を図り、 障害特性を理解した医療従事者 を育成するための研修を実施し ます。	○	医療機関や福祉施設等に勤務する 看護師を対象にした「小児訪問看護・ 重症心身障害児者看護研修会」の 実施をしました。	研修体系の見直しを図り、更な る研修の充実を図ります。
117	障害福祉施設 等で働く 看護師の支援・ 確保 【再掲】	障害福祉施設等で働く看護師 の定着に向けた支援を行うとと もに、人材確保の方策について 検討します。	○	障害福祉施設で働く看護師等の 職員向けに、口腔機能管理や多職種 連携をテーマとした研修を実施しま した。また、歯科医師が各施設を訪問 し、技術的な助言・指導をしました。併	引き続き障害福祉施設で働く 看護師等向けに、研修や巡回 訪問による助言・指導を継続し ます。また、施設見学会を実施

				せて、求 職 中 の看護師を対象に、 しょうがいふくししせつ けんがくかい じっし 障 害福祉施設の見学会を実施し、 しせつ はたら みりよく つた 施設で 働くことの魅力を伝えました。	かくしせつ こよう し、各施設での雇用につながる よう しょうえん よう支援します。
118	せいしん か きゅうきゅう 精神科救 急 いりょうたいさくじぎょう 医療対策事業	せいしんしっかん きゅうげき はっしょう せいしん 精神疾患の急 激な発症や精神 しょうじょう あっ か そうきゅう てきせつ 症 状の悪化などで、早急に適切 せいしん か いりょう ひつよう ばあい な精神科医療を必要とする場合 せいしんほけん ふくしほう もと しんさつ に、精神保健福祉法に基づく診察 びょういん しょうかい おこな や病院の紹介を行うとともに、 ひつよう いりょうしせつ かくほ 必要な医療施設を確保すること とう ひ つづ きゅうきゅうかんじゃ 等により、引き続き救 急患者の えんかつ いりょうおよ ほ ご はか 円滑な医療及び保護を図ります。	○	せいしん か きゅうきゅうたいせい けんない けん し 精神科救 急体制は県内4県市 きょうちょう おこな ほん し 協 調で行っているが、本市におい たけん し そうだん しみん いりょう ては他県市にも相談し、市民への医療 たいおう しないいりょうきかん つと 対応を市内医療機関でできるよう努 めないびょういん いそうわりあい さくねんど め、市内病院への移送割合は昨年度 こうじょう しんたいがつべいしょう より向上している。また、身体合併症 かんじゃ じゃくねんかんじゃ びょういん 患者や若年患者について病院と いけんこうかん かさ かだい きょうゆう かいけつ 意見交換を重ねて課題の共有や解決 と ぐ に取り組んできた。 じ きゅうきゅうつうほうとうけんすう じょうしんせい 【3次救 急通報等件数(22条申請、 23、24、26条 しょうつうほう 通報)】	ひ つづ げんじょう しないびょういん 引き続き、現状の市内病院へ いそうわりあい い じ の移送割合を維持するため、 よこはましみん ちいきしえん こうりょ 横浜市民の地域支援を考慮した しないびょういん だしん けいぞく 市内病院への打診を継続して い。また、ひつよう いりょうしせつ 必要な医療施設を かくほ せいしん か きゅうきゅう 確保するために精神科救 急シ ステムの再考等に4県市で取り 組んでいく。

				れいわ ねんど けん 令和7年度:868件 【3次救 急 移送先病院の市内病院 の割合】令和7年度:94 % (311件/330件)	
119	せいしんしっかん 精神疾患を がっぺい しんたい 合併する身体 きゅうきゅうかんじゃ 救 急 患者の きゅうきゅういりょうたいせい 救 急 医療体制 せいびじぎょう 整備事業	せいしんしっかん がっぺい しんたいきゅうきゅう 精神疾患を合併する身体 救 急 かんじゃ てきせつ いりょうき かん えんかつ 患者を適切な医療機関へ円滑に はんそう きゅうきゅういりょうたいせい 搬送できるよう、救 急 医療体制 こうちく を構築します。	○	せいしんしっかん とくていしょうじょう ゆう 精神疾患のうち、特定症 状 を有する しんたいきゅうきゅうかんじゃ たいおう いりょうき かん 身体 救 急 患者に対応する医療機関 によるりんぱんたいせい へいじつひるま による輪番体制を平日昼間だけでな く、やかんきゅうじつ せいび 、夜間休日も整備することで、精神 しっかん がっぺい しんたいきゅうきゅうかんじゃ 疾患を合併する身体 救 急 患者の うけいれたいせい かくほ 受入体制を確保しました。 こんご たいせい けんしょう おこな 今後は、体制の検証を 行いながら、 よりこうかてき きゅうきゅういりょうたいせい こうちく より効果的な 救 急 医療体制の構築 はか を図ります。	これまでのかだい せいり 課題を整理し、より よ きゅうきゅういりょうたいせい こうちく む 良い 救 急 医療体制の構築に向 けたけんとう けいぞく けた検討を継続します。 また、ひつよう おう とくていしょうじょう また、必要に応じて特定症 状 たいおうびょういん さんかく かんしょう 対応病院の参画を勧奨してい きます。

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
122	さいがい じ 災害時 ようえんごしゃしえん 要援護者支援 じぎょう 事業	さいがい じ じりきひなん こんなん 災害時に自力避難が困難な ようえんごしゃ あんびかくにん ひなんしえん 要援護者の安否確認や避難支援 とう かつどう えんかつ おこな 等の活動が円滑に行われるよ う、さいがい じ ようえんごしゃめいぼ ひなん う、災害時要援護者名簿や避難 しえん ひつよう じょうほう ちいき 支援に必要な情報を地域に ていきょう ひごろ ちいき 提供し、日頃からの地域におけ るじしゆてき ささ あ とりくみ 自主的な支え合いの取組を しえん 支援します。	○	さいがい じ ようえんごしゃしえん とりくみ じっし 災害時要援護者支援の取組を実施し ている じ ち かい ちやうないかい わりあい 自治会・町内会の割合は 95.6 % と ぱーせん と いぜん と 高く、 たくさん 多くの ちいき せっきよくてき と く 地域で積極的に取り組まれています す。また、こべつひなんけいかく れいわ ねんど 個別避難計画は、令和6年度 より、たいしょう しないぜんいき かくだい さくせい 対象を市内全域に拡大し、作成 すす すす ひ つづ ちいき を進めています。引き続き、地域にお けるさいがい じ ようえんごしゃしえん とりくみ 災害時要援護者支援の取組を しえん 支援するとともに、こべつひなんけいかく 個別避難計画の さくせい すず ようえんごしゃしえん こうじよう 作成を進め、要援護者支援の向上に と く 取り組みます。	さいがい じ じりきひなん こんなん 災害時に自力避難が困難な ようえんごしゃ あんびかくにん ひなん 要援護者の安否確認や避難 しえんとう かつどう えんかつ おこな 支援等の活動が円滑に行われ るよう、さいがい じ ようえんごしゃめいぼ う、災害時要援護者名簿や ひなんしえん ひつよう じょうほう ちいき 避難支援に必要な情報を地域 に ていきょう ひごろ ちいき 提供し、日頃からの地域にお けるじしゆてき ささ あ とりくみ 自主的な支え合いの取組を しえん 支援します。 また、こべつひなんけいかく さくせい すず 個別避難計画の作成を進 め、ようえんごしゃしえん こうじよう と 要援護者支援の向上に取り くみ 組みます。

122	障害者・支援者 による災害時 等の障害理解 促進	セイフティーネットプロジェクト 横浜(S-net横浜)や関係機関等 と連携し、各区で実施される地域 防災拠点訓練等で障害者理解を 促進します。 加えて、避難生活における情報 保障についても、対応方法等の 周知に取り組んでいきます。	○	セイフティーネットプロジェクト横浜 (S-net横浜)等の障害理解に係る 普及・啓発活動(コミュニケーションボ ード等の普及啓発、研修会、地域防災 拠点での当事者による講演等)を通 じ、障害理解の推進に取り組みまし た。	セイフティーネットプロジェクト 横浜(S-net横浜)や関係機関 等との連携により、各区で実施 される地域防災拠点訓練等で 障害者理解を促進します。
122	災害時等の 自助力向上に むけたツールの 作成及び普及・ 啓発	風水害を含めた災害時に備え、 自助力の向上のためのツールの 検討・作成と、本市ウェブサイト等 を活用した普及・啓発を行って いきます。	○	令和7年度においても引き続き避難 行動計画「マイ・タイムライン」を「障害 福祉のあんない」に掲載し、普及・啓発 を行いました。	避難行動計画「マイ・タイムライ ン」の普及・啓発を引き続き、行 います。

122	さいがい じ 災害時におけ る自助・共助の じょうほうきょうゆう 情報共有の すいしん 推進	よこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい 横浜市障害者施策推進協議会や かくだんたい かいぎたい さいがい じ 各団体の会議体にて、災害時に る自助・共助について情報 きょうゆう おこな 共有を行います。	○	れい いわ ねんど ひ つづ ほんし 令和7年度においても引き続き、本市 における減災・防災の取組状 況を よこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい 横浜市障害者施策推進協議会及び しょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい 障害者施策検討部会に報告し、頂い た御意見を関係課と共有しました。	ひ つづ ほんし げんさい 引き続き、本市における減災・ ぼうさい とりくみじょうきょう よこはまし 防災の取組状 況を横浜市 しょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい 障害者施策推進協議会及び しょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい 障害者施策検討部会に報告し、 いただ ご いけん かんけい か きょうゆう 頂いた御意見を関係課と共有 していきます。
123	しょうがいしゅべつおうきゅう 障害種別応急 びちくぶっしれんけい 備蓄物資連携 じぎょう 事業	しょうがいとくせい おう おうきゅうびちくぶっし 障害特性に応じた応急備蓄物資 について、引き続き保管できるよ う、普及・啓発を実施します。	○	く ちいきかつどう せっち 18区の地域活動ホームに設置してい る備蓄用ロッカーを利用し、災害時に そな 備えたストーマ用装具の保管ができる よう、制度周知及び利用者募集を けいぞく 継続しました。	く ちいきかつどう せっち 18区の地域活動ホームに設置 している備蓄用ロッカーを利用 し、さいがい じ そな 災害時に備えたストーマ用 そうぐ 保管 装具の保管ができるよう、制度 しゅうちおよ りようしゃぼしゅう けいぞく 周知及び利用者募集を継続して いきます。

123	しょうがいふくし 障害福祉サー ビス事業所等 におけるサービ ス提供等継続 支援	しょうがいふくし じぎょうしょう たい 障害福祉サービス事業所等に対 へいじょう かんせんしょう して、平常時から、感染症の りゅうこう そな えいせいぶつびんとう びちく 流行に備え、衛生物品等の備蓄、 じぎょうけいぞくけいかく さくてい ひつよう 事業継続計画の策定など必要な じゅんぴ ふきゅうけいはつ おこな 準備について、普及啓発を行 います。また、緊急時にはサービス ていきょうとう けいぞく む しえん 提供等の継続に向けた支援を おこな 行います。	○	しょうがいしゃ せつとう たい さくてい 障害者施設等に対し、策定している ぎょうむけいぞくけいかく じっこうせい たか 業務継続計画策定の実効性を高める ための、セミナー等を実施しました。	ひ つづ さまざま きかい とら 引き続き、様々な機会を捉え、 ぎょうむけいぞくけいかく さくていじょうきょうおよ 業務継続計画の策定状況及び ないようとう かくにん 内容等を確認していきます。
123	ようでんげんしょうがい 要電源障害 じしゃとうさいがい じ 児者等災害時 でんげんかくほしえん 電源確保支援 じぎょう 事業	でんげん よう いりよう き き ざいたく 電源を要する医療機器を在宅で しょう しょうがい じ しゃとう たい 使用する障害児・者等に対し、 さいがい じ せいめい い じ うえ 災害時に生命を維持する上で ひつよう ひじょうようでんげん そうちとう 必要となる非常用電源装置等の かくほ しえん じ じょ きょうか つな 確保を支援し、自助の強化に繋げ ることを目的とした給付を行	○	がつ がつ がつ きゅうふしんせい うけつけ 7月、10月、1月に給付申請の受付を おこな 行いました。 また、7月～3月に、登録の受付を行 いました。	さら しえん おこな ひ つづ 更なる支援を行うため、引き続 うけつけ じ っし およ しゅうち おこな き受付の実施及び周知を行 います。

		ます。また、支援しえんを求めもとている人ひと に必要な支援ひつよう しえんが届とどくように 要電源障ようでんげんしょうがい害児者等登録制度じゃとうとうろくせいどを通つう じて実態じったいの把握はあくを進すすめていきま す。			
--	--	---	--	--	--

(1) ちいきりょういく ちゅうしん しえん じゅうじつ
(1) 地域療育センターを中心とした支援の充実

さっし 冊子 すう ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
130	ちいきりょういく 地域療育セン ター運営事業 うんえいじぎょう	しょうがい 障害がある、またはその疑いの ある児童に、専門性の高い評価や しえんけいかく もと しゅうだんりょういく 支援計画に基づき、集団療育や ほいくしょ ようちえんおよ がっこう 保育所、幼稚園及び学校への じゅんかいほうもん ほごしやしえんとう おこな 巡回訪問、保護者支援等を行いま す。 また、くふくしほけん りょういく また、区福祉保健センターの療育 そうだん はけんとう おこな 相談へのスタッフ派遣等を行いま す。	○	じゅんかいほうもん たか もと 巡回訪問について、高いニーズに基 づきけいぞくじっし づき継続実施しました。 ちいき じどうはったつしえんじぎょうしょ れんけい 地域の児童発達支援事業所との連携 かくだい けんがく けんしゅう じっし を拡大し、見学や研修も実施しまし た。また、市内の児童発達支援事業所 にたい しえん じどうはったつしえんじぎょうしょ に対し支援にかかるアンケート調査に より、ニーズ把握を行いました。 しょきしえん じぎょう けいぞく 初期支援として「ひろば事業」を継続 じっし りようしゃ 実施しており、利用者アンケートにお いて 97 % の満足度を得ました。	きょうだい じ あず きょうだい児預かりについて、 きそん くら あら 既存4センターに加え新たに2 センターでいたく じっし センターで委託により実施し、さ らなるほごしやおよ かぞくしえん らなる保護者及び家族支援を おこな ひ つづ 行います。また引き続き「ひろ ば事業」によりしょきしえん おこな ば事業により初期支援を行う とともに、ちいき かんけいきかん とともに、地域の関係機関との さらなるれんけいきょうか さらなる連携強化のため、アウ トリーチのかくじゅう む じんざい トリーチの拡充に向けた人材 いくせい と く 育成に取り組めます。

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
131	じどうはつたつしえん 児童発達支援センターの せつちすう 設置数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	9 か所 (実績9 か所)	9 か所 (実績9か所)	9 か所
131	しょうがい じ ちいきしゃかい さんか 障害児の地域社会への参加・ ほうよう 包容(インクルージョン)を推進 すいしん する体制の構築 たいせい こうちく	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	こうちく 構築する (実績構築する)	こうちく 構築する (実績構築する)	こうちく 構築する
131	ほいくしょうとうほうもんしえん 保育所等訪問支援 じゆきゆうしやすう つき の りようにつすう (受給者数/月、延べ利用日数/ ねん 年)	600人 (実績988人)	650人 (実績1,132人)	700人 (実績1,539人)	1,650人 (実績1,712人)	1,800人 (実績2,085人)	1,950人
		4,800人日 (実績6,887人日)	5,200人日 (実績9,869人日)	5,600人日 (実績12,695人日)	12,500人日 (実績14,514人日)	15,800人日 (実績18,711人日)	20,000人日

131	じどうはったつしえん 児童発達支援 (ちいきりょういく じっしばん 地域療育センター実施分を ふく 含む)	190 か所 ^{しよ} (じっせき 実績209 か所 ^{しよ})	200 か所 ^{しよ} (じっせき 実績232 か所 ^{しよ})	210 か所 ^{しよ} (じっせき 実績246 か 所 ^{しよ})	300 か所 ^{しよ} (じっせき 実績302 か所 ^{しよ})	320 か所 ^{しよ} (じっせき 実績325 か 所 ^{しよ})	340 か所 ^{しよ}
	(じぎょうしよすう ねん じゆきゆうしやすう つき 事業所数/年、受給者数/月、 延べ利用日数/年 ^{ねん})	3,800人 ^{にん} (じっせき 実績4,270人 ^{にん})	4,000人 ^{にん} (じっせき 実績 4,797人 ^{にん})	4,000人 ^{にん} (じっせき 実績5,264 人 ^{にん})	5,385人 ^{にん} (じっせき 実績5,740人 ^{にん})	5,585人 ^{にん} (じっせき 実績5,904 人 ^{にん})	5,785人 ^{にん}
	じどうふくしほうかいせい れいわ ねん ※児童福祉法改正(令和6年4 がつしこう じどうはったつしえん 月施行)により、児童発達支援 の類型(ふくしがた いりようがた 福祉型、医療型)が いちげんか れいわ ねんど 一元化されたため、令和6年度 いこう いりようがたじどうはったつしえん 以降の「医療型児童発達支援」 と「児童発達支援(ちいきりょういく 地域療育セ ンター実施分を含む)」の指標 ^{しひよう} を統合しました。	297,000人日 ^{にんにち} (じっせき 実績350,856 人日 ^{にんにち})	314,900人 ^{にん} 日 ^{にち} (じっせき 実績 319,684人 ^{にん} 日 ^{にち})	327,500人日 ^{にんにち} (じっせき 実績 461,836人 ^{にん} 日 ^{にち})	418,000人日 ^{にんにち} (じっせき 実績494,426人 ^{にん} 日 ^{にち})	427,100人日 ^{にんにち} (じっせき 実績 528,726人 ^{にん} 日 ^{にち})	436,400人 ^{にん} 日 ^{にち}

132	児童発達支援のうち、主に 重症心身障害児を支援する 事業所 (地域療育センター実施分を 含む) (事業所数/年、受給者数/月、 の延べ利用日数/年)	5か所 (実績7か所)	6か所 (実績9か所)	7か所 (実績12か所)	11か所 (実績13か所)	11か所 (実績15か所)	12か所
		25人 (実績30人)	30人 (実績33人)	35人 (実績43人)	37人 (実績55人)	39人 (実績59人)	42人
		1,500人日 (実績3,079人 日)	1,800人日 (実績 4,507人 日)	2,100人日 (実績5,541人 日)	7,600人日 (実績5,521人日)	8,700人日 (実績5,840人 日)	10,000人日

132	いりょうがたじどうはつたつしえん 医療型児童発達支援 ちいきりょういく じっしぶん (地域療育センター実施分を 含む) じぎょうしよすう ねん じゆきゆうしやすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつすう ねん 延べ利用日数/年)	9か所 (実績9 か所)	9か所 (実績9 か 所)	9か所 (実績9 か所)	じどう ふくし ほうかいせい 児童福祉法改正 れいわ ねん がつしこう (令和6年4月施行) により、児童発達 支援の類型(福祉 型、医療型)が いちげんか 一元化されたため、 れいわ ねん どのこう 令和6年度以降の いりょうがたじどうはつたつ 「医療型児童発達 支援」と「児童発達 支援(地域療育セン ター実施分を含 む)」の指標を統合 しました。 (実績見込み)	どうさ 同左	どうさ 同左
-----	---	-------------------------	------------------------------	-------------------------	--	-------------------	-------------------

		185人 ^{にん} (実績168人 ^{にん})	185人 ^{にん} (実績162人 ^{にん})	185人 ^{にん} (実績147人 ^{にん})	-	(実績 ^{じっせき})	-
		18,000人 ^{にんにち} (実績13,749人 ^{にん} 日)	18,000人 ^{にん} 日 (実績11,489人 ^{にん} 日)	18,000人 ^{にんにち} (実績11,557人 ^{にんにち} 日)	-	(実績 ^{じっせき})	-
133	きょたくほうもんがたじどうはつたつしえん 居宅訪問型児童発達支援 じぎょうしよすう ねん じゆきゆうしゃすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 のりようにつすう ねん 延べ利用日数/年)	1か所 ^{しよ} (実績1か所 ^{しよ})	1か所 ^{しよ} (実績2か所 ^{しよ})	1か所 ^{しよ} (実績6か所 ^{しよ})	3か所 ^{しよ} (実績6か所 ^{しよ})	4か所 ^{しよ} (実績6か所 ^{しよ})	4か所 ^{しよ}
		30人 ^{にん} (実績16人 ^{にん})	30人 ^{にん} (実績21人 ^{にん})	30人 ^{にん} (実績28人 ^{にん})	30人 ^{にん} (実績32人 ^{にん})	35人 ^{にん} (実績38人 ^{にん})	35人 ^{にん}

		60人日 (実績737人日)	60人日 (実績1,149人日)	60人日 (実績1,386人日)	1,700人日 (実績1,265人日)	2,500人日 (実績1,725人日)	3,500人日
--	--	-------------------	---------------------	---------------------	------------------------	------------------------	---------

(2)切れ目のない支援体制の充実

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和7年度 評価	令和7年度 振り返り	令和8年度 取組予定
134	地域訓練会 運営費助成 事業	障害児の保護者等が自主的に 組織し、地域で機能回復訓練や 保育を行う、地域訓練会の運営 費を助成します。	○	よこはまししゃかいふくしきょうぎかい つう 横浜市社会福祉協議会を通じて 37 団体へ活動費の助成を行いました。	ひ つづ よこはまししゃかいふくしきょうぎ 引き続き横浜市社会福祉協議 会を通じて活動費の助成を行 うとともに、障害児地域訓練会 への参加意義を分かりやすく 周知することなどにより、参加 促進を図れるよう、横浜市社会 福祉協議会や区役所等と協力 しながら取組を進めていきま す。

134	ペアレントトレーニング実施者の養成	子ども本人への支援と合わせて 重要である保護者への支援として、主に障害児通所支援事業所等において、職員に対しペアレントトレーニング実施者養成研修を行います。	○	受講者が即座に保護者支援を実施できる、現場に即した内容の研修やペアレントトレーニングの実施方法を学べる専門的な研修を実施しました。	引き続きアンケート結果を考慮しながら研修を実施していきます。
134	障害児入所施設入所児童の地域移行	障害児入所施設からグループホームやひとり暮らしなど、一人ひとりの状況に応じた生活の場へのスムーズな移行を目指し、児童相談所や区福祉保健センター、学校等の関係機関と連携し、早期（概ね15歳頃）からのアセスメントを行い、入所されている障害児本人等と一緒に準備を進めます。	○	令和7年度18歳を迎えた障害児13人全員に対して、一人ひとりの状況に応じた生活の場への移行を進めました。	引き続き児童相談所や区福祉保健センター、学校等の関係機関と連携し、早期（概ね15歳頃）からのアセスメントを行い、入所されている障害児本人等と一緒に準備を進めます。

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
135	しょうがい じ そうだん 障害児相談 じぎょうしやうすう ねん じゆきゆうしゃすう (事業所数/年、受給者数 がくれい つぎ じゆきゆうしゃすう みしゅうがく (学齢)/月、受給者数(未就学) ねん /年)	135 か所 じっせき (実績108 か所)	147 か所 じっせき (実績115 か 所)	160 か所 じっせき (実績119 か 所)	130 か所 じっせき (実績119 か所)	150 か所 じっせき (実績123 か 所)	170 か所
		がくれい 学齢 6,600人 じっせきがくれい (実績学齢 836 人)	がくれい 学齢 7,275人 じっせきがくれい (実績学齢 980人)	がくれい 学齢 8,025 人 じっせきがくれい (実績学齢 1,037人)	がくれい 学齢 1,815人 じっせきがくれい (実績学齢 1,178 人)	がくれい 学齢 3,525 人 じっせきがくれい (実績学齢 1,361人)	がくれい 学齢4,025 人
		みしゅうがく 未就学 2,850人 じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,690人)	みしゅうがく 未就学 3,000人 じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,599人)	みしゅうがく 未就学 3,150 人 じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,575人)	みしゅうがく 未就学 3,275人 じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,559人)	みしゅうがく 未就学 3,400 人 じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,516人)	みしゅうがく 未就学 3,535人

135	パARENTトレーニング実施者 ようせいけんしゅう じぎょうしやすう ねん 養成研修(事業所数/年)	15 かしよ じっせき (実績4 かしよ)	30 かしよ じっせき (実績6 かしよ)	30 かしよ じっせき (実績30 かしよ)	30 かしよ じっせき (実績34 かしよ)	30 かしよ じっせき (実績34 かしよ)	30 かしよ
135	パARENTトレーニングやパARENTプログラム等の支援プログラム等の実施者数、受講者数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	実施者数:30 かしよ 受講者数:450 人 (実績実施者数:121 かしよ 受講者数:2,099 人)	実施者数:30 かしよ 受講者数:450 人 (実績実施者数:148 かしよ 受講者数:2,473 人)	実施者数:30 かしよ 受講者数:450 人

135	ペアレントメンターの人数 にんずう	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	けんとう 検討 じっせき ぜん かい (実績 全3回の けんとうかい 検討会を じっし 実施)	じっし 実施 じっせき けんとうかい (実績 検討会 を かいじっし 1回実施)	じっし 実施
135	ピアサポートの活動への参加 にんずう 人数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	けんとう 検討 じっせき ぜん かい けんとう (実績全3回の検討 かい 会を じっし 実施)	じっし 実施 じっせき (実績ピアサポ ー団体に関す るホームページ を さくせい 作成し こうひようすみ 公表済)	じっし 実施

(3) 学齢障害児に対する支援の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
136	がくれいこう きしょうがい 学齢後期障害 じ し えんじぎょう 児支援事業	がくれいこう き ちゅうがくせい こうこうせいねんだい 学齢後期(中学生・高校生年代) はったつしょうがい じ どう あんてい の発達障害児等が安定した せいじんき むか じどう 成人期を迎えられるよう、児童や か ぞくどう そうだん せんもんてき 家族等からの相談に専門的な しどう じょげん おこな 指導、助言を行います。 また、かんけいき かん れんけい はったつ また、関係機関と連携し、発達 しょうがい き いん もんだい かいけつ む 障害に起因する問題の解決に向 し えん おこな けた支援を行います。	○	じぎょうしょ い けんこうかんかい けいぞくじっし 4事業所との意見交換会を継続実施 しました。また、ぜん 全スクールソーシャル ワーカーがさんか けんしゅう 参加する研修において、4 じぎょうしょ どうだん とくしよく れんけいき かん こう 事業所が登壇し、特色や連携機関、好 じれいどう せつめい おこな 事例等について説明を行いました。	けんしゅうどう かんけいき かん 研修等による関係機関との れんけい ひ つづ とりく 連携について、引き続き取り組 みます。 じぎょうしょ い けんこうかんかい けいぞく 4事業所との意見交換会を継続 じっし あんていてき し えん 実施し、安定的な支援のための ちいき いりよう し えん き かんどう 地域の医療・支援機関等との れんけい けんどう おこな 連携について検討を行います。

さつし 冊子 すう ページ数	しひょうめい 指標名	れいわねんど 令和3年度	れいわねんど 令和4年度	れいわねんど 令和5年度	れいわねんど 令和6年度	れいわねんど 令和7年度	れいわねんど 令和8年度
137	こどもこそだしえんとう 子ども・子育て支援等 ほいくしょほうかごじどうけんぜんいくせい (保育所、放課後児童健全育成 じぎょうしょとう 事業所等)における しょうがいじ 障害児の うけいたいせいせいび 受入れ体制の整備	すいしん 推進 じっせきすいしん (実績推進)	すいしん 推進 じっせきすいしん (実績推進)	すいしん 推進 じっせきすいしん (実績推進)	すいしん 推進 じっせきすいしん (実績推進)	すいしん 推進 じっせきすいしん (実績推進)	すいしん 推進
137	ほうかごとう 放課後等デイサービス事業 じぎょうしよすうねんじゅきゅうしゃすうつき (事業所数/年、受給者数/月、 のりようにつすうねん 延べ利用日数/年)	410か所 じっせき (実績418か所)	460か所 じっせき (実績470か所)	510か所 じっせき (実績489か所)	570か所 じっせき (実績514か所)	640か所 じっせき (実績542か所)	710か所
		8,800人 じっせき (実績8,833人)	9,700人 じっせき (実績9.886人)	10,700人 じっせき (実績10,870人)	12,100人 じっせき (実績11,721人)	13,300人 じっせき (実績12,771人)	14,600人
		1,128,000人日 じっせき (実績)	1,274,700人日 じっせき (実績)	1,440,500人日 じっせき (実績)	1,568,700人日 じっせき (実績1,497,086人日)	1,740,200人日 じっせき (実績)	1,931,600人日

		1,128,471人 にち 日)	1,258,671 にんにち 人日)	1,396,783人 にち 日)		1,630,084人 にち 日)	
138	ほう か ごとう 放課後等デイサービス事業の	22 か所 じっせき (実績20 か所)	23 か所 じっせき (実績24 か 所)	24 か所 じっせき (実績33 か所)	26か所 じっせき (実績32 か所)	26 か所 じっせき (実績35 か所)	27 か所
	うち、主に重 症 心身障害児 し え ん じぎょうしよ を支援する事業所	396人 じっせき (実績341人)	414人 じっせき (実績376 人)	432人 じっせき (実績365人)	460人 じっせき (実績385人)	490人 じっせき (実績384人)	520人
	じぎょうしよすう ねん じゅきゆうしゃすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の り よう にっすう ねん 延べ利用日数/年)	31,680人日 じっせき (実績25, 049人 にち 日)	33,120人 にち 日 じっせき (実績 27,756人 にち 日)	34,560人日 じっせき (実績38,172 にんにち 人日)	37,630人日 じっせき (実績39,998人 にち 日)	40,970人日 じっせき (実績44,161 にんにち 人日)	44,610人日 にんにち

138	ほう か ごとう 放課後等デイサービス事業の おも じゅうしょうしんしんしょうがい じ うち、主に重症心身障害児 し え ん じぎょうしょ く を支援する事業所のある区の わりあい ねん 割合(/年)	100 % (実績72 %)	100 % (実績78 %)	100 % (実績78 %)	100 % (実績78 %)	100 % (実績89 %)	100 %
138	はったつしょうがいしゃし え ん 発達障害者支援センターによ そうだんけんすう がくれいこう きしょうがい じ る相談件数(年齢後期障害児 し え ん じぎょうぶんの そうだんけんすう 支援事業分)(延べ相談件数/ ねん 年)	6,000件 (実績7,190件)	6,000件 (実績6,102件)	7,200件 (実績7,080件)	8,000件 (実績6,954件)	8,500件 (実績7,772件)	9,000件
139	はったつしょうがいしゃし え ん およ 発達障害者支援センター及び はったつしょうがいしゃちいきし え ん 発達障害者地域支援マネジャ がいぶきかん ちいきじゅうみん 一の外部機関や地域住民への けんしゅう けいはつ がくれいこう きしょうがい じ 研修、啓発(年齢後期障害児 し え ん じぎょうぶんの けんすう ねん 支援事業分)(件数/年)	25件 (実績13件)	25件 (実績9件)	30件 (実績10件)	30件 (実績15件)	35件 (実績11件)	35件

(1)療育と教育の連携による切れ目のない支援

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かん 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
142	よこはまがた 横浜型センター てききのう じゅうじつ 的機能の充実	ちいきりょういく とくべつし えん 地域療育センターや特別支援 がっこう つうきゅうし どうきょうしつとう たんとうしゃ 学校、通級指導教室等の担当者 が、しょう ちゅうがっこう じどうせいと 小・中学校や児童生徒、 ほ ごし ゃ そうだん たいおう 保護者からの相談に対応するな ど、とくべつ し えん ひつよう じどう 特別支援が必要な児童 せいと し えん 生徒を支援します。	○	とくべつし えん きょういく こうないし えん たいせい 特別支援教育の校内支援体制を じゅうじつ 充実させるため、センター的機能のパ ンフレットを市立学校に周知・啓発を はか 図りました。	とくべつし えん きょういく 特別支援教育コーディネーター のスキルアップと組織化を進め るため、チーフコーディネーター をちゅうしん きょうぎかい じゅうじつ 中心とした協議会を充実し ます。
142	しゅうがく かん せつめいかい 就学説明会	とくべつし えん きょういく きぼう ようじ 特別支援教育を希望する幼児の しゅうがく かん せつめいかい かいさい 就学に関する説明会を開催しま す。	○	しな いりょういく とう しゅうごうがた 市内療育センター等での集合型の しゅうがくせつめいかい けい かいじっし 就学説明会を計7回実施。 ホームページに動画掲載:動画7本、 けい かいさいせい 計16,260回再生	とくべつし えん きょういく きぼう かた 特別支援教育を希望する方へ む しゅうがく かん じょうほうていきよう 向け、就学に関する情報提供 の機会を拡充し、集合型による せつめいかいおよ せつめいかいおよ 説明会及びニーズに合わせた

					しゅうがくせつめい かくしゅどう がおよ しりょう 就学説明の各種動画及び資料 をホームページに掲載します。
142	しゅうがく きょういく 就学・教育 そうだん たいせい 相談の体制 きょうか 強化	ひ とり きょういく てきかく 一人ひとりの教育ニーズを的確 は あく じんそく てきせい しゅうがく に把握し、迅速で適正な就学・ きょういくそうだん おこな かんけい 教育相談を行うために関係 き かん そうご れんけい 機関が相互に連携しながら、 しゅうがくまえ そつぎょうご み とお 就学前から卒業後までを見通し そうだんたいせい きょうか はか た相談体制の強化を図ります。	○	しゅうがく きょういくそうだんけんすう 就学・教育相談件数 れいわ ねんど けん 令和7年度:5,707件	そうだんしんせいほうほう 相談申請方法については、これ ばんしよおよ でん しんせい までの文書及び電子申請による ほうほう う つ ようけん 方法で受け付けます(要件あ り)。また、引き続き丁寧かつ こうりつてき そうだん おこな 効率的に相談を行うとともに、 たい き き かん たんしゅくおよ えんかつ 待期期間の短縮及び円滑な じぎょう すいしん はか 事業の推進を図ります。
143	ほ ご し や きょうしつ 保護者教室 かいさいじぎょう 開催事業	よこはましりつしやう ちゅうがっこう とくべつしえん 横浜市立小・中学校、特別支援 がっこう ほ ご し や たいしやう しょうがい 学校の保護者を対象とした障害 たい ただ ちしき けいはつ すす に対する正しい知識の啓発を進 めます。	○	ほ ご し や きょうしつかいさいかいすう さんかになんずう 【保護者教室開催回数(参加人数)】 れいわ ねんど かい になんさんか 令和7年度:7回(2,706人参加) ※オンライン、録画配信申込者数合計	ないやう せい さ ぜん 内容を精査し、オンラインで全4 かいじつし かくかいさいだい 回実施します。(各回最大500 になんさんか 人参加)

143	しりつようちえんとう 私立幼稚園等 とくべつしえんきょういく 特別支援教育 ひ ほじょじぎょう 費補助事業	しりつようちえんとう ざいえん 私立幼稚園等に在園している しょうがい じ たい きょういく しょうがい 障害児に対する教育が、障害の しゅるい ていど おう てきせつ 種類・程度などに応じて適切に おこな けいひ いちぶ 行われるよう、その経費の一部 せつちしゃ ほじょ しょうがい じ を設置者に補助し、障害児の きょういく やくだ 教育に役立てます。	○	し がくじょせいえん げんしやう ほじょ 私学助成園は減少しているため補助 たいしやうじんすう げんしやう えん 対象人数も減少していますが、1園 あ たいしやうえんじすう どうやう すいじゅん 当たりの対象園児数は同様の水準 すい い で推移しています。 れい わ ねん ど にん ・令和7年度:325人 78,000 せんえん じっせき 千円(実績)	れい わ ねん ど にん ・令和8年度:356人 107,512 せんえん み こ 千円(見込み)
-----	--	---	---	--	--

(2) 教育環境・教育活動の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないやう 事業内容	れい わ ねん ど 令和7年度 ひやうか 評価	れい わ ねん ど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れい わ ねん ど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
145	あいしーていー かつやう ICTを活用 した教育環境 じゅうじつ の充実	こ こ じどうせいと しょうがい じやうきやう 個々の児童生徒の障害の状況 じゅうぶん ふ がくしゅうじやう せいかつ を十分に踏まえ、学習上、生活 じやう さまざま こんなん たい あいしーていー 上の様々な困難に対し、ICT かつやう しどう しえん じゅうじつ を活用した指導や支援を充実さ	○	し りつとくべつしえんがっこう こう あいしーていー 市立特別支援学校13校に、ICT し えん いん はけん がくしゅうし えん とう と 支援員を派遣し、学習支援等に取り く 組みました。	ひ つづ あいしーていー かん せんもん 引き続き、ICTに関する専門 し えん すす スタッフ支援を進め、オンライン がくしゅう とう すす での学習等を進めます。

		せるとともに、緊急時におけるオンラインでの学習保障や動画コンテンツ配信などについて、検討、実施します。		【ICT支援員の派遣回数】 令和5年度:62回 令和6年度:62回 令和7年度:62回	
145	障害特性に応じた教育の充実	個別支援学級に加えて、一般学級においても、特別な支援を要する児童生徒が増加し、支援のニーズが多様化している状況を踏まえ、ケーススタディを重視した研修を充実させます。全ての教員が障害の状態や特性に応じた指導・支援が行えるよう専門性の向上を図ります。 また、小・中学校の教員が特別	○	経験年数やテーマ別に応じた研修を行いました。特別支援学校教諭免許状取得のための受講料助成を令和2年度から開始し、申請者全てに交付しました。 令和7年度補助件数:12件	引き続き、全ての教員が障害の状態や特性に応じた指導・支援が行えるよう、研修を充実させます。また、小・中学校の教員が特別支援学校教諭免許状を取得するための受講料を助成します。

		し え ん が つ こ う き ょ う ゆ め ん き よ じ ょ う し ゅ と く 支援学校教諭免許状を取得する た め の じ ゅ こ う り ょ う じ ょ せ い あ ら じ つ し ための受講料助成を新たに実施 します。			
146	と く べ つ し え ん き ょ う い く 特別支援教育 と く べ つ し え ん き ょ う い く 特別支援教育 こーでいねーた ーの機能強化 とスキルアップ	と く べ つ し え ん き ょ う い く 特別支援教育コーディネーター ようせいけんしゅう じゅこう かつどう 養成研修を受講して活動してい と く べ つ し え ん き ょ う い く 特別支援教育コーディネータ ー(教員)を対象に、更なるスキ ルアップを め ざ じ れ い けんきゅう 目指して、事例研究な どを中心とした研修を進めると ともに、かんけいき かん れんけい きょうか 関係機関との連携を強化 し、せんもんてき ししつ たか し、専門的な資質を高めます。	○	【コーディネーター養成研修】(8回の れんぞくこう ざ かくかいやく にんじゅこう 連続講座に各回約349人受講) 【スキルアップ研修】 (ぜん かい の にんじゅこう 全11回/延べ 61人受講) 【ブラッシュアップ研修】 (ぜん かい の にんじゅこう 全6回/延べ 550人受講) 【リラーニング研修】 (ぜん かい の にんじゅこう 全4回/延べ 62人受講)	と く べ つ し え ん き ょ う い く 特別支援教育コーディネーター ようせいけんしゅう くわ ようせいけんしゅう 養成研修に加え、養成研修 しゅうりようしゃ たいしゅう 修了者を対象としたスキルア ップ研修、ブラッシュアップ 研修、また、まな なお き かい 学び直しの機会と してリラーニング研修を実施 し、せんもんせい しつ こうじょう はか し、専門性と質の向上を図りま す。研修は集合型とオンライン により実施します。 また、かくく だいひょう 各区の代表であるチーフ コーディネーター会議等におい

				けんしゅう じょうほうきょうゆう じれいけんとう て研修・情報共有・事例検討を おこな さら せんもんでき ししつ 行い、更なる専門的な資質の こうじょう め ざ 向上を目指します。 じっし よてい 【実施予定】 ようせいけんしゅう かい ・コーディネーター養成研修9回 れんぞくこうざ かくかいやく にん の連続講座に各回約350人 じゅこう 受講) けんしゅう ・スキルアップ研修 ぜん かい の やく にんじゅこう (全9回/延べ約80人受講) けんしゅう ・ブラッシュアップ研修 ぜん かい の やく にんじゅこう (全4回/延べ約230人受講) けんしゅう ・リラーニング研修 ぜん かい の やく にんじゅこう (全6回/延べ約90人受講)
--	--	--	--	---

146	とくべつ し えんきよういく 特別支援教育 し えん いんじぎょう 支援員事業	しょう ちゅう ぎ む きよういくがっこう しょうがい 小・中・義務教育学校で障害に がくしゅうめん せいかつめん あんぜんめん より学習面、生活面や安全面へ はいりょう ひつよう じどう せいと の配慮等が必要な児童生徒に とくべつ し えんきよういく し えん いん はいち 特別支援教育支援員を配置し、 こうない し えんたいせい じゅうじつ はか 校内支援体制の充実を図りま す。	○	しょう ちゅうがっこう しょうがいとう 小・中学校において、障害等により がくしゅうめん せいかつめん あんぜんめん し えん 学習面や生活面、安全面への支援が ひつよう じどう せいと たい とくべつ し えん 必要な児童生徒に対し、特別支援 きよういく し えん いん はいち 教育支援員を配置しました。	しょうちゅうがっこうとう しょうがい 小中学校等において、障害な がくしゅうめん せいかつめんとう どにより学習面、生活面等への し えん ひつよう じどう せいと たい 支援が必要な児童生徒に対し、 とくべつ し えん きよういく し えん いん はいち 特別支援教育支援員を配置し ます。
147	ちょうかくしょうがい じ 聴覚障害児 し えん じぎょう 支援事業	しょう ちゅう ぎ む きよういくがっこう ざいせき 小・中・義務教育学校に在籍す ちょうかくしょうがい じどう せいと る聴覚障害のある児童生徒にノ ートテイクによる じようほう ほしょう 情報の保障を じっし 実施します。	○	しょう ちゅうがっこう ちょうかくしょうがい じゆぎょう 小・中学校で聴覚障害があり、授業 とう ばめん し えん ひつよう じどう せいと 等の場面での支援が必要な児童生徒 たい に対しボランティアを派遣しました。 れいわ ねん どは けんじっせき かい 令和7年度派遣実績：780回	ひ つづ たいしょう じどう せいと 引き続き、対象の児童生徒にノ ートテイクボランティアを派遣し ます。
147	じゅんかいがたしどう 巡回型指導の じっし 実施による つうきゅうしどう 通級指導の じゅうじつ 充実	じどう せいと ざいせきこう じゅんかい 児童生徒の在籍校を巡回して しどう おこな きょうどうがたじゅんかいしどう 指導を行う「協働型巡回指導」 じっし つうきゅう し どう たんどう を実施します。通級指導の担当 きょういん ざいせきこう ほうもん じどう 教員が在籍校を訪問し、児童	○	れいわ ねん しんせつ みなみかんだいじしょうがっこう 令和7年に新設した 南 神大寺 小学校 つうきゅうしどうきょうしつ くわ じょうちよしょうがい えー 通級指導教室を加え、情緒障害・A でいーえいちでいーつうきゅう し どうきょうしつ せっち D H D 通級指導教室を設置する	ひ つづ じょうちよしょうがい えーでいーえいち 引き続き、情緒障害・A D H でいーつうきゅうしどうきょうしつ せっち D 通級指導教室を設置する しょうがっこうぜんこう こう きょうどうがた 小学校全校(13校)で、協働型 じゅんかい し どう じっし 巡回指導を実施します。

		せいと しどう じゅぎょうさんかん おこな 生徒の指導や授業参観を行うと がっきゅうたんにとん うちじょうてき ともに、学級担任等と日常的に じょうほう きょうゆう 情報を共有するなど、協働して がっこうせいかつ しえん 学校生活を支援します。		しょうがっこうぜんこう こう きょうどうがたじゅんかい 小学校全校(13校)で、協働型巡回 しどう かいし 指導を開始しました。	
148	いりょうてき たいせい 医療的ケア体制 じゅうじつ の充実	しょう ちゅう ぎ む きょういくがっこう とくべつ 小・中・義務教育学校や特別 しえんがっこう いりょうてき 支援学校における医療的ケアの じっしたいせい じゅうじつ 実施体制を充実させます。 とくべつしえんがっこう じんこう 特別支援学校においては、人工 こきゅうきとうこうど いりょうてき 呼吸器等高度な医療的ケアにも たいおう たいせい きょうか はか 対応できるよう、体制の強化を図ります。	○	しょう ちゅうがっこうとう がっこう いりょうてき 小・中学校等では、学校で医療的ケア おこな ひつよう じどうせいと たい を行う必要がある児童生徒に対して かんごし はけん とくべつ 看護師を派遣しました。また、特別 しえんがっこう したいふじゅうとくべつしえん 支援学校では、肢体不自由特別支援 がっこう こう かんごし はいち いりょうてき 学校6校に看護師を配置し、医療的ケ ともな じどうせいと あんしん あんぜん アを伴う児童生徒が安心・安全に きょういく う かんきょう せいび 教育を受けられる環境を整備しまし ひ つづ じんこうこきゅうきとう こうど た。引き続き、人工呼吸器等の高度な いりょうてき たいおう ほごしゃ つ 医療的ケアにも対応し、保護者の付き そ かいしょう と く 添い解消に取り組めます。	しょうちゅうがっこうとう うちじょうてき 小中学校等において日常的に いりょうてき ひつよう じどうせいと 医療的ケアが必要な児童生徒に たい かんごし はけん 対し、看護師を派遣します。 とくべつしえんがっこう 特別支援学校においては、 かんごし はいち ひ 看護師を配置するとともに、引 つづ じんこうこきゅうきとう こうど き続き、人工呼吸器等の高度な いりょうてき てき と く 医療的ケアにモデル的に取り組 みます。

148	とくべつしえんがっこう 特別支援学校 じゅうじつ の充実	ざいせきじどうせいとしょうがい たよう か 在籍児童生徒の障害の多様化・ じゅうどか ちょうふくか ふ きょういく 重度化・重複化を踏まえ、教育 かてい じゅうじつ しせつせつび かいしゅう 課程の充実、施設設備の改修 ふくししゃりょう かつよう つうがく や、福祉車両の活用など通学 しえん あら ほうさく けんとう しこう 支援の新たな方策の検討・試行な きょういくかんきょう じゅうじつ とく ど教育環境の充実に取り組み ます。	○	いりょうてき ひつよう じどうせいと つうがく 医療的ケアに必要な児童生徒の通学 しえん したいふじゆうこう にん 支援として、肢体不自由校で61人に たい ふくししゃりょう うんこう 対して福祉車両を運行しました。	たよう じどうせいとひとり 多様な児童生徒一人ひとりの二 ーズを踏まえ、教育環境の じゅうじつ ひ つづ とく 充実に引き続き取り組みます。 また、いりょうてき ひつよう じどう 医療的ケアが必要な児童 せいと つうがくしえん ふくし 生徒の通学支援として、福祉 しゃりょう うんこう とく 車両の運行に取り組みます。
148	じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護 りようしゃ だいがく 利用者の大学 しゅうがくしえんじぎょう 修学支援事業	じゅうどほうもんかいご りよう じゅうど 重度訪問介護を利用する重度 しょうがいしゃ だいがく しゅうがく 障害者が大学で修学するための しえん じっし 支援を実施します。	○	めい たい だいがく つうがくちゅう 4名に対して大学への通学中および だいがく しきちない しんたいかいごとう 大学の敷地内における身体介護等を じっし 実施しました。 また、しんきりようきぼうしゃ そうだん おう 新規利用希望者の相談に応じ、 りよう む ちょうせい おこな 利用に向けての調整を行いました。	だいがくとう じゅうどしょうがいしゃ 大学等において重度障害者が しゅうがく ひつよう しえん 修学するために必要な支援 たいせい こうちく しんがく 体制が構築されるまで、進学を きぼう ひと ほんせいど りよう 希望する人が本制度を利用し あんしん しゅうがく ひ 安心して修学ができるよう、引 つづ えんかつ じぎょううんえい おこな き続き円滑な事業運営を行っ ていきます。

(3) 教育から就労への支援

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
150	とくべつしえんがっこう 特別支援学校 しゅうろうしえんじぎょう 就労支援事業	しょうがいしゃしゅうろうしえん 障害者就労支援センター等関係 きかん れんけい 機関と連携しながら、生徒の しゅうろう しえん 就労を支援します。 また、じっしゅうさきかいたく しよくば ていちゃく 実習先開拓や職場定着 しえん こうとうとくべつしえんがっこう 支援のため、高等特別支援学校 (わかばだいとくべつしえんがっこうちてきしょうがい 若葉台特別支援学校知的障害 きょういくがもん ふく しゅうろうしえん 教育部門を含む)に就労支援 しどういん はいち 指導員を配置します。	○	こうとうとくべつしえんがっこう ひ の ちゅうおう ふた 高等特別支援学校(日野中央、二つ ばし わかばだいちてきしょうがいきょういくがもん 橋、若葉台知的障害教育部門)の3 こう ひとり しゅうろうしえんしどういん はいち 校に1人ずつ就労支援指導員を配置 し、各校における実習先開拓や職場 ていちゃくしえん きよ 定着支援に寄与しました。	ひ つづ こうとうとくべつしえんがっこう 引き続き、高等特別支援学校 (ひ の ちゅうおう ふた ばし わかばだい 日野中央、二つ橋、若葉台 ちてきしょうがいきょういくがもん こう 知的障害教育部門)の3校に ひとり しゅうろうしえんしどういん はいち 1人ずつ就労支援指導員を配置 し、生徒の就労を支援します。
150	とくべつしえんがっこう 特別支援学校 しんろたんとうかん 進路担当間の れんけいきょうか 連携強化	しりつとくべつしえんがっこう しんろたんとうしゃ 市立特別支援学校の進路担当者 しょうがいしゅべつ こ ていきてき が障害種別を超えて定期的に じょうほうこうかん じれいけんきゅう おこな 情報交換や事例研究を行い、	○	しりつとくべつしえんがっこう しんろたんとうしゃ 市立特別支援学校の進路担当者の じょうほうこうかん じれいけんきゅう ねんかん かいていど 情報交換や事例研究を年間3回程度	しんろたんとうしゃれんらくかいとう じっし 進路担当者連絡会等を実施し、 がっこうかん じょうほうこうかん じれいけんきゅう 学校間の情報交換や事例研究

		はばひろ しんろせんたく たいおう 幅広い進路選択に対応できるよ れんけい きょうか う連携を強化します。		じっし はばひろ しんろせんたく たいおう 実施し、幅広い進路選択に対応できる ようにしました。	どう つう れんけいきょうか とく 等を通じた連携強化に取り組み ます。
--	--	--	--	--	--

せいかつ ばめん はたら たの しゅうろう
生活の場面4 働く・楽しむ 4-1 就労

いっばんしゅうろう そくしん こよう ご ていちゃくしえん じゅうじつ
(1)一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
154	しゅうろうしえん 就労支援セン ターを中心と した、地域にお ける就労支援 ネットワークの こうちく 構築	しょうがいしゃ しゅうろう ささ かんけいき かん 障害者の就労を支える関係機関 (とくべつしえん がっこう しゅうろういこうしえん 特別支援学校、就労移行支援 事業所、ハローワーク等)との れんけい きょうりょくたいせい こうちく 連携・協力体制を構築します。 しゅうろう けいぞく か せいかつめん 就労の継続に欠かせない生活面 でのサポートを充実させるため、	○	ぜんねんど ひ つづ しょうがいしゃしゅうろうしえん 前年度に引き続き、障害者就労支援 センターと就労支援や生活支援に関 わる地域の関係機関との連携の維持・ きょうか とく 強化に取り組みました。 また、各センターが地域の実情に応じ たネットワーク会議を実施し、各センタ ーで情報共有を行いました。	しょうがいしゃ ちいき しゅうろう せいかつ 障害者が地域で就労や生活に 関する相談を 行い、就 職や しゅうろう けいぞく 就労の継続ができるよう、 しょうがいしゃしゅうろうしえん かんけい 障害者就労支援センター、関係 機関との連携体制の維持・強化 を図ります。 あわせて、相談や支援が円滑に

		ちい き かんけいき かん れんけい ほんにん 地域の関係機関と連携し、本人へ しえん えんかつ すす の支援を円滑に進めます。		これらのとくみにより、そうだんたいせい 相談体制の じゅうじつ はか ほんにん しえん えんかつ 充実が図られ、本人への支援を円滑 すす に進めることにつながっています。	行われるたいせい せいび すす 体制の整備を進め、 ほんにん しえん えんかつ すす 本人への支援を円滑に進めてい きます。
154	しゅうろうしえん 就労支援セン しよくいん ター職員の じんざいいくせい 人材育成 さいけい 【再掲】	た よう しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応できる しゅうろうしえん こうじょう よう、就労支援スキルを向上さ けんしゅう じっし じんざい せるため、研修の実施など、人材 いくせい すす 育成を進めます。	○	しょうがいしゃ しゅうろうしゃすう ぞう か ともな もと 障害者の就労者数の増加に伴い求 められる「ていちゃくしえん じつ こうじょう 定着支援の質の向上」や かくしえん きかん れんけい 「各支援機関との連携」をテーマに しゅうごうけんしゅう じっし 集合研修を実施しました。 また、じんじこうりゅう か 人事交流を兼ねたグループワ けいしき じれいけんとうかい じっし せいかつ ーク形式の事例検討会を実施し、生活 しえん ひつよう こんなん しえん 支援も必要とする困難ケースの支援 についてまな あ ちしき ぎじゆつ 字び合うことで、知識と技術 こうじょう はか の向上を図りました。	た よう しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応でき しゅうろうしえん こうじょう るよう、就労支援スキルを向上 けんしゅう じっし させるため、研修の実施など、 じんざいいくせい すす 人材育成を進めます。

155	しゅうろうそくしん 就労促進を もくてき 目的とした じぎょうしよしよくいん む 事業所職員向 けんしゅう け研修 さいけい 【再掲】	しょうがいしゃこよう い きぎょう 障害者雇用を行っている企業で しゅうぎょうたいけん けんしゅう つう の「就業体験」の研修を通じて、 じぎょうしよしよくいん しゅうろうし えん 事業所職員の就労支援スキルの こうじょう しゅうろう む いしきづ 向上、就労に向けた意識付けに つなげます。	○	ふきゅうけいはつ かいさい きぎょうとう 普及啓発イベントを開催し、企業等で はたら しょうがいしゃほんにん じょうし たいけんだん 働く障害者本人と上司による体験談 はっぴよう おこな の発表を行いました。 これにより、支援者の就労支援スキル こうじょう りようしゃ しゅうろう む の向上、や利用者の就労に向けた いしき 意識づけにつながりました。	たよう しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応でき るよう、開催形態含めてより こうかてき けんしゅう けんとう ていきょう 効果的な研修を検討し、提供し ていきます。
155	こようしさく 雇用施策と ふくししさく 福祉施策の れんけい 連携による じゅうどしょうがいしゃとう 重度障害者等 への就労支援 （じゅうどしょうがいしゃとう 重度障害者等 しゅうろうし えんとくべつ 就労支援特別 じぎょう 事業）	ほうてい たいしょうがい 法定サービスでの対象外となっ ている重度障害者の経済活動時 かんちゅう しえん こようしさく ふくし 間中の支援を雇用施策と福祉 しさく れんけい おこな せいど けんとう 施策が連携して行う制度を検討 し、実施します。	○	めい たい しゅうろう じ かんちゅう しんたいかい いご 4名に対して就労時間中の身体介護 とう じっし 等を実施しました。 また、相談窓口（委託）と連携して新規 りようきぼうしゃ そうだん おう りよう む 利用希望者の相談に応じ、利用に向け て調整を行いました。	つうきんまた しゅうろう じ かんちゅう しえん 通勤又は就労時間中の支援を ひつよう じゅうどしょうがいしゃ ほん 必要とする重度障害者が本 せいど りよう ひ つづ 制度を利用できるよう、引き続 き円滑な事業運営を行っています。

さつし 冊子 すう ページ数	しひょうめい 指標名	れいわねんど 令和3年度	れいわねんど 令和4年度	れいわねんど 令和5年度	れいわねんど 令和6年度	れいわねんど 令和7年度	れいわねんど 令和8年度
156	ふくしせつ 福祉施設から一般就労への いこうしゃすう 移行者数	460人 じっせき (実績675人)	498人 じっせき (実績764人)	536人 じっせき (実績1,075人)	1,030人 じっせき (実績1,056人)	1,079人 じっせき (実績1,078人)	1.131人
156	しゅうろういこうしえんじぎょうりようしゃすう 就労移行支援事業の利用者数	1,476人分 じっせき (実績1,508人分)	1,547人分 じっせき (実績1,561人分)	1,617人分 じっせき (実績1,561人分)	1,688人分 じっせき (実績1,496人分)	1,759人分 じっせき (実績1,559人分)	1,830人分
156	しゅうろういこうしえんりようしゃ 就労移行支援の利用者のうち しゅうろういこうりつわりいじょう 就労移行率が3割以上の じぎょうしょわりあい 事業所の割合	34.2 % じっせき (実績39.0 %)	42.1 % じっせき (実績45.0 %)	50.0 % じっせき (実績58.0 %)	54.0 % じっせき (実績53.0 %)	58.0 % じっせき (実績61.0 %)	62.0 %
156	しゅうろういこうしえんじぎょうりよう 就労移行支援事業利用 しゅうりょうしゃし 終了者に占める一般就労へ いこうものわりあい 移行した者の割合が5割以上 じぎょうしょわりあい の事業所の割合	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	50.0 % じっせき (実績66.0 %)	50.0 % じっせき (実績77.0 %)	50.0 %

156	しゅうろうけいぞくしえんえーがたじぎょう 就労継続支援A型事業におけ いっばんしゅうろういこうしゃすう る一般就労移行者数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	46人 (実績50人)	49人 (実績91人)	52人
157	しゅうろうけいぞくしえんぴーがたじぎょう 就労継続支援B型事業におけ いっばんしゅうろういこうしゃすう る一般就労移行者数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	103人 (実績169人)	108人 (実績184人)	113人
157	しゅうろうていちゃくしえんりようしゃすう 就労定着支援利用者数	1,070人 (実績672人)	1,190人 (実績939人)	1,397人 (実績836人)	1,728人 (実績912人)	2,028人 (実績1,023人)	2,272人
157	しゅうろうていちゃくりつわりいじょうしゅうろう 就労定着率7割以上の就労 ていちゃくしえんじぎょうしょわりあい 定着支援事業所の割合	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	25.0 % (実績88.0 %)	25.0 % (実績12.0 %)	25.0 %

(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かせ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
158	きょうどうじゅちゅう 共同受注セン ター等による じゅちゅうそくしん 受注促進	きぎょう ぎょうせい きかん じぎょうしょ 企業・行政機関から、事業所の とくせい い はばひろ しごと 特性を生かした幅広い仕事の じゅちゅう 受注ができるよう、コーディネー トを行います。 おこな 市内イベント等への出店や自主 しな い どう しゅってん じしゅ 製品を紹介等を通じ、販路を せいひん しょうかい どう つう はんろ 拡大するとともに、障害者就労 かくだい への理解促進を図ります。	○	きょうどうじゅちゅう じゅちゅうそくしん 共同受注センターによる受注促進に くわ きぎょうどう しゃないはんばい だいがく 加え、企業等での社内販売や大学で はんばいかい かいさいどう つう しょうがいしゃ の販売会の開催等を通じて、障害者 しゅうろう り かいそくしん すす 就労への理解促進を進めました。 きょうどうじゅちゅう じゅちゅうきんがく 【共同受注センターによる受注金額 (件数)】 れいわ ねんど えん 令和6年度:88,444,929円(490 けん 件) れいわ ねんど えん 令和7年度:77,842,217円(492 けん 件)	じぎょうしょ とくせい い はばひろ 事業所の特性を生かした幅広い しごと じゅちゅう 仕事の受注ができるよう、コー ディネートを行うとともに、 おこな 発注者となりうる企業・行政 機関等に対して、障害者就労へ の理解促進を図ります。

158	事業所の受注 スキルの向上	発注者側のニーズに応えられる 商品の開発や作業の受注ができるよう、研修会やモデルケースとなる事例検討などを実施し、事業所の受注スキルの向上を図り、多くの受注につなげます。	○	民間企業等からの多岐にわたる作業依頼や出店依頼を受注したことで、事業所の販売力や対応力の向上につながりました。 また、研修会の実施により、事業所が受注できる作業範囲を広げること で、今後も需要が見込まれる依頼を安定して受注できるよう技術の習得を推進しました。	多くの受注につながるよう、引き続き発注者からの依頼を調整するほか、研修内容の検討を行い、発注者のニーズに対応できる事業所の増加を促します。
159	優先調達の 推進	横浜市役所からの事業所への優先的な発注を更に推進します。 また、庁内LANなどを活用し、区局等の発注事例を広く周知し、新たな発注につなげます。	○	本市職員専用のポータルサイト上で優先調達事例を掲載したほか、会議等を活用した庁内周知を行い、優先調達の推進を図りました。 実績が減少した主な要因は、指定	引き続き前年度の調達実績を上回ることを目標に、各区局への庁内啓発を進めていきます。

			かんり いこう まん えん 管理への移行(2,756万1,600円) によるものなどであり、実態に大きな へんどう ぜんねんじっせき したまわ 変動はありません。前年実績は下回り ましたが、引き続き高い水準を維持 しています。 ゆうせんちやうたつじっせき 【優先調達実績】 れいわ ねんど おく まん えん 令和6年度:5億2,917万4,169円 れいわ ねんど おく まん えん 令和7年度:5億407 万1,828円	
--	--	--	--	--

(3)多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和7年度 評価	令和7年度 振り返り	令和8年度 取組予定
160	障害者就労に 関する市民 啓発	シンポジウムの開催等を通じ、 様々な分野で働く障害者や 障害者雇用を進めている企業の 「生の声」を伝え、障害者就労に 対する理解・関心を高めます。	○	シンポジウムについてはより多くの方 へ情報が届くよう、市役所1階アトリ ウムで開催しました。パネル展や 事業所の自主製品販売、就労支援セ ンターの相談窓口等を併せて開催す ることで、より効果的に障害者就労 に関する普及啓発を行いました。 【シンポジウム参加者数】 会場参加:270名 当日YouTube視聴回数:71回 YouTubeアーカイブ再生回数 :334回	障害者の多様な働き方を 紹介するなど、障害者の就労 に関する幅広い情報提供を行 い、市民の理解・関心を高めるイ ベントを開催します。

161	しょうがいしゃこよう 障害者雇用に かん きぎょう 関する企業 けいはつ 啓発	しょうがいしゃこよう けんどう きぎょう 障害者雇用を検討している企業 む こよう かん に向けて、雇用にに関するセミナー とう じっし ごうりてきはいいよ ひつようせい 等を実施し、合理的配慮の必要性 きぎょうない しょうがいり かい そくしん など企業内での障害理解の促進 はか を図ります。	○	きぎょう だんたいとう いらい う でまえ 企業や団体等からの依頼を受け、出前 こうざ じっし 講座を実施しました。 また、よこはまし ホームページ じょう 上、 しょうがいしゃこようこうじれい けいさい 障害者雇用好事例を掲載しました。 でまえ こうざ れいわ ねんどじっせき 【出前講座 令和7年度実績】 かい (44) しゃ 2回(44社) このほかにふくしじぎょうしょ たいしょう 福祉事業所を対象として かいかいさい も1回開催しました。	ひ つづ こうかてき しゅほう 引き続きより効果的な手法を けんどう 検討しながら、市内企業や団体 とう けいはつ おこな 等に啓発を 行 っていきます。
161	ふれあいショッ プ等を活用した しょうがいしゃしゅうろう 障害者就労に かん り かい 関する理解 そくしん 促進	あら かいぎょう じえいあーる かんないえき 新たに開業する J R 関内駅 きたぐちこうかした しゅうろうけいはつし せつ およ 北口高架下の就労啓発施設及び し ちょうしゃない 市庁舎内のふれあいショッ プを はじめ、きそん 既存のふれあいショッ プ とう うんえい つう しゅうろう かん 等の運営を通じて、就労に 関す り かい そくしん はか る理解の促進を図ります。	△	ふれあいショッ プにおいて、運営を通 しゅうろうり かい そくしん じえいあーる じ就労理解を促進しました。J R かんないえききたぐちこうかした しゅうろうけいはつし せつ 関内駅北口高架下の就労啓発施設に ひ つづ へいさちゅう については、引き続き閉鎖中 です。	ふれあいショッ プにおいて、引 つづ うんえい つう しゅうろうり かい き続き、運営を通じ就労理解を はか じえいあーる かんないえききたぐち 図ります。J R 関内駅北口 こうかした しゅうろうけいはつし せつ かつよう 高架下の就労啓発施設の活用 ひ つづ けんどう おこな について引き続き検討を 行 い ます。

せいかつ ばめん はたら たの 4-2 にちゅうかつどう
生活の場面4 働く・楽しむ 4-2 日中活動

(1) にちゅう じゅうじつ
(1) 日中活動場所の選択肢の充実

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
165	せいかつ かいご つき 生活介護(/月)	7,732人分 (実績8,362人分)	7,982人分 (実績8,526人分)	8,232人分 (実績8,659人分)	8,482人分 (実績8,861人分)	8,732人分 (実績7,968人分)	8,982人分
		128,853人日 (実績139,854人日)	133,022人日 (実績140,753人日)	137,192人日 (実績143,385人日)	141,361人日 (実績144,919人日)	145,531人日 (実績123,614人日)	149,700人日

165	せいかつかいご じゅうどしょうがいしゃ づき 生活介護(重度障害者)(/月) ※「じゅうどしょうがいしゃ重度障害者」とは、きょうど強度 こうどうしょうがい こうじのうき のうしょうがい 行動障害や高次脳機能障害 ゆう しょうがいしゃ いりようてき を有する障害者、医療的ケア ひつよう ものとう あらわ を必要とする者等を表しています。	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	3,749人分 じっせき (実績3,698人分)	3,887人分 じっせき (実績3,799人分)	4,025人分
165	じりつくんれん きのうくんれん 自立訓練(機能訓練) づき (/月)	にんぶん 42人分 じっせき (実績30人分)	にんぶん 42人分 じっせき (実績30人分)	にんぶん 42人分 じっせき (実績42人分)	にんぶん 42人分 じっせき (実績33人分)	にんぶん 42人分 じっせき (実績26人分)	にんぶん 42人分
		にんにち 826人日 じっせき (実績428人日)	にんにち 826人日 じっせき (実績456人日)	にんにち 826人日 じっせき (実績604人日)	にんにち 826人日 じっせき (実績452人日)	にんにち 826人日 じっせき (実績379人日)	にんにち 826人日

166	じりつくんれん せいかつくんれん 自立訓練(生活訓練) (/月)	359人分 じっせき (実績405人分)	376人分 じっせき (実績488人分)	393人分 じっせき (実績539人分)	410人分 じっせき (実績613人分)	427人分 じっせき (実績687人分)	444人分
		5,812人日 じっせき (実績6,666人日)	6,088人日 じっせき (実績8,011人日)	6,363人日 じっせき (実績8,622人日)	6,638人日 じっせき (実績9,154人日)	6,913人日 じっせき (実績10,524人日)	7,189人日
166	しゅうろういこうしえんじぎょう 就労移行支援事業 (/月) 【さいけい再掲】	1,476人分 じっせき (実績1,508人分)	1,547人分 じっせき (実績1,561人分)	1,617人分 じっせき (実績1,561人分)	1,688人分 じっせき (実績1,496人分)	1,759人分 じっせき (実績1,559人分)	1,830人分
		25,099人日 じっせき (実績26,726人日)	26,303人日 じっせき (実績27,339人日)	27,507人日 じっせき (実績27,210人日)	28,711人日 じっせき (実績25,915人日)	29,915人日 じっせき (実績27,038人日)	31,119人日

166	しゅうろうけいぞくし えんじぎょう えーがた 就労継続支援事業(A型)(/ つき月)	880人分 じっせき (実績719人分)	919人分 じっせき (実績654 人分)	958人分 じっせき (実績692 人分)	997人分 じっせき (実績725人分)	1,035人分 じっせき (実績778 人分)	1,074人分
		17,203人日 じっせき (実績13,674人 日)	17,962人 じっせき 日 (実績 12,156人 日)	18,721人日 じっせき (実績12,904 人日)	19,480人日 じっせき (実績13,394人 日)	20,239人日 じっせき (実績14,239 人日)	20,999人日
167	しゅうろうけいぞくし えんじぎょう びーがた 就労継続支援事業(B型)(/ つき月)	4,605人分 じっせき (実績4,691 人分)	4,857人分 じっせき (実績5,145 人分)	5,109人分 じっせき (実績5,645 人分)	5,361人分 じっせき (実績6,192人分)	5,613人分 じっせき (実績6,735 人分)	5,866人分
		79,012人日 じっせき (実績77,897人 日)	83,339人 じっせき 日 (実績 83,354人 日)	87,666人日 じっせき (実績91,330 人日)	91,993人日 じっせき (実績98,538人 日)	96,320人日 じっせき (実績 106,545人 日)	100,647人 日

167	しゅうろうせんたくしえん 就労選択支援	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	250人 (実績17人)	500人
167	ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター作業 所型	130 箇所 (実績138 箇所)	130 箇所 (実績137 箇所)	130 箇所 (実績137 箇所)	145 箇所 (実績133 箇所)	146 箇所 (実績134 箇所)	147 箇所
		2,600人(/年) (実績2,894人(/年))	2,600人(/年) (実績2,868人(/年))	2,600人(/年) (実績2,863人(/年))	2,600人(/年) (実績2,726人(/年))	2,600人(/年) (実績2,681人(/年))	2,600人(/年)
167	ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動センター	18 箇所 (実績18 箇所)	18 箇所 (実績18 箇所)	18 箇所 (実績18 箇所)	18 箇所 (実績18 箇所)	18 箇所 (実績18 箇所)	18 箇所

		517人(/年) (実績479人(/ 年))	517人(/年) (実績455人 (/年))	517(/年) (実績443人(/ 年))	517(/年) (実績444人(/ 年))	517人(/年) (実績426人(/ 年))	517人(/年)
--	--	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	----------

せいかつ ばめん はたら たの
 生活の場面4 働く・楽しむ

4-3 スポーツ・文化芸術

(1)スポーツ活動の推進

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
171	しょうがいしゃ 障害者スポー ツの啓発と り かい そくしん 理解の促進	どうきょう 東京2020 パラリンピックによ り 高まる関心を しょうがいしゃ 障害者スポーツ の普及啓発につなげるため、 しょうがいしゃ 障害者スポーツ文化センターや よこはまし 横浜市スポーツ協会、地域の さまざま だんたいとう れんけい しょうがいしゃ 様々な団体等と連携し、障害者	○	しょうがいしゃ ぶんか よこはま 障害者スポーツ文化センター(横浜ラ ポール・ラポール上 大岡)で、障害者 スポーツの体験会や教室等を実施し ました。	しょうがいしゃ ぶんか 障害者スポーツ文化センター よこはま (横浜ラポール・ラポール上 大岡)で、様々な機会を捉え、 しょうがいしゃ たいけんかい 障害者スポーツの体験会や きょうしつとう じっし 教室等を実施していきます。

		スポーツの裾野を広げる取組を 行うとともに、障害者スポーツ を通じた障害への理解促進を図ります。			
171	身近な地域に おける障害者 スポーツの推進	引き続き、障害者が身近な地域 でスポーツに取り組めるよう、 各区のスポーツセンターや中途 障害者地域活動センター等と 連携し、地域の人材育成を進めな がら、障害者スポーツの推進を 図ります。	○	横浜市スポーツ協会や中途障害者 地域活動センター等と連携し、障害の ある人が身近な地域でスポーツに取 り組むことのできる場づくりを進めま した。また、障害者スポーツの周知 活動、スポーツボランティア養成講座 や初級パラスポーツ指導員研修会等 の実施を通して、支援者・指導者の 人材育成に取り組みました。	中途障害者地域活動センター、 横浜市スポーツ協会等と連携 し、障害のある人の身近な地域 での障害者スポーツの取組を 推進していきます。また、障害 者スポーツの周知活動、スポー ツボランティア養成講座や初級 パラスポーツ指導員研修会等 の実施を通して、支援者・指導者 の人材育成を進めていきます。

172	インクルーシブ スポーツ等の 推進	市スポーツ協会と社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団 (ラポール)との連携協定に基づ き、地域で誰もが楽しめるインク ルーシブスポーツを推進します。	○	・YOKOHAMAスポーツ・レクリエー ションフェスティバルの開催 ・18区におけるインクルーシブなスポ ーツの体験会・交流会の実施 ・さわやかスポーツの普及 ・市内競技団体に補助金を交付	・18区でのインクルーシブなス ポーツ体験会・交流会の実施や YOKOHAMA スポーツ・レクリ エーションフェスティバルの開催 等を通じて、年齢や障害の有無 などにかかわらず、誰もが共に スポーツを楽しめる機会を創出 します。 ・横浜市スポーツ協会、横浜市 リハビリテーション事業団が 伴走型支援を行い、各競技 団体が主体となって行うパラ スポーツ競技力向上の取組を 推進していきます。
-----	-------------------------	---	---	---	---

172	しょうがい 障害のある子どもがスポーツを楽しむ機会・場の充実	しょうがい 障害のある子どもが乳 幼児から がくれいき 学齢期まで切れ目なくスポーツを たの 楽しむ機会を提供します。	○	よ こ は ま ・YOKOHAMAスポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催 く ・18区におけるインクルーシブなスポーツの体験会・交流会の実施 ふきゅう ・さわやかスポーツの普及 しな いきょうぎだんたい ほしよきん こうふ ・市内競技団体に補助金を交付	く ・18 区でのインクルーシブなスポーツ体験会・交流会の実施や よ こ は ま YOKOHAMA スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催 とう つう ねんれい しょうがい う む 等を通じて、年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが共に スポーツを楽しめる機会を創出します。 よこはまし きょうかい よこはまし ・横浜市スポーツ協会、横浜市 じぎょうだん リハビリテーション事業団が ばんそうがたし えん おこな かくきょうぎ 伴走型支援を行い、各競技 だんたい しゅたい おこな 団体が主体となって行うパラ きょうぎりよくこうじょう とりくみ スポーツ競技力向上の取組を すいしん 推進していきます。
-----	---------------------------------------	--	---	--	--

(2)文化芸術活動の推進

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和7年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和7年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和8年度 とりくみよてい 取組予定
177	しょうがいしゃ ぶんか 障害者の文化 げいじゅつかつどう 芸術活動の しえん 支援	アートイベントの開催や、活動を ささ じんざい いくせい さまざま だんたいとう 支える人材の育成、様々な団体等 れんけい ぶん かげいじゅつかつどう ば と連携した文化芸術活動の場の そうしゅつ と く 創出に取り組みます。	○	しょうがいしゃ ぶんか 障害者スポーツ文化センターによる げいじゅつさい てんらんかいとう かいさい つう 芸術祭や展覧会等の開催を通じて、 ぶん かげいじゅつかつどう ば そうしゅつ と く 文化芸術活動の場の創出に取り組 みました。また、活動を支えるボラン ティア向けの研修を実施しました。	ひ つづ しょうがいしゃ ぶんか 引き続き、障害者スポーツ文化 センターによる げいじゅつさい てんらんかい 等の開催を通じて、活動をささ る人材の育成や文化芸術活動 の場の創出に取り組みます。
177	しょうがいしゃ ぶんか 障害者の文化 げいじゅつかんしょう 芸術鑑賞の しえん 支援	さまざま だんたいとう れんけい しょうがい 様々な団体等と連携し、障害の とくせい おう かんしょう き かい 特性に応じた鑑賞の機会の じゅうじつ えんかつ しせつりよう 充実、円滑な施設利用のための かんきょうせいび かつどう ささ じんざい 環境整備、活動を支える人材の いくせいとう と く 育成等に取り組みます。	○	しょうがい とくせい おう かんしょう き かい 障害の特性に応じた鑑賞の機会 じゅうじつ しせつりよう む 充実をはかるために、施設利用に向 けた かんきょうせいび かつどう ささ じんざい 環境整備や活動を支える人材の いくせい ふくしだんたい じっし 育成や福祉団体へのヒアリングを実施 しました。	よこはまのうがくどう 横浜能楽堂において、「バリアフ リー能」及び「ワークショップ」の じっし ごうりてきはりょとう 実施にあたり、合理的配慮等に かか しせつないけんしゅう じっし 係る施設内研修を実施します。

177	文化芸術による地域共生社会実現に向けた取組の推進	関係機関との連携を深め、文化芸術体験や公演・展示等鑑賞の文化芸術活動を通して、障害のあるなしにかかわらず誰もが互いに対等な立場で関わり合うことを進める活動を促進します。	○	市民ギャラリーあざみ野で「フェローアートギャラリー」を実施したことに加え、本事業について青葉区民文化センターなどの他施設と連携しました。	市民ギャラリーあざみ野で「フェローアートギャラリー」を継続して実施するとともに、他施設と連携した出張展示についても継続して行います。
178	(仮称)読書バリアフリー法に基づく横浜市計画の策定、推進	読書バリアフリー法に基づく、地方公共団体の計画として策定し、計画に基づく取組を推進します。	○	・学校と保護者の連絡ツール「すぐーる」を活用して市立図書館の障害者サービスと読書バリアフリーについて周知しました。 ・横浜国立大学で読書バリアフリーの普及啓発授業を実施しました。 ・ららぽーと横浜内にある都筑南図書館次所で、点字体験イベント及びバリ	読書バリアフリーの普及・啓発のため、「すぐーる」を活用した市立図書館の障害者サービスや読書バリアフリーについて周知します。 また、大学での普及啓発授業、読書イベントでのバリアフリー

				アフリー^{としょ てんじ おこな}図書館の展示を行いました。 ・読書^{どくしょ}イベント「よこはまこども読書^{どくしょ}パーク」で、点字^{てんじたいけん}体験イベント^{およ}及びバリア フリー^{としょ てんじ おこな}図書館の展示を行いました。	図書館^{としょ てんじ}の展示など、広報^{こうほうかつどう}活動^とに取り組^くみます。
--	--	--	--	---	---